注３ **大学番号：私257**

届出

［平成29年度設置］

計画の区分： 学部の学科の設置

注１

川崎医療福祉大学　医療福祉学部　子ども医療福祉学科

医療技術学部　臨床検査学科

医療技術学部　診療放射線技術学科

注２

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人川崎学園

令和元年５月１日現在

作成担当者

担当部局（課）名　事務部　教務課

職名・氏名　課長（カチョウ）　池田（イケダ）　和晃（カズアキ）

電話番号　086-464-1021

（夜間）　090-9414-4901

ＦＡＸ　086-462-1193

ｅ－mail　kyomuka@mw.kawasaki-m.ac.jp

（注）１　「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

２　大学院の場合は、表題を「○○大学大学院　・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し，その下欄に（　）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例）　○○大学　△△学部　□□学科

（旧名称：◇◇学科（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・大学の設置の場合：「○○大学」
・学部の設置の場合：「○○大学　△△学部」
・学部の学科の設置の場合：「○○大学　△△学部　□□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「○○短期大学　△△学科」
・大学院設置の場合：「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「○○大学大学院　○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「○○大学大学院　○○研究科　○○専攻（修士課程）」
・通信教育課程の開設の場合：「○○大学　△△学部　□□学科（通信教育課程）」

３　大学番号の欄については、平成３１年４月２日付事務連絡「履行状況報告書の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

医療福祉学部

＜子ども医療福祉学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21

４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23

５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 52

７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55

医療技術学部

＜臨床検査学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 59

２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 63

３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 72

４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 74

５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 77

６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 95

７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 98

＜診療放射線技術学科＞ ページ

１．調査対象大学等の概要等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 102

２．授業科目の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 106

３．施設・設備の整備状況、経費 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 117

４．既設大学等の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 119

５．教員組織の状況 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 122

６．附帯事項等に対する履行状況等 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 140

７．その他全般的事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 143

１　調査対象大学等の概要等

（１）設　置　者

学校法人　川崎学園

（２）大　学　名

川崎医療福祉大学

（３）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（４）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川崎　誠治 （平成24年3月）		
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年1月）		
学 部 長	（ タネムラ　ジュン ） 種村　純 （平成27年4月）	（ オノデラ　ショウ ） 小野寺　昇 （平成31年4月）	人事異動のため（元）
学科長等	（ ハシモト　ハヤト ） 橋本　勇人 （平成29年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療福祉学部 子ども医療福祉学科 学士（子ども医療福祉学）	4年	80人	3年次 2人	324人	

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ － ） [－]	人	人 （ － ） [－]	人	人 80 （ － ） [－]	人	人 80 （ － ） [－]	人	人 80 （ 2 ） [－]	人	1.04倍	－倍	
志願者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	150 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	157 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	123 （ 2 ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	149 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	155 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	118 （ 2 ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	122 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	138 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	116 （ 2 ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	81 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	92 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	79 （ 2 ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A					1.01		1.15		0.98				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	81 [－] (－)	－ [－] (－)	92 [－] (－)	－ [－] (－)	79 [－] (－)	－ [－] (－)	令和元年度3年次編入学生2名
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	79 [－] (－)	－ [－] (－)	89 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	80 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		81 [－] (－)		171 [－] (－)		248 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（ ）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 （留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成27年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	81 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	2 人	0 人	進路変更(2人)
平成30年度	171 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	2 人	0 人	他大学へ進学(1人)、進路変更(1人)、転学科(1人)を除く
令和元年度	248 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合　計		4 人		4 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。
（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) / 平成27年度の在学者数(b) = － / － = －　%

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = － / － = －　%

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 2 / 81 = 2.46　%

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 2 / 171 = 1.16　%

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 248 = 0　%

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

２　授業科目の概要

＜医療福祉学部　子ども医療福祉学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2					1			
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2		1					
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後	1								2
	コンピュータ基礎演習	1前	2								1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2		1					
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	—	19	52	0	2	0	1	0	0	39

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2				1				
	日本語リテラシー	**2前**		2			1				
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	**1前後**		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2		1					
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	**1前後**		2							1
	英語インテンシブリーディング	**1前後**		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後	1								2
	コンピュータ基礎演習	1前	2								1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	初修外国語	**1前後**		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	**1後**		2							1
	生活環境論	1前		2		1					
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	—	19	64	0	2	2	0	0	0	44

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学一般	1後	2			1					
	解剖学	1前		1							1
	生理学	1前		1							1
	小児科学	2前	1			1					
	小児看護学	3後		1							2
	救急医療	3前		2							1
	子どもと健康	1後	1					2			
	幼児体育	3前		2							1
	小児保健Ⅰ	1前	2				1				
	小児保健Ⅱ	2後	2			1		1			
	小児保健Ⅲ	3後		1				1			
	小児栄養Ⅰ	1前	1								1
	小児栄養Ⅱ	1後		1							1
	心身の発達と学習過程	3後	2					1			1
	子どもと表現Ⅰ	1後	2			1		2			2
	子どもと表現Ⅱ	2前	1								1
	子どもと言葉	2前	1					1			
	精神医学Ⅰ	2前	2								1
	精神医学Ⅱ	2後		2							1
	発達心理学	1前	2			1					1
	心理学理論と心理的支援	3前		1				1			
	学習心理学	2前	2								1
	保育の心理学	2後		1				1			
	自閉症概論	2前		2							3
	臨床心理学総論	2前		2							1
	感覚矯正学概論	1前		2		1					9
	リハビリテーション総論	1後		2							1
	子ども医療福祉総論	2前	1			2		2			
	公衆衛生学	3前	2			1					
	現代社会と福祉	3前	2			1					
	社会福祉	1前	2			1					
	社会保障	2前	2			1					
	保健医療サービス	3前	1			1					
	障害者福祉論	2後	1								1
	精神保健福祉に関する制度とサービス	3後	1						2		
	低所得者に対する支援と生活保護制度	3前	1								1
	福祉行財政と福祉計画	3前	1				1				
	子どもの教育制度	3後	2								1
	権利擁護と成年後見制度	3前	1			1					
	地域福祉の理論と方法	2後	1				1				
	精神障害者の生活支援システム	3後	1						2		
	児童家庭福祉	1後	2			1					
	社会的養護	2前	2					1			
	医療福祉施設概論	4前	1			2		1			
	労働法規Ⅰ	2前		2							1
	労働法規Ⅱ	3後		2							1
	労働衛生学	2前		2		1					
	労働衛生管理学	3後		2		1					
	労働生理学	3後		2							1
	環境生理学	3前		2							1
	人間工学	2後		2		1					
	子どもと環境	2前	1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学一般	1後	2			1					
	解剖学	1前		1							2
	生理学	1前		1							2
	小児科学	2前	1			1					
	小児看護学	3後		1							2
	救急医療	3前		2							1
	子どもと健康	1後	1					1			1
	幼児体育	3前		2							1
	小児保健Ⅰ	1前	2				1				
	小児保健Ⅱ	2後	2			1		1			
	小児保健Ⅲ	3後		1		1		1	1		
	小児栄養Ⅰ	1前	1								1
	小児栄養Ⅱ	1後		1							2
	心身の発達と学習過程	3後	2					1			1
	子どもと表現Ⅰ	1後	2			1		1			2
	子どもと表現Ⅱ	2前	1								1
	子どもと言葉	2前	1					1			1
	精神医学Ⅰ	2前	2								1
	精神医学Ⅱ	2後		2							1
	発達心理学	1前	2			1					1
	心理学理論と心理的支援	3前		1				1			
	学習心理学	2前	2								2
	保育の心理学	2後		1				1			
	自閉症概論	2前		2							3
	臨床心理学総論	2前		2		1					
	感覚矯正学概論	1前		2		1					10
	リハビリテーション総論	1後		2							1
	子ども医療福祉総論	2前	1			1	1	1	1		
	公衆衛生学	3前	2			1					
	現代社会と福祉	3前	2			1					
	社会福祉	1前	2			1					
	社会保障	2前	2			1					
	保健医療サービス	3前	1			1			1	1	
	障害者福祉論	2後	1								1
	精神保健福祉に関する制度とサービス	3後	1						1	1	
	低所得者に対する支援と生活保護制度	3前	1								1
	福祉行財政と福祉計画	3前	1				1				
	子どもの教育制度	3後	2								2
	権利擁護と成年後見制度	3前	1			1					
	地域福祉の理論と方法	2後	1				1				
	精神障害者の生活支援システム	3後	1						1	1	
	児童家庭福祉	1後	2			1					
	社会的養護	2前	2				1	1			1
	医療福祉施設概論	4前	1			2		1			
	労働法規Ⅰ	2前		2							1
	労働法規Ⅱ	3後		2							1
	労働衛生学	2前		2		1					
	労働衛生管理学	3後		2		1					
	労働生理学	3後		2							1
	環境生理学	3前		2							1
	人間工学	2後		2		1					
	子どもと環境	2前	1				1				

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	ユニバーサルデザイン論	4前	1			1		1			
	子どもと人間関係	2前	1			1	1	1			
	幼児生活	4後		2		1	1	1			
	療養環境とデザイン	2前		2							1
	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	2前	1			1					
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2後		2							1
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	3前	2						2		
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2後	2						2		
	精神保健の課題と支援Ⅱ	3前		2							1
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3後		1					2		2
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4前		2					2		2
	相談援助の理論と方法Ⅰ	2前		2							1
	相談援助の理論と方法Ⅱ	2前		2							1
	相談援助	3前	1			1	1				
	医療ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2							1
	医療ソーシャルワーク論Ⅱ	3後		2							1
	健康相談	3前		1				1			
	教育相談	3後	2			1	1	1			1
	社会的養護内容	2後	1					1			
	保育内容総論	1後	2					2			
	家庭支援論	4後	2				1				
	救急処置法Ⅰ	3前	1				1				
	救急処置法Ⅱ	3後		1			1	1			2
	子どものケアと発達支援の原理	1後	2			1					
	子どものケアと発達支援者論	2前	2					1			1
	子どものケアと発達の相談支援	4前	1					1			
	乳児のケアと発達支援Ⅰ	2前	1					1			1
	乳児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	幼児理解の理論と方法	2後	2					1			2
	幼児音楽	3前		2				1			3
	幼児図画工作	2後		2		1		1			
	幼児国語	4前		2				1			
	小児ケア方法論	2後	1					1			1
	障害児のケアと発達支援Ⅰ	2後	1					2			1
	障害児のケアと発達支援Ⅱ	3前		1				1			1
	発達障害児のケアと発達支援Ⅰ	3後	1					1			
	発達障害児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	音楽療法	4前		1				1			8

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	ユニバーサルデザイン論	4前	1			1					1
	子どもと人間関係	2前	1				1	1			1
	幼児生活	4後		2			1				2
	療養環境とデザイン	2前		2							1
	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	2前	1			1					
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2後		2							1
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	3前	2					1	1		
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2後	2					1	1		1
	精神保健の課題と支援Ⅱ	3前		2							1
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3後		1			1	2	1		1
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4前		2					1		2
	相談援助の理論と方法Ⅰ	2前		2							1
	相談援助の理論と方法Ⅱ	2前		2							1
	相談援助	3前	1			1	1				
	医療ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2							3
	医療ソーシャルワーク論Ⅱ	3後		2							2
	健康相談	3前		1				2	1		
	教育相談	3後	2			1	1	1			1
	社会的養護内容	2後	1				1	2			
	保育内容総論	1後	2					2			1
	家庭支援論	4後	2				1				
	救急処置法Ⅰ	3前	1				1				
	救急処置法Ⅱ	3後		1			1	1	1		
	子どものケアと発達支援の原理	1後	2			1	1				
	子どものケアと発達支援者論	2前	2					2			
	子どものケアと発達の相談支援	4前	1					1			
	乳児のケアと発達支援Ⅰ	2前	1					1			1
	乳児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	幼児理解の理論と方法	2後	2					1			2
	幼児音楽	3前		2				1			3
	幼児図画工作	2後		2		1					
	幼児国語	4前		2			1				
	小児ケア方法論	2後	1						1		2
	障害児のケアと発達支援Ⅰ	2後	1					2			1
	障害児のケアと発達支援Ⅱ	3前		1				1			1
	発達障害児のケアと発達支援Ⅰ	3後	1					1			
	発達障害児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	音楽療法	4前		1				1			8

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	子どもと遊びの指導法(障害児・病児の遊びを含む)	3前	1					2			
	教育基礎理論	2前	2								1
	カリキュラム編成論	3前	2			1					
	教育方法の理論と実践	3前	2			1	1				
	教職概論	1前	2								1
	基礎ゼミナール	1前	1			4	2	4			
	医療福祉キャリア形成論	3前	1			1		1			
	ソーシャルワーク基礎学修成果演習	3前	1			2		2			
	精神保健福祉学修成果演習	3後		1		1			2		
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3後		1					2		2
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4前		1					2		3
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4前		1					2		3
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠA	1後		1		1	2	6			8
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB	2前		1		1	2	6			3
	子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)	2後		1		1	2	6			5
	教育実習指導	3後		1			1	1			1
	精神保健福祉援助実習	4前		5					2		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)	2前		2		5	2	8	2		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)	2後		2		5	2	7	2		1
	子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)	2後		2		5	2	8	2		4
	小児ケア実習Ⅰ	2後		1				2			1
	小児ケア実習Ⅱ	3後		1				2			1
	発達障害児のケアと発達支援実習	4後		2				2			3
	教育実習	3後		4			1	1			
	教職実践演習(幼稚園)	4後		2		1	1	1			1
	総合表現指導法Ⅰ	2後	2			1		3			
	総合表現指導法Ⅱ	3前	2			1		3			
	子ども医療福祉実践研究Ⅰ	4前	1			2	1	1			
	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	4後	1			6	3	7	2		
	小計(119科目)	—	91	95	0	67	33	111	30	0	113
合計(163科目)		—	110	147	0	69	33	112	30	0	152

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	子どもと遊びの指導法(障害児・病児の遊びを含む)	3前	1					2			
	教育基礎理論	2前	2			1					
	カリキュラム編成論	3前	2					1			2
	教育方法の理論と実践	3前	2				1				1
	教職概論	1前	2			1					1
	基礎ゼミナール	1前	1			5	3	7			
	医療福祉キャリア形成論	3前	1			2		3	1		
	ソーシャルワーク基礎学修成果演習	3前	1			1	1	3	1		
	精神保健福祉学修成果演習	3後		1		1	1	1	1		
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3後		1			1	2	1		2
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4前		1					1		3
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4前		1					1		3
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠA	1後		1		2	3	9			8
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB	2前		1		2	3	9			13
	子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ(保育所・施設)	2後		1		2	3	8			6
	教育実習指導	3後		1			1	2			2
	精神保健福祉援助実習	4前		5					1		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ(保育所)	2前		2		5	2	9	2		2
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ(施設)	2後		2		5	2	6	2		
	子どものケアと発達支援実習Ⅱ(保育所・施設)	2後		2		5	2	9	2		2
	小児ケア実習Ⅰ	2後		1			1	2	1		
	小児ケア実習Ⅱ	3後		1			1	2	1		
	発達障害児のケアと発達支援実習	4後		2				2			3
	教育実習	3後		4		5	2	9	2		2
	教職実践演習(幼稚園)	4後		2			1	2			1
	総合表現指導法Ⅰ	2後	2			1		2			1
	総合表現指導法Ⅱ	3前	2			1		2			1
	子ども医療福祉実践研究Ⅰ	4前	1			1	1	1			1
	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	4後	1			5	3	5	1		1
	小計(119科目)	—	91	95	0	72	49	138	30	0	141
合計(163科目)		—	110	159	0	74	51	138	30	0	185

卒業要件及び履修方法
基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修4単位を含む4単位以上(「健康体育実技(レクリエーション系)1単位を含む)、「情報分野」から必修2単位を含む2単位以上(「コンピュータ基礎演習」2単位を含む)、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修19単位を含む26単位以上。 専門科目:「子どもの心と体の分野」から必修21単位以上、「子ども医療福祉システムの分野」から必修27単位以上、「子ども医療福祉援助分野」から必修34単位以上、「子ども医療福祉総合分野」から必修9単位以上。専門科目の卒業要件は必修91単位を含む98単位以上。 基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

卒業要件及び履修方法
基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修4単位を含む4単位以上(「健康体育実技(レクリエーション系)1単位を含む)、「情報分野」から必修2単位を含む2単位以上(「コンピュータ基礎演習」2単位を含む)、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修19単位を含む26単位以上。 専門科目:「子どもの心と体の分野」から必修21単位以上、「子ども医療福祉システムの分野」から必修27単位以上、「子ども医療福祉援助分野」から必修34単位以上、「子ども医療福祉総合分野」から必修9単位以上。専門科目の卒業要件は必修91単位を含む98単位以上。 基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2					1			
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2		1					
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後	1								2
	コンピュータ基礎演習	1前	2								1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2		1					
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2					1			
	日本語リテラシー	**2前**		**2**				**1**			
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	**1前後**		**2**							**1**
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2		1					
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	**1前後**		**2**							**1**
	英語インテンシブリーディング	**1前後**		**2**							**1**
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後	1								2
	コンピュータ基礎演習	1前	2								1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	初修外国語	**1前後**		**2**							**1**
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	**1後**		**2**							**1**
	生活環境論	1前		2		1					
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44科目)	—	19	52	0	2	0	1	0	0	39
専門科目	医学一般	1後	2			1					
	解剖学	1前		1							1
	生理学	1前		1							1
	小児科学	2前	1			1					
	小児看護学	3後		1							2
	救急医療	3前		2							1
	子どもと健康	1後	1					2			1
	幼児体育	3前		2							1
	小児保健Ⅰ	1前	2				1				
	小児保健Ⅱ	2後	2			1		1			
	小児保健Ⅲ	3後		1				1			
	小児栄養Ⅰ	1前	1								1
	小児栄養Ⅱ	1後		1							2
	心身の発達と学習過程	3後	2					1			1
	子どもと表現Ⅰ	1後	2			1		2			2
	子どもと表現Ⅱ	2前	1								1
	子どもと言葉	2前	1					1			
	精神医学Ⅰ	2前	2								1
	精神医学Ⅱ	2後		2							1
	発達心理学	1前	2			1					1
	心理学理論と心理的支援	3前		1				1			
	学習心理学	2前	2								1
	保育の心理学	2後		1				1			
	自閉症概論	2前		2							3
	臨床心理学総論	2前		2							1
	感覚矯正学概論	1前		2		1					10
	リハビリテーション総論	1後		2							1
	子ども医療福祉総論	2前	1			2		2			
	公衆衛生学	3前	2			1					
	現代社会と福祉	3前	2			1					
	社会福祉	1前	2			1					
	社会保障	2前	2			1					
	保健医療サービス	3前	1			1					
	障害者福祉論	2後	1								1
	精神保健福祉に関する制度とサービス	3後	1						2		
	低所得者に対する支援と生活保護制度	3前	1								1
	福祉行財政と福祉計画	3前	1				1				
	子どもの教育制度	3後	2								1
	権利擁護と成年後見制度	3前	1			1					

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44科目)	—	19	64	0	2	0	2	0	0	44
専門科目	医学一般	1後	2			1					
	解剖学	1前		1							1
	生理学	1前		1							2
	小児科学	2前	1			1					
	小児看護学	3後		1							2
	救急医療	3前		2							1
	子どもと健康	1後	1					2			1
	幼児体育	3前		2							1
	小児保健Ⅰ	1前	2				1				
	小児保健Ⅱ	2後	2			1		1			
	小児保健Ⅲ	3後		1				1			
	小児栄養Ⅰ	1前	1								1
	小児栄養Ⅱ	1後		1							2
	心身の発達と学習過程	3後	2					1			1
	子どもと表現Ⅰ	1後	2			1		2			2
	子どもと表現Ⅱ	2前	1								1
	子どもと言葉	2前	1					1			
	精神医学Ⅰ	2前	2								1
	精神医学Ⅱ	2後		2							1
	発達心理学	1前	2			1					1
	心理学理論と心理的支援	3前		1				1			
	学習心理学	2前	2								2
	保育の心理学	2後		1				1			
	自閉症概論	2前		2							2
	臨床心理学総論	2前		2		1					
	感覚矯正学概論	1前		2		1					9
	リハビリテーション総論	1後		2							1
	子ども医療福祉総論	2前	1			1	1	2			
	公衆衛生学	3前	2			1					
	現代社会と福祉	3前	2			1					
	社会福祉	1前	2			1					
	社会保障	2前	2			1					
	保健医療サービス	3前	1			1					
	障害者福祉論	2後	1								1
	精神保健福祉に関する制度とサービス	3後	1						2		
	低所得者に対する支援と生活保護制度	3前	1								1
	福祉行財政と福祉計画	3前	1				1				
	子どもの教育制度	3後	2								1
	権利擁護と成年後見制度	3前	1			1					

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	地域福祉の理論と方法	2後	1				1				
	精神障害者の生活支援システム	3後	1						2		
	児童家庭福祉	1後	2			1					
	社会的養護	2前	2					1			
	医療福祉施設概論	4前	1			2		1			
	労働法規Ⅰ	2前		2							1
	労働法規Ⅱ	3後		2							1
	労働衛生学	2前		2		1					
	労働衛生管理学	3後		2		1					
	労働生理学	3後		2							1
	環境生理学	3前		2							1
	人間工学	2後		2		1					
	子どもと環境	2前	1				1				
	ユニバーサルデザイン論	4前	1			1		1			
	子どもと人間関係	2前	1			1	1	1			
	幼児生活	4後		2		1	1	1			
	療養環境とデザイン	2前		2							1
	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	2前	1			1					
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2後		2							1
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	3前	2						2		
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2後	2						2		
	精神保健の課題と支援Ⅱ	3前		2							1
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3後		1					2		2
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4前		2					2		2
	相談援助の理論と方法Ⅰ	2前		2							1
	相談援助の理論と方法Ⅱ	2前		2							1
	相談援助	3前	1			1	1				
	医療ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2							1
	医療ソーシャルワーク論Ⅱ	3後		2							1
	健康相談	3前		1				1			
	教育相談	3後	2			1	1	1			1
	社会的養護内容	2後	1					1			
	保育内容総論	1後	2					2			
	家庭支援論	4後	2				1				
	救急処置法Ⅰ	3前	1				1				
	救急処置法Ⅱ	3後		1			1	1			2

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	地域福祉の理論と方法	2後	1				1				
	精神障害者の生活支援システム	3後	1						2		
	児童家庭福祉	1後	2			1					
	社会的養護	2前	2					1			
	医療福祉施設概論	4前	1			2		1			
	労働法規Ⅰ	2前		2							1
	労働法規Ⅱ	3後		2							1
	労働衛生学	2前		2		1					
	労働衛生管理学	3後		2		1					
	労働生理学	3後		2							1
	環境生理学	3前		2							1
	人間工学	2後		2		1					
	子どもと環境	2前	1				1				
	ユニバーサルデザイン論	4前	1			1		1			
	子どもと人間関係	2前	1			1	1	1			
	幼児生活	4後		2		1	1	1			
	療養環境とデザイン	2前		2							1
	精神保健福祉相談援助の基盤(基礎)	2前	1			1					
	精神保健福祉相談援助の基盤(専門)	2後		2					1		
	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	3前	2						2		
	精神保健の課題と支援Ⅰ	2後	2						2		
	精神保健の課題と支援Ⅱ	3前		2					1		
	精神保健福祉援助演習Ⅰ	3後		1					2		1
	精神保健福祉援助演習Ⅱ	4前		2					2		1
	相談援助の理論と方法Ⅰ	2前		2							1
	相談援助の理論と方法Ⅱ	2前		2							1
	相談援助	3前	1			1	1				
	医療ソーシャルワーク論Ⅰ	3前		2							1
	医療ソーシャルワーク論Ⅱ	3後		2							1
	健康相談	3前		1				1			
	教育相談	3後	2			1	1	1	1		
	社会的養護内容	2後	1					1			
	保育内容総論	1後	2					2			1
	家庭支援論	4後	2				1				
	救急処置法Ⅰ	3前	1				1				
	救急処置法Ⅱ	3後		1			1	1			2

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	子どものケアと発達支援の原理	1後	2			1					
	子どものケアと発達支援者論	2前	2					1			1
	子どものケアと発達の相談支援	4前	1					1			
	乳児のケアと発達支援Ⅰ	2前	1					1			1
	乳児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	幼児理解の理論と方法	2後	2					1			2
	幼児音楽	3前		2				1			3
	幼児図画工作	2後		2		1		1			
	幼児国語	4前		2				1			
	小児ケア方法論	2後	1					1			1
	障害児のケアと発達支援Ⅰ	2後	1					2			1
	障害児のケアと発達支援Ⅱ	3前		1				1			1
	発達障害児のケアと発達支援Ⅰ	3後	1					1			
	発達障害児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	音楽療法	4前		1				1			8
	子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む）	3前	1					2			
	教育基礎理論	2前	2								1
	カリキュラム編成論	3前	2			1					
	教育方法の理論と実践	3前	2			1	1				
	教職概論	1前	2								1
	基礎ゼミナール	1前	1			5	2	7			
	医療福祉キャリア形成論	3前	1			1		1			
	ソーシャルワーク基礎学修成果演習	3前	1			2		2			
	精神保健福祉学修成果演習	3後		1		1			2		
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3後		1					2		2
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4前		1					2		3
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4前		1					2		3
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠA	1後		1		1	2	6			8
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB	2前		1		1	2	6			3
	子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）	2後		1		1	2	6			5

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	子どものケアと発達支援の原理	1後	2			1	1				
	子どものケアと発達支援者論	2前	2					2			
	子どものケアと発達の相談支援	4前	1					1			
	乳児のケアと発達支援Ⅰ	2前	1					1			1
	乳児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	幼児理解の理論と方法	2後	2					1			2
	幼児音楽	3前		2				1			3
	幼児図画工作	2後		2		1		1			
	幼児国語	4前		2				1			
	小児ケア方法論	2後	1					1			1
	障害児のケアと発達支援Ⅰ	2後	1					2			1
	障害児のケアと発達支援Ⅱ	3前		1				1			1
	発達障害児のケアと発達支援Ⅰ	3後	1					1			
	発達障害児のケアと発達支援Ⅱ	4前		1				1			
	音楽療法	4前		1				1			8
	子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む）	3前	1					2			
	教育基礎理論	2前	2								1
	カリキュラム編成論	3前	2			1					
	教育方法の理論と実践	3前	2			1	1				
	教職概論	1前	2								1
	基礎ゼミナール	1前	1			4	2	7			
	医療福祉キャリア形成論	3前	1			1		1			
	ソーシャルワーク基礎学修成果演習	3前	1			2		2			
	精神保健福祉学修成果演習	3後		1		1			2		
	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	3後		1					2		1
	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	4前		1					2		2
	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	4前		1					2		2
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠA	1後		1		1	2	9			8
	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB	2前		1		1	2	9			13
	子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）	2後		1		1	2	8			5

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	教育実習指導	3後		1			1	1			1
	精神保健福祉援助実習	4前		5					2		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）	2前		2		5	2	8	2		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）	2後		2		5	2	7	2		1
	子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）	2後		2		5	2	8	2		4
	小児ケア実習Ⅰ	2後		1				2			1
	小児ケア実習Ⅱ	3後		1				2			1
	発達障害児のケアと発達支援実習	4後		2				2			3
	教育実習	3後		4			1	1			
	教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	1	1			1
	総合表現指導法Ⅰ	2後	2			1		3			
	総合表現指導法Ⅱ	3前	2			1		3			
	子ども医療福祉実践研究Ⅰ	4前	1			2	1	1			
	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	4後	1			6	3	7	2		
	小計（119科目）	—	91	95	0	68	33	114	30	0	116
合計（163科目）		—	110	147	0	70	33	115	30	0	155

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修4単位を含む4単位以上（「健康体育実技（レクリエーション系）1単位を含む）、「情報分野」から必修2単位を含む2単位以上（「コンピュータ基礎演習」2単位を含む）、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修19単位を含む26単位以上。

専門科目：「子どもの心と体の分野」から必修21単位以上、「子ども医療福祉システムの分野」から必修27単位以上、「子ども医療福祉援助分野」から必修34単位以上、「子ども医療福祉総合分野」から必修9単位以上。専門科目の卒業要件は必修91単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	教育実習指導	3後		1			1	2			
	精神保健福祉援助実習	4前		5					2		2
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）	2前		2		4	2	10	2		3
	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）	2後		2		4	2	7	2		1
	子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）	2後		2		4	2	9	2		4
	小児ケア実習Ⅰ	2後		1			1	3			1
	小児ケア実習Ⅱ	3後		1				2			1
	発達障害児のケアと発達支援実習	4後		2				2			3
	教育実習	3後		4			1	1			
	教職実践演習（幼稚園）	4後		2		1	1	2			
	総合表現指導法Ⅰ	2後	2			1		3			1
	総合表現指導法Ⅱ	3前	2			1		3			
	子ども医療福祉実践研究Ⅰ	4前	1			2	1	1			
	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	4後	1			6	3	7	2		
	小計（119科目）	—	91	95	0	64	36	129	33	0	115
合計（163科目）		—	110	159	0	66	36	131	33	0	159

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目：「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修4単位を含む4単位以上（「健康体育実技（レクリエーション系）1単位を含む）、「情報分野」から必修2単位を含む2単位以上（「コンピュータ基礎演習」2単位を含む）、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修19単位を含む26単位以上。

専門科目：「子どもの心と体の分野」から必修21単位以上、「子ども医療福祉システムの分野」から必修27単位以上、「子ども医療福祉援助分野」から必修34単位以上、「子ども医療福祉総合分野」から必修9単位以上。専門科目の卒業要件は必修91単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。（履修科目の登録の上限：49単位（年間））

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・実習演習内容充実のため、「子どもと健康」の専任教員等の配置を「兼０」から「兼１」に変更。
・調理演習時の事故防止と、きめ細かな指導のため、「小児栄養Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「感覚矯正学概論」の専任教員等の配置を「兼９」から「兼10」に変更。
・教員1名あたりの担当学生を減らし、各学生のニーズに応じたきめ細かい演習を展開するため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授４・講師４」から「教授５・講師７」に変更。

【平成３０年度】

・基礎教育科目変更のため、「日本語リテラシー」、「和の伝統文化」、「実践英会話」、「英語インテンシブリーディング」、「初修外国語」、「異文化理解（海外研修）」を開設した。
・教育内容充実のため、「生理学」の専任教育等の配置を「兼１」から「兼２」に変更
・教育内容充実、教員間の科目分担変更のため、「学習心理学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・担当教員の長期休暇（育休）のため、「自閉症概論」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・他学科の教員間の科目分担変更のため、「臨床心理学総論」の専任教員等の配置を「教授０・兼１」から「教授１・兼０」に変更。
・他学科の教員間の科目分担変更のため、「感覚矯正学概論」の専任教員等の配置を「兼10」から「兼９」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子ども医療福祉総論」の専任教員等の配置を「教授２・准教授０」から「教授１・准教授１」に変更。
・担当教員の雇用区分変更のため、「精神保健福祉相談援助の基盤（専門）」の専任教員等の配置を「助教０・兼１」から「助教１・兼０」に変更。

・担当教員の雇用区分変更のため、「精神保健の課題と支援Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教０・兼１」から「助教１・兼０」に変更。
・鈴木浩正助教（専任教員）就任辞退と担当教員の雇用区分変更のため、「精神保健福祉援助演習Ⅰ」、「精神保健福祉援助演習Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・担当教員の雇用区分変更のため、「教育相談」の専任教員等の配置を「助教０・兼１」から「助教１・兼０」に変更。
・教育内容充実のため、「保育内容総論」の専任教員等の配置を「兼０」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援の原理」の専任教員等の配置を「准教授０」から「准教授１」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援者論」の専任教員等の配置を「講師１・兼１」から「講師２・兼０」に変更。

・教員間の科目分担変更のため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授５」から「教授４」に変更。
・鈴木浩正助教（専任教員）就任辞退と担当教員の雇用区分変更のため、「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」、「精神保健福祉援助実習指導Ⅲ」、「精神保健福祉援助実習」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ」の専任教員等の配置を「講師６」から「講師９」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ」の専任教員等の配置を「講師６・兼３」から「講師９・兼13」に変更。

・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）」の専任教員等の配置を「講師６」から「講師８」に変更。
・担当教員の雇用区分変更のため、「教育実習指導」の専任教員等の配置を「講師１・兼１」から「講師２・兼０」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）」の専任教員等の配置を「教授５・講師８」から「教授４・講師10」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）」の専任教員等の配置を「教授５」から「教授４」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）」の専任教員等の配置を「教授５・講師８」から「教授４・講師９」に変更。
・教育内容充実のため、「小児ケア実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授０・講師２」から「准教授１・講師３」に変更。
・担当教員の雇用区分変更のため、「教職実践演習（幼稚園）」の専任教員等の配置を「講師１・兼１」から「講師２・兼０」に変更。
・教育内容充実のため、「総合表現指導法Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼０」から「兼１」に変更。

【令和元年度】

・教員間の科目分担変更のため、「文章表現」の専任教員等の配置を「准教授０・講師１」から「准教授１・講師０」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「日本語リテラシ―」の専任教員等の配置を「准教授０・講師１」から「准教授１・講師０」に変更。
・教育内容充実のため、「解剖学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子どもと健康」の専任教員等の配置を「講師２・兼１」から「講師１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「小児保健Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授０・講師１・助教０」から「教授１・講師１・助教１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子どもと表現Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師２・兼２」から「教授１・講師１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「子どもと言葉」の専任教員等の配置を「講師１・兼０」から「講師１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「自閉症概論」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「感覚矯正学概論」の専任教員等の配置を「教授１・兼９」から「教授１・兼１０」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子ども医療福祉総論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・助教０」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「保健医療サービス」の専任教員等の配置を「教授１・講師０・助教０」から「教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健福祉に関する制度とサービス」の専任教員等の配置を「講師０・助教２」から「講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「子どもの教育制度」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「精神障害者の生活支援システム」の専任教員等の配置を「講師０・助教２」から「講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「社会的養護」の専任教員等の配置を「准教授０・講師１・兼０」から「准教授１・講師１・兼１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「ユニバーサルデザイン論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・兼０」から「教授１・講師０・兼１」に変更。

・教員間の科目分担変更のため、「子どもと人間関係」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・兼０」から「教授０・准教授１・講師１・兼１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「幼児生活」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・兼０」から「教授０・准教授１・講師０・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健福祉相談援助の基盤(専門)」の専任教員等の配置を「助教１・兼０」から「助教０・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健福祉の理論と相談援助展開」の専任教員等の配置を「講師０・助教２」から「講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健の課題と支援Ⅰ」の専任教員等の配置を「講師０・助教２・兼０」から「講師１・助教１・兼１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「精神保健の課題と支援Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教１・兼０」から「助教０・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「医療ソーシャルワーク論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「医療ソーシャルワーク論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「健康相談」の専任教員等の配置を「講師１・助教０」から「講師２・助教１」に変更。

・教員間の科目分担変更のため、「教育相談」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・助教１・兼０」から「教授１・准教授１・講師１・助教０・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「社会的養護内容」の専任教員等の配置を「准教授０・講師１」から「准教授１・講師２」に変更。
・教育内容充実のため、「救急処置法Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・助教０・兼２」から「准教授１・講師１・助教１・兼０」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「幼児図画工作」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・講師０」に変更。
・教育内容充実のため、「幼児国語」の専任教員等の配置を「准教授０・講師１」から「准教授１・講師０」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「小児ケア方法論」の専任教員等の配置を「講師１・助教０・兼１」から「講師０・助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「教育基礎理論」の専任教員等の配置を「教授０・兼１」から「教授１・兼０」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「カリキュラム編成論」の専任教員等の配置を「教授１・講師０・兼０」から「教授０・講師１・兼２」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「教育方法の理論と実践」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼０」から「教授０・准教授１・兼１」に変更。

・教育内容充実のため、「教職概論」の専任教員等の配置を「教授０・兼１」から「教授１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「基礎ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授４・准教授２・講師７」から「教授５・准教授３・講師７」に変更。
・教育内容充実のため、「医療福祉キャリア形成論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１・助教０」から「教授２・講師３・助教１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「ソーシャルワーク基礎学修成果演習」の専任教員等の配置を「教授２・准教授０・講師２・助教０」から「教授１・准教授１・講師３・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健福祉学修成果演習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授０・講師０・助教２」から「教授１・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・教育内容充実のため、「精神保健福祉援助実習指導Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授０・講師０・助教２・兼１」から「准教授１・講師２・助教１・兼２」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「精神保健福祉援助実習指導Ⅱ」の専任教員等の配置を「助教２・兼２」から「助教１・兼３」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「精神保健福祉援助実習指導Ⅲ」の専任教員等の配置を「助教２・兼２」から「助教１・兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習指導ⅠA」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師９・兼８」から「教授２・准教授３・講師９・兼８」に変更。

・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習指導ⅠB」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師９・兼１３」から「教授２・准教授３・講師９・兼１３」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）」の専任教員等の配置を「教授１・准教授２・講師８・兼５」から「教授２・准教授３・講師８・兼６」に変更。
・教育内容充実のため、「教育実習指導」の専任教員等の配置を「准教授１・講師２・兼０」から「准教授１・講師２・兼２」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「精神保健福祉援助実習」の専任教員等の配置を「助教２・兼２」から「助教１・兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）」の専任教員等の配置を「教授４・准教授２・講師１０・助教２・兼３」から「教授５・准教授２・講師９・助教２・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）」の専任教員等の配置を「教授４・准教授２・講師７・助教２・兼１」から「教授５・准教授２・講師６・助教２・兼０」に変更。
・教育内容充実のため、「子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）」の専任教員等の配置を「教授４・准教授２・講師９・助教２・兼４」から「教授５・准教授２・講師９・助教２・兼２」に変更。

・教員間の科目分担変更のため、「小児ケア実習Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１・講師３・助教０・兼１」から「准教授１・講師２・助教１・兼０」に変更。
・教育内容充実のため、「小児ケア実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授０・講師２・助教０・兼１」から「准教授１・講師２・助教１・兼０」に変更。
・教育内容充実のため、「教育実習」の専任教員等の配置を「教授０・准教授１・講師１・助教０・兼０」から「教授５・准教授２・講師９・助教２・兼２」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「教職実践演習（幼稚園）」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師２・兼０」から「教授０・准教授１・講師２・兼１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「総合表現指導法Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授１・講師３・兼１」から「教授１・講師２・兼１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「総合表現指導法Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１・講師３・兼０」から「教授１・講師２・兼１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子ども医療福祉実践研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師１・兼０」から「教授１・准教授１・講師１・兼１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「子ども医療福祉実践研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授６・准教授３・講師７・助教２・兼０」から「教授５・准教授３・講師５・助教１・兼１」に変更。

（注）・　２（１）ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（Ａ）	必修	選択	自由	計	
73 科目	84 科目	0 科目	157 科目	73 科目 [　　]	90 科目 [6]	0 科目 [　　]	163 科目 [6]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を
記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（3） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（4） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（5） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（6） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{157} = 0\ \%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（3）未開講科目」と「（4）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　　分	専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人） 校地隣接土地を新規に取得したため（30）
	校舎敷地	27,269.00㎡	2,224.19㎡	4,233.66㎡	33,726.85㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0.00㎡	11,610.00㎡	50,698.00㎡	
	小　　計	66,357.00㎡	2,224.19㎡	15,843.66㎡	84,424.85㎡	
	そ の 他	66,139.28㎡ ~~65,119.00㎡~~	0.00㎡	34,029.83㎡	100,169.1㎡ ~~99,148.83㎡~~	
	合　　計	132,496.28㎡ ~~131,476.00㎡~~	2,224.19㎡	49,873.49㎡	184,594.00㎡ ~~183,573.68㎡~~	
(2) 校舎		専　　用	共　　用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人）
		79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	1,646.11㎡ (1,646.11㎡)	14,427.50㎡ (14,427.50㎡)	95,927.83㎡ (95,927.83㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため（29） 大学全体
	48室	46室 ~~44室~~	135室 ~~138室~~	2室 (補助職員1人)	2室 (補助職員1人)	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　　数	1室を2人で使用する場合がある。 教員構成変更のため（元）
	医療福祉学部　子ども医療福祉学科	12.5 ~~11~~ ~~14~~　室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	教育環境を充実させるため（29）（30） （元） 申請学科 共用図書 1,674冊 ~~1,609冊~~ ~~1,893冊~~
	医療福祉学部 子ども医療福祉学科	15,770〔521〕 ~~15,763〔514〕~~ ~~14,028〔545〕~~ (13,460〔529〕) ~~(13,083〔521〕)~~ ~~(12,333〔514〕)~~ ~~(11,444〔545〕)~~	23〔4〕 ~~24〔4〕~~ 22〔4〕 ~~23〔4〕~~ ~~24〔4〕~~	3〔3〕 4〔4〕 (0〔0〕) ~~(3〔3〕)~~ ~~(4〔4〕)~~	69 ~~205~~ ~~190~~ ~~186~~ (69) ~~(205)~~ ~~(190)~~ ~~(186)~~	986 ~~983~~ ~~839~~ ~~785~~ (986) ~~(983)~~ ~~(839)~~ ~~(785)~~	39 ~~51~~ ~~43~~ (39) ~~(51)~~ ~~(43)~~	
	計	15,770〔521〕 ~~15,763〔514〕~~ ~~14,028〔545〕~~ (13,460〔529〕) ~~(13,083〔521〕)~~ ~~(12,333〔514〕)~~ ~~(11,444〔545〕)~~	23〔4〕 ~~24〔4〕~~ 22〔4〕 ~~23〔4〕~~ ~~24〔4〕~~	3〔3〕 4〔4〕 (0〔0〕) ~~(3〔3〕)~~ ~~(4〔4〕)~~	69 ~~205~~ ~~190~~ ~~186~~ (69) ~~(205)~~ ~~(190)~~ ~~(186)~~	986 ~~983~~ ~~839~~ ~~785~~ (986) ~~(983)~~ ~~(839)~~ ~~(785)~~	39 ~~51~~ ~~43~~ (39) ~~(51)~~ ~~(43)~~	

(6) 図書館	面　　積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	2,482.94㎡	606	210,275	

(7) 体育館	面　　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52㎡ 第２武道場　262.11㎡	温水プール　25ｍ×7コース	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　　分	開設年度	完成年度	区　　分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費は新設3学科全体（29） 設備の整備に想定より経費がかからなかったため（29） 図書購入費は前年度実績により予算を見直したため（29） 共同研究費は大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費（運用ｺｽﾄ含む）を含む
		教員１人当り研究費等	567千円	523千円	図書購入費	― 千円	1,640千円 ~~1,727千円~~	2,640千円 ~~2,427千円~~	
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	52,238千円 ~~100,000千円~~	50,000千円	50,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,350千円	1,050千円	1,050千円	1,050千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1136	－	0.88	平成29	平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 （医療福祉学）	0.56	－	平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 （臨床心理学）	0.92	－	平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	242	学士 （子ども医療福祉学）	1.04	平成29	平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士 （保健看護学）	－	－	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	120	－	1.08	平成31	平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	120	学士 （保健看護学）	1.08	平成31	平成31	同上	
リハビリテーション学部	4	220	－	220	－	1.05	平成31	平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	60	学士 （理学療法学）	1.18	平成31	平成31	同上	
作業療法学科	4	60	－	60	学士 （作業療法学）	1.06	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	60	学士 （言語聴覚療法学）	0.96	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	40	学士 （視能療法学）	0.97	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1172	－	1.10	平成29	平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	180	学士 （臨床検査学）	1.18	平成29	平成29	同上	
診療放射線技術学科	4	60	－	180	学士 （診療放射線技術学）	1.14	平成29	平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	300	学士 （臨床工学）	1.10	－	平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 （臨床栄養学）	1.05	－	平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	306	学士 （健康体育学）	0.94	－	平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－	平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止

視能矯正専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	平成29	平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	平成29	平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898	－	0.61	－	平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療福祉経営学）	0.60	－	平成17	同上	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 （医療情報学）	0.61	－	平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療秘書学）	0.66	－	平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.54	－	平成17	同上	
大学全体	4	1186	32	3546	－	0.92	－	－	－	
医療福祉学研究科	－	41	－	89	－	0.60	－	平成8	－	
（修士課程）	2	34	－	－	－	0.68	－	平成8	－	
（博士後期課程）	3	7	－	－	－	0.42	－	平成10	－	
医療福祉学専攻	－	13	－	29	－	0.47	－	平成8	－	
修士課程	2	10	－	20	修士 （医療福祉学）	0.45	－	平成8	岡山県倉敷市松島288番地	
博士後期課程	3	3	－	9	博士 （医療福祉学）	0.33	－	平成10	同上	
臨床心理学専攻	－	14	－	30	－	0.64	－	平成8	－	
修士課程	2	12	－	24	修士 （臨床心理学）	0.99	－	平成8	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （臨床心理学）	0.50	－	平成10	同上	
保健看護学専攻	－	14	－	30	－	0.68	－	平成11	－	
修士課程	2	12	－	24	修士 （保健看護学）	0.58	－	平成11	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （保健看護学）	0.50	－	平成18	同上	

医療技術学研究科	－	42	－	92	－	0.52	－	平成8	－	
（修士課程）	2	34	－	－	－	0.27	－	平成8	－	
（博士後期課程）	3	8	－	－	－	0.91	－	平成10	－	
感覚矯正学専攻	－	10	－	22	－	0.53	－	平成8	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 （感覚矯正学）	0.31	－	平成8	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （感覚矯正学）	1.16	－	平成10	同上	
健康体育学専攻	－	8	－	16	－	0.49	－	平成8	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 （健康体育学）	0.49	－	平成8	同上	
臨床栄養学専攻	－	8	－	16	－	0.18	－	平成8	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 （臨床栄養学）	0.18	－	平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻	－	8	－	18	－	0.75	－	平成11	－	
修士課程	2	6	－	12	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	－	平成11	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	1.16	－	平成13	同上	
健康科学専攻	－	2	－	6	－	1.33	－	平成10	－	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （健康科学）	1.33	－	平成10	同上	
臨床工学専攻	－	6	－	14	－	0.05	－	平成23	－	
修士課程	2	4	－	8	修士 （臨床工学）	0.12	－	平成23	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （臨床工学）	0.00	－	平成23	同上	
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	19	－	40	－	0.47	－	平成21	－	
（修士課程）	2	17	－	－	－	0.49	－	平成21	－	
（博士後期課程）	3	2	－	－	－	0.33	－	平成21	－	
医療福祉経営学専攻	－	3	－	6	－	0.99	－	平成21	－	
修士課程	2	3	－	6	修士 （医療福祉経営学）	0.99	－	平成21	同上	
医療秘書学専攻	－	2	－	4	－	0.75	－	平成21	－	
修士課程	2	2	－	4	修士 （医療秘書学）	0.75	－	平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻	－	4	－	8	－	0.25	－	平成21	－	
修士課程	2	4	－	8	修士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.25	－	平成21	同上	
医療情報学専攻	－	10	－	22	－	0.40	－	平成21	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 （医療情報学）	0.37	－	平成21	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （医療情報学）	0.33	－	平成21	同上	
大学院全体	－	102	－	221	－	0.55	－	－	－	

大学の名称	川崎医科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
医学部	6	126	－	728	学士（医学）	1.00	平成27 平成29	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	定員変更（10） 定員変更（6）
医学科	6	126	－	728	学士（医学）	1.00	平成27 平成29	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	定員変更（10） 定員変更（6）
医学研究科	4	25	－	100	博士（医学）	0.59	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	
医科学専攻	4	25	－	100	博士（医学）	0.59	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	

大学の名称	川崎医療短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍				
看護科	3	120	－	360	短期大学士（看護）	1.19	－	昭和48	岡山県倉敷市松島316番地	
放射線技術科	3	－	－	－	短期大学士（放射線技術）	－	－	昭和52	岡山県倉敷市松島316番地	平成29年度学生募集停止
医療介護福祉科	2	80	－	160	短期大学士（医療介護福祉）	0.17	－	平成13	岡山県倉敷市松島316番地	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

５　教員組織の状況

＜医療福祉学部　子ども医療福祉学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	稲田　正文 （68） ＜平成29年4月＞ 文学士	小児保健Ⅱ 発達心理学 教育相談 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	寺田　喜平 （66） ＜平成31年4月＞ 医学博士	医学一般 小児科学 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	寺田　喜平 （64） ＜平成29年4月＞ 医学博士	医学一般 小児科学
専	教授	田口　豊郁 （63） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論 公衆衛生学 医療福祉施設概論 労働衛生学 労働衛生管理学 人間工学 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	稲田　正文 （68） ＜平成29年4月＞ 文学士	小児保健Ⅱ 発達心理学 教育相談 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	寺田　喜平 （64） ＜平成31年4月＞ 医学博士	医学一般 小児科学 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	寺田　喜平 （64） ＜平成29年4月＞ 医学博士	医学一般 小児科学
専	教授	田口　豊郁 （63） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論 公衆衛生学 医療福祉施設概論 労働衛生学 労働衛生管理学 人間工学 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	稲田　正文 （69） ＜平成29年4月＞ 文学士	小児保健Ⅱ 発達心理学 教育相談 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **臨床心理学総論**
専	教授	寺田　喜平 （65） **＜平成30年4月＞** 医学博士	医学一般 小児科学 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	田口　豊郁 （64） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論 公衆衛生学 医療福祉施設概論 労働衛生学 労働衛生管理学 人間工学 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	稲田　正文 （70） ＜平成29年4月＞ 文学士	小児保健Ⅱ 発達心理学 教育相談 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **臨床心理学総論** **教育実習** **医療福祉キャリア形成論** **子どものケアと発達支援実習指導ⅠA** **子どものケアと発達支援実習指導ⅠB** **子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）**
専	教授	寺田　喜平 （66） **＜平成30年4月＞** 医学博士	医学一般 小児科学 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	田口　豊郁 （65） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論 公衆衛生学 医療福祉施設概論 労働衛生学 労働衛生管理学 人間工学 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ 教育実習 小児保健Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　勇人 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論 子ども医療福祉総論 現代社会と福祉 社会福祉 社会保障 保健医療サービス 権利擁護と成年後見制度 児童家庭福祉 医療福祉施設概論 精神保健福祉相談援助の基盤（基礎） 相談援助 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 精神保健福祉学修成果演習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	尾﨑　公彦 （53） ＜平成29年4月＞ 芸術学修士	子どもと表現Ⅰ ユニバーサルデザイン論 幼児図画工作 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	中原　朋生 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	子ども医療福祉総論 子どもと人間関係 幼児生活 子どものケアと発達支援の原理 カリキュラム編成論 教育方法の理論と実践 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　勇人 （57） ＜平成29年4月＞ （博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論 子ども医療福祉総論 現代社会と福祉 社会福祉 社会保障 保健医療サービス 権利擁護と成年後見制度 児童家庭福祉 医療福祉施設概論 精神保健福祉相談援助の基盤（基礎） 相談援助 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 精神保健福祉学修成果演習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	尾﨑　公彦 （53） ＜平成29年4月＞ 芸術学修士	子どもと表現Ⅰ ユニバーサルデザイン論 幼児図画工作 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	中原　朋生 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	子ども医療福祉総論 子どもと人間関係 幼児生活 子どものケアと発達支援の原理 カリキュラム編成論 教育方法の理論と実践 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　勇人 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論 子ども医療福祉総論 現代社会と福祉 社会福祉 社会保障 保健医療サービス 権利擁護と成年後見制度 児童家庭福祉 医療福祉施設概論 精神保健福祉相談援助の基盤（基礎） 相談援助 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 精神保健福祉学修成果演習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	尾﨑　公彦 （54） ＜平成29年4月＞ 芸術学修士	子どもと表現Ⅰ ユニバーサルデザイン論 幼児図画工作 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	教授	中原　朋生 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	~~**子ども医療福祉総論**~~ 子どもと人間関係 幼児生活 子どものケアと発達支援の原理 カリキュラム編成論 教育方法の理論と実践 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） ~~**子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）**~~ 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋本　勇人 （59） ＜平成29年4月＞ 博士（医療福祉学）	日本国憲法 感覚矯正学概論 子ども医療福祉総論 現代社会と福祉 社会福祉 社会保障 保健医療サービス 権利擁護と成年後見制度 児童家庭福祉 医療福祉施設概論 精神保健福祉相談援助の基盤（基礎） 相談援助 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 精神保健福祉学修成果演習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **教育実習** **教職概論**
専	教授	尾﨑　公彦 （55） ＜平成29年4月＞ 芸術学修士	子どもと表現Ⅰ ユニバーサルデザイン論 幼児図画工作 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中原　朋生 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（教育学）	子ども医療福祉総論 子どもと人間関係 子どものケアと発達支援の原理 子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ 子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）
兼担	教授	山野井　敦徳 （74） ＜平成30年4月＞ 教育学博士	教育基礎理論
専	准教授	荻田　聡子 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	小児保健Ⅰ 救急処置法Ⅰ 救急処置法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	荻田　聡子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	小児保健Ⅰ
専	准教授	笹川　拓也 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（社会学）	福祉行財政と福祉計画 地域福祉の理論と方法 相談援助 家庭支援論 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ 子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中原　朋生 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（教育学）	子ども医療福祉総論 子どもと人間関係 子どものケアと発達支援の原理 子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ 子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） **基礎ゼミナール**
兼担	教授	山野井　敦徳 （73） ＜平成30年4月＞ 教育学博士	教育基礎理論
専	准教授	荻田　聡子 （58） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	小児保健Ⅰ 救急処置法Ⅰ 救急処置法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	荻田　聡子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	小児保健Ⅰ
専	准教授	笹川　拓也 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（社会学）	福祉行財政と福祉計画 地域福祉の理論と方法 相談援助 家庭支援論 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ 子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	中原　朋生 （47） ＜平成29年4月＞ 博士（教育学）	~~子ども医療福祉総論~~ 子どもと人間関係 子どものケアと発達支援の原理 子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ 子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） ~~子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）~~ ~~子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）~~ ~~基礎ゼミナール~~
兼担	教授	山野井　敦徳 （74） ＜平成30年4月＞ 教育学博士	教育基礎理論
専	准教授	荻田　聡子 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	小児保健Ⅰ 救急処置法Ⅰ 救急処置法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	荻田　聡子 （59） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	小児保健Ⅰ
専	准教授	笹川　拓也 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（社会学）	福祉行財政と福祉計画 地域福祉の理論と方法 相談援助 家庭支援論 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ 子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **小児ケア実習Ⅰ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**教授**	山野井　敦徳 （75） ＜平成30年4月＞ 教育学博士	教育基礎理論 **教育実習** **子どものケアと発達支援の原理** **基礎ゼミナール** **子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ** **子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ** **子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）** **子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）** **子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）** **子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）**
専	准教授	荻田　聡子 （60） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	小児保健Ⅰ 救急処置法Ⅰ 救急処置法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール** **子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ** **子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ** **子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）**
専	准教授	笹川　拓也 （47） ＜平成29年4月＞ 博士（社会学）	福祉行財政と福祉計画 地域福祉の理論と方法 相談援助 家庭支援論 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ＩＡ 子どものケアと発達支援実習指導ＩＢ 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **小児ケア実習Ⅰ** **小児ケア実習Ⅱ** **教育実習** **社会的養護** **精神保健福祉援助演習Ⅰ** **社会的養護内容** **精神保健福祉学修成果演習** **精神保健福祉援助実習指導Ⅰ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	中川　智之 （40） ＜平成29年4月＞ 博士（学校教育学）	子どもと環境 子どもと人間関係 幼児生活 教育相談 教育方法の理論と実践 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教育実習 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	講師	大江　由美 （64） ＜平成30年4月＞ 短期大学	医療福祉施設概論 保育内容総論 子どものケアと発達支援者論 子どものケアと発達の相談支援 障害児のケアと発達支援Ⅰ 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	大江　由美 （63） ＜平成29年4月＞ 短期大学	保育内容総論 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	中川　智之 （40） ＜平成29年4月＞ 博士（学校教育学）	子どもと環境 子どもと人間関係 幼児生活 教育相談 教育方法の理論と実践 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教育実習 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	講師	大江　由美 （63） ＜平成30年4月＞ 短期大学	医療福祉施設概論 保育内容総論 子どものケアと発達支援者論 子どものケアと発達の相談支援 障害児のケアと発達支援Ⅰ 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	大江　由美 （63） ＜平成29年4月＞ 短期大学	保育内容総論 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA **基礎ゼミナール**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	中川　智之 （41） ＜平成29年4月＞ （博士（学校教育学）	子どもと環境 子どもと人間関係 幼児生活 教育相談 教育方法の理論と実践 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教育実習 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **子ども医療福祉総論** **子どものケアと発達支援の原理**
専	講師	大江　由美 （64） ＜平成30年4月＞ 短期大学	医療福祉施設概論 保育内容総論 子どものケアと発達支援者論 子どものケアと発達の相談支援 障害児のケアと発達支援Ⅰ 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	中川　智之 （42） ＜平成29年4月＞ （博士（学校教育学）	子どもと環境 子どもと人間関係 幼児生活 教育相談 教育方法の理論と実践 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教育実習 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **子ども医療福祉総論** **子どものケアと発達支援の原理** **ソーシャルワーク基礎学修** **成果演習** **教育実習**
専	講師	大江　由美 （65） ＜平成30年4月＞ 短期大学	医療福祉施設概論 保育内容総論 子どものケアと発達支援者論 子どものケアと発達の相談支援 障害児のケアと発達支援Ⅰ 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール** **教育実習** **小児保健Ⅲ** **健康相談** **医療福祉キャリア形成論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	宮津　澄江 （63） ＜平成30年4月＞ 高等学校	子どもと健康 小児保健Ⅲ 子ども医療福祉総論 健康相談 救急処置法Ⅱ 小児ケア方法論 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	宮津　澄江 （62） ＜平成29年4月＞ 高等学校	子どもと健康
専	講師	岡田　恵子 （58） ＜平成29年4月＞ 修士（学術）	社会的養護 社会的養護内容 基礎ゼミナール ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	宮津　澄江 （62） ＜平成30年4月＞ 高等学校	子どもと健康 小児保健Ⅲ 子ども医療福祉総論 健康相談 救急処置法Ⅱ 小児ケア方法論 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	宮津　澄江 （62） ＜平成29年4月＞ 高等学校	子どもと健康
専	講師	岡田　恵子 （58） ＜平成29年4月＞ 修士（学術）	社会的養護 社会的養護内容 基礎ゼミナール ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	宮津　澄江 （63） **＜平成31年4月＞** 高等学校	子どもと健康 小児保健Ⅲ 子ども医療福祉総論 健康相談 救急処置法Ⅱ 小児ケア方法論 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	宮津　澄江 （63） ＜平成29年4月＞ 高等学校	子どもと健康 **子ども医療福祉総論** **小児ケア方法論** **子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）** **子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）** **子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）** **小児ケア実習Ⅰ**
専	講師	岡田　恵子 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（学術）	社会的養護 社会的養護内容 基礎ゼミナール ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	**助教**	**荻野　真知子 （45） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）**	**教育実習 小児保健Ⅲ 子ども医療福祉総論 健康相談 救急処置法Ⅱ 小児ケア方法論 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ**
専	講師	岡田　恵子 （60） ＜平成29年4月＞ 修士（学術）	**社会的養護** 社会的養護内容 基礎ゼミナール ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **教育実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	青井　則子 （58） ＜平成29年4月＞ 学術学士	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	講師	森本　寛訓 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（臨床心理学）	小児保健Ⅱ 教育相談 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
兼任	講師	森本　寛訓 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（臨床心理学）	小児保健Ⅱ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	青井　則子 （58） ＜平成29年4月＞ 学術学士	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	講師	森本　寛訓 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（臨床心理学）	小児保健Ⅱ 教育相談 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール**
兼任	講師	森本　寛訓 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（臨床心理学）	小児保健Ⅱ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ **基礎ゼミナール**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	青井　則子 （59） ＜平成29年4月＞ 学術学士	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **子どものケアと発達支援実習指導ⅠA** **子どものケアと発達支援実習指導ⅠB**
専	講師	森本　寛訓 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（臨床心理学）	小児保健Ⅱ 教育相談 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール**
兼任	講師	森本　寛訓 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（臨床心理学）	小児保健Ⅱ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ **基礎ゼミナール**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	青井　則子 （60） ＜平成29年4月＞ 学術学士	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **子どものケアと発達支援実習指導ⅠA** **子どものケアと発達支援実習指導ⅠB** **教育実習**
専	講師	森本　寛訓 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（臨床心理学）	小児保健Ⅱ 教育相談 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **基礎ゼミナール** **教育実習** **精神保健福祉援助演習Ⅰ** **精神保健福祉援助実習指導Ⅰ**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	重松　孝治 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	心身の発達と学習過程 子ども医療福祉総論 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ 発達障害児のケアと発達支援Ⅰ 発達障害児のケアと発達支援Ⅱ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	重松　孝治 （40） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	子ども医療福祉総論 障害児のケアと発達支援Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）
専	講師	伊藤　智里 （41） ＜平成29年4月＞ 博士（学校教育学）	子どもと表現Ⅰ 子どもと言葉 ユニバーサルデザイン論 幼児生活 幼児図画工作 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教育実習 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	重松　孝治 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	心身の発達と学習過程 子ども医療福祉総論 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ 発達障害児のケアと発達支援Ⅰ 発達障害児のケアと発達支援Ⅱ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習 **基礎ゼミナール**
兼任	講師	重松　孝治 （40） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	子ども医療福祉総論 障害児のケアと発達支援Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） **基礎ゼミナール**
専	講師	伊藤　智里 （41） ＜平成29年4月＞ 博士（学校教育学）	子どもと表現Ⅰ 子どもと言葉 ユニバーサルデザイン論 幼児生活 幼児図画工作 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教育実習 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	重松　孝治 （41） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	心身の発達と学習過程 子ども医療福祉総論 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ 発達障害児のケアと発達支援Ⅰ 発達障害児のケアと発達支援Ⅱ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習 **基礎ゼミナール**
兼任	講師	重松　孝治 （41） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	子ども医療福祉総論 障害児のケアと発達支援Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） **基礎ゼミナール**
専	講師	伊藤　智里 （42） ＜平成29年4月＞ 博士（学校教育学）	子どもと表現Ⅰ 子どもと言葉 ユニバーサルデザイン論 幼児生活 幼児図画工作 基礎ゼミナール 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教育実習 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	**講師**	**小合　幾子 （62） ＜平成30年4月＞ 教育学修士**	**教育実習指導 教職実践演習（幼稚園） 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援者論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	重松　孝治 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	心身の発達と学習過程 子ども医療福祉総論 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ 発達障害児のケアと発達支援Ⅰ 発達障害児のケアと発達支援Ⅱ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習 **基礎ゼミナール 教育実習 健康相談 救急処置法Ⅱ 医療福祉キャリア形成論**
専	**講師**	**小合　幾子 （63） ＜平成30年4月＞ 教育学修士**	**教育実習指導 教職実践演習（幼稚園） 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援者論 教育実習 子どもと言葉 カリキュラム編成論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	入江　慶太 （40） ＜平成29年4月＞ 修士（心理学）	子どもと健康 心理学理論と心理的支援 保育の心理学 子どもと人間関係 保育内容総論 乳児のケアと発達支援Ⅰ 乳児のケアと発達支援Ⅱ 幼児理解の理論と方法 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教職実践演習（幼稚園） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	講師	根来　麻子 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現 幼児国語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	入江　慶太 （40） ＜平成29年4月＞ 修士（心理学）	子どもと健康 心理学理論と心理的支援 保育の心理学 子どもと人間関係 保育内容総論 乳児のケアと発達支援Ⅰ 乳児のケアと発達支援Ⅱ 幼児理解の理論と方法 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教職実践演習（幼稚園） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	講師	根来　麻子 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現 幼児国語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	入江　慶太 （41） ＜平成29年4月＞ 修士（心理学）	子どもと健康 心理学理論と心理的支援 保育の心理学 子どもと人間関係 保育内容総論 乳児のケアと発達支援Ⅰ 乳児のケアと発達支援Ⅱ 幼児理解の理論と方法 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教職実践演習（幼稚園） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **小児ケア実習Ⅰ**
専	講師	根来　麻子 （37） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現 幼児国語 **日本語リテラシー**
専	**講師**	**三宅　美智子 （61） ＜平成30年4月＞ 短期大学**	**子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	入江　慶太 （42） ＜平成29年4月＞ 修士（心理学）	子どもと健康 心理学理論と心理的支援 保育の心理学 子どもと人間関係 保育内容総論 乳児のケアと発達支援Ⅰ 乳児のケアと発達支援Ⅱ 幼児理解の理論と方法 子どもと遊びの指導法（障害児・病児の遊びを含む） 基礎ゼミナール 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 教職実践演習（幼稚園） 総合表現指導法Ⅰ 総合表現指導法Ⅱ 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ **小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ 教育実習**
専	**准教授**	**北澤　正志 （58） ＜平成31年4月＞ 文学士**	**文章表現 幼児国語**
専	**講師**	**三宅　美智子 （62） ＜平成30年4月＞ 短期大学**	**子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 教育実習 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松本　優作 （33） ＜平成30年4月＞ 学士（医療福祉学）	精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	助教	鈴木　浩正 （32） ＜平成30年4月＞ 学士（医療福祉学）	精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松本　優作 （32） ＜平成30年4月＞ 学士（医療福祉学）	精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	助教	鈴木　浩正 （31） ＜平成30年4月＞ 学士（医療福祉学）	精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松本　優作 （33） ＜平成30年4月＞ 学士（医療福祉学）	精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
専	助教	山脇（橋本）　彰子 （45） ＜平成30年4月＞ 修士（社会福祉学）	精神保健福祉相談援助の基盤（専門） 精神保健の課題と支援Ⅱ 教育相談 精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	松本　優作 （34） ＜平成30年4月＞ 学士（医療福祉学）	精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 子ども医療福祉実践研究Ⅱ 教育実習 保健医療サービス 医療福祉キャリア形成論 ソーシャルワーク基礎学修成果演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	佐々木　和信 （71） ＜平成30年4月＞ 医学博士	療養環境とデザイン
兼担	教授	鈴木　幸一郎 （70） ＜平成31年4月＞ 医学博士	救急医療
兼担	教授	加来　浩平 （69） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	益田　芳樹 （67） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	虫明　基 （67） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	福田　章一郎 （66） ＜平成29年4月＞ 経済学士	感覚矯正学概論
兼担	教授	彦坂　和雄 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	生理学 感覚矯正学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	佐々木　和信 （70） ＜平成30年4月＞ 医学博士	療養環境とデザイン
兼担	教授	鈴木　幸一郎 （68） ＜平成31年4月＞ 医学博士	救急医療
兼担	教授	加来　浩平 （69） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	益田　芳樹 （67） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	虫明　基 （67） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	福田　章一郎 （66） ＜平成29年4月＞ 経済学士	感覚矯正学概論
兼担	教授	彦坂　和雄 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	生理学 感覚矯正学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	佐々木　和信 （71） ＜平成30年4月＞ 医学博士	療養環境とデザイン
兼担	教授	鈴木　幸一郎 （69） ＜平成31年4月＞ 医学博士	救急医療
兼担	教授	加来　浩平 （70） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	益田　芳樹 （68） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	虫明　基 （68） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	福田　章一郎 （67） ＜平成29年4月＞ 経済学士	感覚矯正学概論
兼担	教授	彦坂　和雄 （65） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	生理学 感覚矯正学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	岡正　寛子 （38） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	精神保健の課題と支援Ⅰ 教育実習 保健医療サービス 精神保健福祉に関する制度とサービス 精神障害者の生活支援システム 社会的養護 精神保健福祉の理論と相談援助の展開 精神保健福祉援助演習Ⅰ 社会的養護内容 基礎ゼミナール ソーシャルワーク基礎学修成果演習 精神保健福祉学修成果演習 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 教育実習指導 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）
兼担	教授	佐々木　和信 （72） ＜平成30年4月＞ 医学博士	療養環境とデザイン
兼任	教授	鈴木　幸一郎 （70） ＜平成31年4月＞ 医学博士	救急医療
兼担	教授	加来　浩平 （71） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	益田　芳樹 （69） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	虫明　基 （69） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学
兼担	教授	彦坂　和雄 （66） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	生理学 感覚矯正学概論 解剖学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	種村　純 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	吉岡　リサ （64） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	難波　哲子 （64） ＜平成29年4月＞ 家政学士	感覚矯正学概論
兼担	教授	熊谷　忠和 （64） ＜平成30年4月＞ 博士（社会福祉学）	相談援助の理論と方法Ⅱ 医療ソーシャルワーク論Ⅰ
兼担	教授	小坂　美鶴 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	松本　真 （63） ＜平成29年4月＞ 理学博士	解剖学 感覚矯正学概論
兼担	教授	中新　美保子 （60） ＜平成30年4月＞ 博士（医療福祉学）	小児看護学 小児ケア方法論
兼担	教授	柏原　洋子 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	教授	山中　信幸 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（学校教育学）	教職概論
兼担	教授	姜　波 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解
兼担	教授	林　明弘 （58） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	種村　純 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	博士（心理学）
兼担	教授	吉岡　リサ （64） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	難波　哲子 （64） ＜平成29年4月＞ 家政学士	感覚矯正学概論
兼担	教授	熊谷　忠和 （63） ＜平成30年4月＞ 博士（社会福祉学）	相談援助の理論と方法Ⅱ 医療ソーシャルワーク論Ⅰ
兼担	教授	小坂　美鶴 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	松本　真 （63） ＜平成29年4月＞ 理学博士	解剖学 感覚矯正学概論
兼担	教授	中新　美保子 （59） ＜平成30年4月＞ 博士（医療福祉学）	小児看護学 小児ケア方法論
兼担	教授	柏原　洋子 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	教授	山中　信幸 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（学校教育学）	教職概論
兼担	教授	姜　波 （58） ＜平成29年4月＞ 修士（学術）	異文化理解
兼担	教授	林　明弘 （58） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	種村　純 （65） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	吉岡　リサ （65） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	難波　哲子 （65） ＜平成29年4月＞ 家政学士	感覚矯正学概論
兼担	教授	熊谷　忠和 （64） ＜平成30年4月＞ 博士（社会福祉学）	相談援助の理論と方法Ⅱ 医療ソーシャルワーク論Ⅰ
兼担	教授	小坂　美鶴 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	松本　真 （64） ＜平成29年4月＞ 理学博士	解剖学 感覚矯正学概論
兼担	教授	中新　美保子 （60） ＜平成30年4月＞ 博士（医療福祉学）	小児看護学 小児ケア方法論
兼担	教授	柏原　洋子 （60） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） **実践英会話** **英語インテンシブリーディング**
兼担	教授	山中　信幸 （60） ＜平成29年4月＞ 修士（学校教育学）	教職概論
兼担	教授	姜　波 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（学術）	異文化理解 **初修外国語**
兼担	教授	林　明弘 （59） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	種村　純 （66） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	熊谷　忠和 （65） ＜平成30年4月＞ 博士（社会福祉学）	**相談援助の理論と方法Ⅱ** 医療ソーシャルワーク論Ⅰ
兼担	教授	小坂　美鶴 （65） ＜平成29年4月＞ 博士（感覚矯正学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	中新　美保子 （61） ＜平成30年4月＞ 博士（医療福祉学）	小児看護学 小児ケア方法論
兼担	教授	柏原　洋子 （61） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） **実践英会話** **英語インテンシブリーディング**
兼担	教授	山中　信幸 （61） ＜平成29年4月＞ 修士（学校教育学）	教職概論
兼担	教授	姜　波 （60） ＜平成29年4月＞ 修士（学術）	異文化理解 **初修外国語**
兼担	教授	林　明弘 （60） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	保野　孝弘 (56) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	進藤　貴子 (53) ＜平成30年4月＞ 教育学修士	臨床心理学総論
兼担	教授	矢野　博己 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	伊禮　功 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	宇野　雅子 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	岡　真由美 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	三木　淳司 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	福岡　欣治 (48) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	飯田　淳子 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学
兼担	教授	平岡　崇 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	リハビリテーション総論
兼担	准教授	伊藤　隆男 (62) ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	澤原　光彦 (59) ＜平成30年4月＞ 医学士	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	保野　孝弘 (56) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	進藤　貴子 (52) ＜平成30年4月＞ 教育学修士	臨床心理学総論
兼担	教授	矢野　博己 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	伊禮　功 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	宇野　雅子 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	岡　真由美 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	三木　淳司 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	福岡　欣治 (48) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	飯田　淳子 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学
兼担	教授	平岡　崇 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	リハビリテーション総論
兼担	准教授	伊藤　隆男 (62) ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	澤原　光彦 (58) ＜平成30年4月＞ 医学士	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	保野　孝弘 (57) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	矢野　博己 (52) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	宇野　雅子 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	岡　真由美 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	三木　淳司 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	福岡　欣治 (49) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	飯田　淳子 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学 **異文化理解（海外研修）**
兼担	教授	平岡　崇 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	リハビリテーション総論
兼担	准教授	伊藤　隆男 (63) ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	澤原　光彦 (59) ＜平成30年4月＞ 医学士	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	保野　孝弘 (58) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	矢野　博己 (53) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	宇野　雅子 (52) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	岡　真由美 (52) ＜平成29年4月＞ 博士（保健科学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	三木　淳司 (52) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感覚矯正学概論
兼担	教授	福岡　欣治 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	飯田　淳子 (47) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学 **異文化理解（海外研修）**
兼担	教授	平岡　崇 (47) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	リハビリテーション総論
兼担	准教授	伊藤　隆男 (64) ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	**教授**	澤原　光彦 (60) ＜平成30年4月＞ 医学士	精神医学Ⅰ 精神医学Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	田中　順子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	健康と音楽
兼担	准教授	竹中　麻由美 （57） ＜平成30年4月＞ 社会学修士	相談援助の理論と方法Ⅰ 医療ソーシャルワーク論Ⅱ
兼担	准教授	諏訪　利明 （57） ＜平成30年4月＞ 文学修士	心身の発達と学習過程 自閉症概論 幼児理解の理論と方法
兼担	准教授	山内　泰子 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （50） ＜平成29年4月＞ 修士(社会学)	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門 労働生理学 環境生理学
兼担	講師	秦　久美子 （57） ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	朱　容仁 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （44） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （43） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	小池　大介 （42） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	田中　順子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士(学術)	健康と音楽
兼担	准教授	竹中　麻由美 （56） ＜平成30年4月＞ 社会学修士	相談援助の理論と方法Ⅰ 医療ソーシャルワーク論Ⅱ
兼担	准教授	諏訪　利明 （56） ＜平成30年4月＞ 文学修士	心身の発達と学習過程 自閉症概論 幼児理解の理論と方法
兼担	准教授	山内　泰子 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （50） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門 労働生理学 環境生理学
兼担	講師	秦　久美子 （57） ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	朱　容仁 （45） ＜平成29年4月＞ 修士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （44） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （43） ＜平成29年4月＞ 医博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	小池　大介 （42） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	田中　順子 （59） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	竹中　麻由美 （57） ＜平成30年4月＞ 社会学修士	相談援助の理論と方法Ⅰ 医療ソーシャルワーク論Ⅱ
兼担	准教授	諏訪　利明 （57） ＜平成30年4月＞ 文学修士	心身の発達と学習過程 自閉症概論 幼児理解の理論と方法
兼担	准教授	山内　泰子 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （51） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門 労働生理学 環境生理学
兼担	講師	秦　久美子 （58） ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	朱　容仁 （46） ＜平成29年4月＞ 修士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （45） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	小池　大介 （43） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	准教授	田中　順子 （60） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	**教授**	竹中　麻由美 （58） ＜平成30年4月＞ 社会学修士	相談援助の理論と方法Ⅰ 医療ソーシャルワーク論Ⅱ
兼担	准教授	諏訪　利明 （58） ＜平成30年4月＞ 文学修士	心身の発達と学習過程 自閉症概論 幼児理解の理論と方法
兼担	**教授**	山内　泰子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （52） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門 労働生理学 環境生理学
兼担	講師	朱　容仁 （47） ＜平成29年4月＞ 修士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （46） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	小池　大介 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (40) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史
兼担	講師	藤原　有子 (39) ＜平成29年4月＞ 博士(健康科学)	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	下田（山本）　茜 (37) ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	自閉症概論
兼担	講師	藤野　雅広 (36) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習
兼担	講師	平田（森）　智子 (35) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）	経済学
兼担	講師	小田桐　早苗 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	自閉症概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (40) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史
兼担	講師	藤原　有子 (39) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	下田（山本）　茜 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	自閉症概論
兼担	講師	藤野　雅広 (36) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習
兼担	講師	平田（森）　智子 (35) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）	経済学
兼担	講師	小田桐　早苗 (34) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉学）	自閉症概論
兼担	**教授**	**塩見　将志 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）**	**感覚矯正学概論**
兼担	**助教**	**後藤　大輔 (30) ＜平成29年4月＞ 修士（ｽﾎﾟｰﾂ健康科学）**	**子どもと健康**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (41) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史 **和の伝統文化**
兼担	講師	藤原　有子 (40) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	藤野　雅広 (37) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習
兼担	講師	平田（森）　智子 (36) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）	経済学
兼担	講師	小田桐　早苗 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	自閉症概論
兼担	**教授**	**塩見　将志 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）**	**感覚矯正学概論**
兼担	**准教授**	**細川　貴之 (40) ＜平成30年4月＞ 博士（理学）**	**生理学**
兼担	**助教**	**後藤　大輔 (31) ＜平成29年4月＞ 修士（ｽﾎﾟｰﾂ健康科学）**	**子どもと健康**
兼担	**准教授**	**谷本　泰正 (65) ＜平成29年4月＞ 理学修士**	**化学**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	西脇　藍 (42) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史 **和の伝統文化**
兼担	講師	**中尾　有子** (41) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	**講師**	**下田（山本）　茜 (38) ＜平成31年4月＞ 修士（医療福祉学）**	**自閉症概論**
兼担	講師	藤野　雅広 (38) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習
兼担	講師	平田（森）　智子 (37) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学）	経済学
兼担	講師	小田桐　早苗 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	自閉症概論
兼担	**教授**	**塩見　将志 (47) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）**	**感覚矯正学概論**
兼担	**准教授**	**細川　貴之 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（理学）**	**生理学 解剖学 感覚矯正学概論**
兼担	**助教**	**後藤　大輔 (32) ＜平成29年4月＞ 修士（ｽﾎﾟｰﾂ健康科学）**	**子どもと健康**
兼担	**准教授**	**谷本　泰正 (66) ＜平成29年4月＞ 理学修士**	**化学**
兼担	**教授**	**高崎　裕子 (65) ＜平成31年4月＞ 修士（医学）**	**感覚矯正学概論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼担	教授	長崎　和則 （59） ＜平成31年4月＞ 文学修士
											医療ソーシャルワーク論Ⅰ
									兼担	准教授	谷野　宏美 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（保健看護学）
											ヒューマンセクシャリティー論
									兼担	准教授	橋本　美香 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（文学）
											日本語リテラシー
									兼担	准教授	八田　徳高 （57） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
											感覚矯正学概論
									兼担	准教授	山下　力 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）
											感覚矯正学概論
									兼担	講師	仲井　遠哉 （36） ＜平成31年4月＞ 博士（保健福祉学）
											相談援助の理論と方法Ⅱ 医療ソーシャルワーク論Ⅰ 医療ソーシャルワーク論Ⅱ
									兼担	助教	兵藤　史武 （34） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）
											統計学
兼任	講師	栗坂　節子 （70） ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	兼任	講師	栗坂　節子 （69） ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	兼任	講師	栗坂　節子 （70） ＜平成30年4月＞ 修士（法学）	兼任	講師	栗坂　節子 （71） ＜平成30年4月＞ 修士（法学）
		労働法規Ⅰ 労働法規Ⅱ			労働法規Ⅰ 労働法規Ⅱ			労働法規Ⅰ 労働法規Ⅱ			労働法規Ⅰ 労働法規Ⅱ
兼任	講師	山田　陽子 （68） ＜平成30年4月＞ 高等学校	兼任	講師	山田　陽子 （67） ＜平成30年4月＞ 高等学校	兼任	講師	山田　陽子 （68） ＜平成30年4月＞ 高等学校	兼任	講師	山田　陽子 （69） ＜平成30年4月＞ 高等学校
		子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習			子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習			子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習			発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	黒田　とも子 （67） ＜平成30年4月＞ 短期大学	兼任	講師	黒田　とも子 （66） ＜平成30年4月＞ 短期大学	兼任	講師	黒田　とも子 （67） ＜平成30年4月＞ 短期大学	兼任	講師	黒田　とも子 （68） ＜平成30年4月＞ 短期大学
		子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）			子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）			子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）			子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	秋政　邦江 （67） ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	幼児体育 子どもと表現Ⅱ
兼任	講師	谷本　泰正 （64） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	難波　利恵子 （64） ＜平成30年4月＞ 高等学校専攻科	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	平松　愛子 （64） ＜平成30年4月＞ 短期大学	乳児のケアと発達支援Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	阿部　利則 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	小合　幾子 （63） ＜平成31年4月＞ 教育学修士	教育実習指導 教職実践演習（幼稚園）
兼任	講師	児山　香 （60） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	守安　由美子 （59） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	秋政　邦江 （66） ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	幼児体育 子どもと表現Ⅱ
兼任	講師	谷本　泰正 （64） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	難波　利恵子 （63） ＜平成30年4月＞ 高等学校専攻科	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	平松　愛子 （63） ＜平成30年4月＞ 短期大学	乳児のケアと発達支援Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	阿部　利則 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	小合　幾子 （61） ＜平成31年4月＞ 教育学修士	教育実習指導 教職実践演習（幼稚園）
兼任	講師	児山　香 （60） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	守安　由美子 （59） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	秋政　邦江 （67） ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	幼児体育 子どもと表現Ⅱ **総合表現指導法Ⅰ**
兼任	講師	難波　利恵子 （64） ＜平成30年4月＞ 高等学校専攻科	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	平松　愛子 （64） ＜平成30年4月＞ 短期大学	乳児のケアと発達支援Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設） 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	阿部　利則 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	児山　香 （61） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	守安　由美子 （60） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	秋政　邦江 （68） ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	幼児体育 子どもと表現Ⅱ **総合表現指導法Ⅰ** **総合表現指導法Ⅱ**
兼任	講師	難波　利恵子 （65） ＜平成30年4月＞ 高等学校専攻科	~~**子どものケアと発達支援実習指導ⅠB**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）**~~ 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	平松　愛子 （65） ＜平成30年4月＞ 短期大学	~~**乳児のケアと発達支援Ⅰ**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習指導ⅠB**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）**~~ ~~**子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）**~~ 発達障害児のケアと発達支援実習
兼任	講師	児山　香 （62） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 ~~**子どものケアと発達支援実習指導ⅠA**~~ 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	守安　由美子 （61） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	本郷　美紀子 （57） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	武田　朋子 （56） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	土田　耕司 （56） ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論 低所得者に対する支援と生活保護制度 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	布施　光子 （54） ＜平成29年4月＞ 教育学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	阿部　裕美 （53） ＜平成30年4月＞ 修士（臨床教育学）	小児看護学 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ
兼任	講師	諏訪　英広 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	子どもの教育制度
兼任	講師	山田　順子 （46） ＜平成30年4月＞ 博士（医療福祉学）	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）
兼任	講師	橋本　彩子 （45） ＜平成30年4月＞ 修士（社会福祉学）	精神保健福祉相談援助の基盤（専門） 精神保健の課題と支援Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 教育相談 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	本郷　美紀子 （57） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	武田　朋子 （56） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	土田　耕司 （55） ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論 低所得者に対する支援と生活保護制度 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	布施　光子 （54） ＜平成29年4月＞ 教育学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	阿部　裕美 （52） ＜平成30年4月＞ 修士（臨床教育学）	小児看護学 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ
兼任	講師	諏訪　英広 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	子どもの教育制度
兼任	講師	山田　順子 （45） ＜平成30年4月＞ 博士（教育福祉学）	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）
兼任	講師	橋本　彩子 （44） ＜平成30年4月＞ 修士（社会福祉学）	精神保健福祉相談援助の基盤（専門） 精神保健の課題と支援Ⅱ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 教育相談 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	本郷　美紀子 （58） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	武田　朋子 （57） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	土田　耕司 （56） ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論 低所得者に対する支援と生活保護制度 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅰ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	布施　光子 （55） ＜平成29年4月＞ 教育学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	阿部　裕美 （53） ＜平成30年4月＞ 修士（臨床教育学）	小児看護学 小児ケア実習Ⅰ 小児ケア実習Ⅱ
兼任	講師	諏訪　英広 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	子どもの教育制度
兼任	講師	山田　順子 （46） ＜平成30年4月＞ 博士（教育福祉学）	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	本郷　美紀子 （59） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	武田　朋子 （58） ＜平成29年4月＞ 芸術学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	土田　耕司 （57） ＜平成30年4月＞ 修士（医療福祉学）	障害者福祉論 低所得者に対する支援と生活保護制度 ~~精神保健福祉援助演習Ⅰ~~ 精神保健福祉援助演習Ⅱ 障害児のケアと発達支援Ⅰ 障害児のケアと発達支援Ⅱ ~~精神保健福祉援助実習指導Ⅰ~~ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	布施　光子 （56） ＜平成29年4月＞ 教育学士	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	阿部　裕美 （54） ＜平成30年4月＞ 修士（臨床教育学）	小児看護学 ~~小児ケア実習Ⅰ~~ ~~小児ケア実習Ⅱ~~
兼任	講師	諏訪　英広 （49） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）	子どもの教育制度
兼任	**講師**	**橋本　彩子 （46） ＜平成31年4月＞ 修士（社会福祉学）**	**精神保健福祉相談援助の基盤（専門） 精神保健の課題と支援Ⅱ 教育相談 精神保健の課題と支援Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅰ 精神保健福祉援助演習Ⅱ ~~精神保健福祉援助実習指導Ⅰ~~ 精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習 社会的養護**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	安達　保雄 （45） ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	子どものケアと発達支援者論
兼任	講師	渡邊　祐三 （45） ＜平成30年4月＞ 修士（学校教育学）	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）
兼任	講師	高木　健志 （45） ＜令和2年4月＞ 修士【医療福祉学）	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	井上　貴博 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	救急処置法Ⅱ
兼任	講師	樟本　千里 （43） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	発達心理学 学習心理学 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	河邉　聡子 （41） ＜平成29年4月＞ 修士（臨床栄養学）	小児栄養Ⅰ 小児栄養Ⅱ
兼任	講師	伊達　希久子 （40） ＜平成29年4月＞ 学士（音楽）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	中野　宏美 （40） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	安達　保雄 （44） ＜平成30年4月＞ 修士（教育学）	子どものケアと発達支援者論
兼任	講師	渡邊　祐三 （44） ＜平成30年4月＞ 修士（学校教育学）	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）
兼任	講師	高木　健志 （42） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	井上　貴博 （42） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	救急処置法Ⅱ
兼任	講師	樟本　千里 （43） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	発達心理学 学習心理学 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	河邉　聡子 （41） ＜平成29年4月＞ 修士（臨床栄養学）	小児栄養Ⅰ 小児栄養Ⅱ
兼任	講師	伊達　希久子 （40） ＜平成29年4月＞ 学士（音楽）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	中野　宏美 （40） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　祐三 （45） ＜平成30年4月＞ 修士（学校教育学）	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）
兼任	講師	高木　健志 （43） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	井上　貴博 （43） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	救急処置法Ⅱ
兼任	講師	樟本　千里 （44） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	発達心理学 **学習心理学** 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	河邉　聡子 （42） ＜平成29年4月＞ 修士（臨床栄養学）	小児栄養Ⅰ 小児栄養Ⅱ
兼任	講師	伊達　希久子 （41） ＜平成29年4月＞ 学士（音楽）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	中野　宏美 （41） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	渡邊　祐三 （46） ＜平成30年4月＞ 修士（学校教育学）	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） **カリキュラム編成論**
兼任	講師	高木　健志 （44） ＜令和2年4月＞ 修士（医療福祉学）	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ 精神保健福祉援助実習指導Ⅲ 精神保健福祉援助実習
兼任	講師	樟本　千里 （45） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	発達心理学 **学習心理学** 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	河邉　聡子 （43） ＜平成29年4月＞ 修士（臨床栄養学）	小児栄養Ⅰ 小児栄養Ⅱ
兼任	講師	伊達　希久子 （42） ＜平成29年4月＞ 学士（音楽）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	中野　宏美 （42） ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	所司　都八紀 (39) ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	井上　千穂 (36) ＜平成31年4月＞ 学士（教育学）	救急処置法Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	所司　都八紀 (39) ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	井上　千穂 (34) ＜平成31年4月＞ 学士（教育学）	救急処置法Ⅱ
兼任	講師	梶井　里恵 (32) ＜平成29年4月＞ 修士（臨床栄養学）	小児栄養Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	所司　都八紀 (40) ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	井上　千穂 (35) ＜平成31年4月＞ 学士（教育学）	救急処置法Ⅱ
兼任	講師	小田　豊 (75) ＜平成30年4月＞ 教育学士	保育内容総論
兼任	講師	梶井　里恵 (33) ＜平成29年4月＞ 修士（臨床栄養学）	小児栄養Ⅱ
兼任	講師	高木　亮 (41) ＜平成30年4月＞ 博士（学校教育学）	学習心理学
兼任	講師	西山　修 (50) ＜平成30年4月＞ 博士（学校教育学）	学習心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	所司　都八紀 (41) ＜平成29年4月＞ 修士（教育学）	子どもと表現Ⅰ 幼児音楽 音楽療法 子どものケアと発達支援実習指導ⅠA 子どものケアと発達支援実習指導ⅠB
兼任	講師	小田　豊 (76) ＜平成30年4月＞ 教育学士	保育内容総論
兼任	講師	梶井　里恵 (34) ＜平成29年4月＞ 修士（臨床栄養学）	小児栄養Ⅱ
兼任	講師	高木　亮 (42) ＜平成30年4月＞ 博士（学校教育学）	学習心理学
兼任	講師	西山　修 (51) ＜平成30年4月＞ 博士（学校教育学）	学習心理学
兼任	講師	江浪　怜志 (33) ＜平成31年4月＞ 学士（医療福祉学）	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ
兼任	講師	岡崎　祥子 (61) ＜平成31年4月＞ 短期大学	子どものケアと発達支援実習指導IB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）
兼任	講師	小川　幸恵 (68) ＜平成31年4月＞ 短期大学	乳児のケアと発達支援Ⅰ 子どものケアと発達支援実習指導IB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	片岡　加代子 （65） ＜平成31年4月＞ 短期大学
											子どものケアと発達支援実習指導IB 子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設） 子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所） 子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）
									兼任	講師	清水　久美子 （37） ＜平成31年4月＞ 学士（音楽）
											子どものケアと発達支援実習指導IA
									兼任	講師	眞弓　真秀 （36） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）
											子どもの教育制度
									兼任	講師	種村　暁也 （32） ＜平成31年4月＞ 学士（医療福祉学）
											子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）
									兼任	講師	藤本　敬子 （63） ＜平成31年4月＞ 短期大学
											教育実習 教育実習指導
									兼任	講師	水野　恵子 （47） ＜平成31年4月＞ 学士（教育学）
											教育実習 教育実習指導
									兼任	講師	中原　朋生 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（教育学）
											カリキュラム編成論 教育方法の理論と実践 幼児生活 教職実践演習（幼稚園） 子ども医療福祉実践研究Ⅰ 子ども医療福祉実践研究Ⅱ
									兼任	講師	宮津　澄江 （64） ＜平成31年4月＞ 高等学校
											小児ケア方法論
									兼任	講師	伊藤　智里 （43） ＜平成31年4月＞ 博士（学校教育学）
											子どもと言葉 ユニバーサルデザイン論 幼児生活

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成２９年度】

・教育内容の充実を図るため、塩見将志（兼担教員）、後藤大輔（兼担教員）の就任。
・調理演習時の事故防止と、きめ細かな指導のため梶井理恵（兼任教員）の就任。

【平成３０年度】

・鈴木浩正助教、家庭の事情により就任辞退。後任として、平成30年4月より、山脇彩子助教が専任教員で就任。
・教育内容の充実を図るため、小合幾子講師、三宅美智子講師が専任教員で就任。
・教育内容の充実を図るため、細川貴之が兼担教員で就任。
・平成30年4月就任予定だった宮津澄江講師（専任教員）が、家庭の事情により平成31年4月に就任延期。平成30年度は兼任教員のまま科目を担当。
・教員間の科目分担変更のため、進藤貴子（兼担教員）の就任辞退。
・教員間の科目分担変更のため、伊禮功（兼担教員）の就任辞退。
・長期休暇（育休）のため、下田（山本）茜（兼担教員）の就任辞退。
・大学内の教育体制充実のため、谷本泰正（兼任教員）を兼担教員に採用換。
・教育内容の充実を図るため、小田豊（兼任教員）、高木亮（兼任教員）、西山修（兼任教員）の就任。

【令和元年度】

・平成31年4月就任予定だった中原朋生教授（専任教員）が、家庭の事情により就任辞退。後任として山野井敦徳教授が専任教員で就任。
・平成31年4月就任予定だった宮津澄江講師（専任教員）が、家庭の事情により就任辞退。後任として荻野真知子助教が専任教員で就任。
・伊藤智里講師（専任教員）辞任のため、専任教員間で科目分担を変更。後任は平成30年度に届出に追加して就任していた小合幾子ら専任教員で対応。
・根来麻子講師（専任教員）辞任のため、後任として北澤正志講師が専任教員で就任。
・山脇彩子助教（専任教員）辞任のため、後任として岡正寛子講師が専任教員で就任。
・大学内の教育体制変更のため、兼担教員の鈴木幸一郎が兼任教員に採用換。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の福田章一郎、難波哲子、松本真、秦久美子、兼任教員の阿部利則、山田順子、井上貴博、井上千穂の辞任。後任に兼担教員として、高﨑裕子、長崎和則、谷野宏美、橋本美香、八田徳高、山下力、仲井達也、兵藤史武、下田（山本）茜、兼任教員として橋本彩子、小川幸恵、片岡加代子、清水久美子、眞弓真秀、種村暁也、藤本敬子、水野恵子、中原朋生、宮津澄江、伊藤智里が就任。

（注）・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・ 「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・ 不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）
6	3	9	2	20	6	4	9	2	21
(4)	(2)	(5)	(0)	(11)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）
6	4	9	2	21	6	4	9	2	21
[0]	[1]	[0]	[0]	[1]	[0]	[1]	[0]	[0]	[1]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授　65 講師・助教　60 （平成27年4月採用より） 歳	7 名	7 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{20} = 105\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{7}{21} = 33.33\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
1	講師	宮津　澄江	H30.4 H31.4	必修	子どもと健康	②　①	※家庭の事情により平成31年度に就任延期（30） ※家庭の事情により就任辞退（元）
				選択	小児保健Ⅲ	①	
				必修	子ども医療福祉総論	②　①	
				選択	健康相談	①	
				選択	救急処置法Ⅱ	①	
				必修	小児ケア方法論	②　①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）	②　①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）	②　①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）	②　①	
				選択	小児ケア実習Ⅰ	②　①	
				選択	小児ケア実習Ⅱ	①	
				必修	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	①	
2	助教	鈴木　浩正	H30.3	必修	精神保健福祉に関する制度とサービス	①	※H30.3.31家庭の事情により就任辞退（30）
				必修	精神障害者の生活支援システム	①	
				必修	精神保健福祉の理論と相談援助の展開	①	
				必修	精神保健の課題と支援Ⅰ	①	
				選択	精神保健福祉援助演習Ⅰ	①	
				選択	精神保健福祉援助演習Ⅱ	①	
				選択	精神保健福祉学修成果演習	①	
				選択	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ	①	
				選択	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ	①	
				選択	精神保健福祉援助実習指導Ⅲ	①	
				選択	精神保健福祉援助実習	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）	①	
				必修	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	①	
3	教授	中原　朋生	H31.3	必修	子どもと人間関係	②	※H31.3.31家庭の事情により就任辞退（元）
				選択	幼児生活	②	
				必修	子どものケアと発達支援の原理	①	
				必修	カリキュラム編成論	①	
				必修	教育方法の理論と実践	②	
				必修	ソーシャルワーク基礎学修成果演習	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習指導ⅠA	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）	①	
				選択	教職実践演習（幼稚園）	①	
				選択	子ども医療福祉実践研究Ⅰ	②	
				選択	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	②	

合計（D）				後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
3 人	必修	14	科目	必修	12	科目	必修	2	科目	必修	0 科目
	選択	25	科目	選択	22	科目	選択	3	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	39	科目	計	34	科目	計	5	科目	計	0 科目

（注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	伊藤 智里	H31.3	必修	子どもと表現Ⅰ	①	※H31.3.31家庭の事情により辞任（元）
				必修	子どもと言葉	①	
				必修	ユニバーサルデザイン論	②	
				選択	幼児生活	②	
				選択	幼児図画工作	①	
				必修	基礎ゼミナール	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習指導ⅠA	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習指導ⅠB	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習指導Ⅱ（保育所・施設）	①	
				選択	教育実習指導	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（保育所）	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅰ（施設）	①	
				選択	子どものケアと発達支援実習Ⅱ（保育所・施設）	①	
				選択	教育実習	①	
				必修	総合表現指導法Ⅰ	①	
				必修	総合表現指導法Ⅱ	①	
				必修	子ども医療福祉実践研究Ⅱ	②	
2	講師	根来 麻子	H31.3	必修	文章表現	①	※H31.3.31家庭の事情により辞任（元）
				選択	幼児国語	①	
				選択	日本語リテラシー	②	

合計（F）				後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2 人	必修	8	科目	必修	6	科目	必修	2	科目	必修	0 科目
	選択	12	科目	選択	10	科目	選択	2	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	20	科目	計	16	科目	計	4	科目	計	0 科目

（注）・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
5 人	必修	22	科目	必修	18	科目	必修	4	科目	必修	0 科目
	選択	36	科目	選択	32	科目	選択	4	科目	選択	0 科目
	自由	2	科目	自由	0	科目	自由	2	科目	自由	0 科目
	計	60	科目	計	50	科目	計	10	科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{5}{20} = \boxed{25}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
				該 当 な し		

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
○○ 人	必修	#VALUE!	科目	必修	○○	科目	必修	○○	科目	必修	○○ 科目
	選択	#V/	該 当 な し		○○	科目	選択	○○	科目	選択	○○ 科目
	自由	#V/			○○	科目	自由	○○	科目	自由	○○ 科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成31年度へ就任延期した専任教員（宮津澄江）について、家庭の事情が解消されず、やむをえず就任辞退となったが、後任として専任教員（荻野真知子）を配置、平成31年度から就任予定だった専任教員（中原朋生）についても、同様に家庭の事情によるものでやむを得ず就任辞退となり、兼任教員として科目を担当するとともに、後任に専任教員（山野井敦徳）を配置している。また、平成31年3月31日付けで専任教員（伊藤智里・根来麻子）が辞任したが、基礎教育科目担当の根来麻子の後任に、北澤正志を専任教員として配置し、伊藤智里の後任として、平成30年4月1日に、届出に追加して専任教員として就任していた小合幾子ら専任教員を配置し、学生の履修に不利益な影響を及ぼさないよう配慮を行っている。後任者については、届出時に予定していた専任教員と学問分野を一にしているとともに、届出時の専任教員20名を上回る21名を配置しており、学生の履修等への影響は特にないと考えている。学生に対しては時間割・シラバスなどの変更について広く周知するとともに、年度初めの履修ガイダンス及び保護者会等においても、専任教員の配置並びに授業担当者に関する周知を図っている。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
設　置　時 （28年7月）	医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	１．平成29年度入試では、歩留を考慮しつつより厳密に合格者数の調整を行った結果、理学療法専攻、作業療法専攻ともに入学定員超過率は1.13倍となり、定員超過（1.3倍以上）を是正している。（29）	履行済	
設　置　時 （28年7月）	医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科及び川崎医療短期大学医療介護福祉科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．平成29年度入試より３施設（本学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試を開始し、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）において、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。 ２．他校との差別化を図るために、デザイン・情報の価値創造と問題解決ができる人材の養成に特化したカリキュラムに変更し、それを強調した広報活動をよりシステマティックに展開した。 ３．これらにより平成29年度入試における医療福祉デザイン学科及び医療情報学科の入学定員超過率は、それぞれ0.72倍及び0.81倍となり、両学科ともに定員未充足（0.7倍未満）を是正している。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より３施設（本学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試を開始し、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）において、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。 ２．他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成した。 ３．本学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業を実施した。また、アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学医療介護福祉科に期待すること等の調査・情報収集を行った。 ４．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信に努めた。（29）	履行中	【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉デザイン学科が0.52倍、医療情報学科が0.65倍であり、両学科ともに依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の４つの計画を実行する。 １）３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員の見直しを行う。 ２）医療福祉デザイン学科では将来の職業に繋がる研究会を立ち上げており、これを大きく広報する役割も担った講演会を開催する。 ３）当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等で情報提供することに尽力する。 ４）Webや冊子の両面から広告掲載を充実させ、高校生が多方面から情報を得ることができるように広報活動を充実させる。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しを検討する。 ２．公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映する。 ３．就職先での本学卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できる、より有用な人材を育成する。 ４．学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信を行う。（29）
設　置　時 （28年7月）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。（子ども医療福祉学科）	改善意見	定年年齢延長の教員の後任については、職階・学位・専門職種等に配慮しながら、原則として本学定年規定内の教員をもって採用していくこと等により順次解消している。また、今後の採用は、原則として若手教員とし、教員組織全体の若返りを図り、課題を解決していく計画である。（29）	履行済	

設置計画履行状況調査時（30年２月）	医療技術学部リハビリテーション学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	１．平成30年度入試においても、平成29年度入試と同様に合格者数の調整を厳密に行った結果、理学療法専攻及び作業療法専攻の入学定員超過率はそれぞれ1.13倍及び1.10倍と、定員管理が適正に行われている。それにより、過去４年間の平均入学定員超過率についても、理学療法専攻が1.22倍、作業療法専攻が1.23倍となり、定員超過（1.3倍以上）を是正している。（30）	履行済	
設置計画履行状況調査時（30年２月）	同一設置者が設置する既設学部等（医療福祉学部医療福祉学科,医療福祉マネジメント学部医療秘書学科,医療福祉デザイン学科,医療情報学科,川崎医療短期大学医療介護福祉科）の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから,学生確保に努めるとともに,入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．平成29年度３施設合同入試の結果を踏まえ、平成30年度入試では入試区分別募集人員の見直しを行った。 ２．Webと冊子の両面において、学科情報の広告掲載を充実させた。 ３．医療福祉学科では、社会福祉関連科目の必修化等、専門職養成を強化した。 ４．医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの育成に対応したカリキュラムに変更したことを強調した広報活動を展開した。 ４．医療福祉デザイン学科では、ホスピタルデザイン研究会の講演会・研究報告会を開催するとともに、当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等により積極的に情報提供した。 ５．医療情報学科では、医療情報技師や診療情報管理士として活動している卒業生等の具体例を、高校生、保護者、進路指導教員に周知する機会を積極的に設けた。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より開始した３施設（川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試において、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）で、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大。 ２．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しの検討。 ３．他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成。 ４．川崎医療短期大学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業の実施。アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学科に期待すること等の調査・情報収集。 ５．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信。（30）	履行中	【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉学科が0.58倍、医療秘書学科が0.60倍、医療福祉デザイン学科が0.51倍、医療情報学科が0.65倍であり、何れの学科も依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の６つの計画を実行する。 １）入学試験の内容を再検討する。 ２）従来の広報活動を強化するとともに、体験授業等を実施し、各学科に対する認知度の向上を図る。 ３）医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策を強化する。 ４）医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの医療現場への普及と認知度の向上を図る。 ５）医療福祉デザイン学科では、出前講義や模擬授業の機会及び対象校を増やす。 ６）医療情報学科では、医学・医療とICTの知識と技術を有した人材の養成が求められていることを周知する。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映すること。 ２．就職先での本学科卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できるより有用な人材を育成する。 ３．学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信。 ４．医療に強い本学科の特長を周知させるための広報活動の強化（30）

			【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．Webと冊子の両面において、学科情報の広告掲載を充実させた。 ２．医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策等、専門職養成を強化した。 ３．医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの育成に対応したカリキュラムであることを強調した広報活動を展開した。 ４．医療福祉デザイン学科では、ホスピタルデザイン研究会の講演会・研究報告会を開催するとともに、当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等により積極的に情報提供した。 ５．医療情報学科では、医療情報技師や診療情報管理士として活動している卒業生等の具体例を、高校生、保護者、進路指導教員に周知する機会を積極的に設けた。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より開始した３施設（川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試において、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）で、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大。 ２．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員、高校訪問等の見直しの検討。 ３．他校との差別化を図るために医療系・リハビリテーション系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成。 ４．川崎医療短期大学医療介護福祉科をより理解してもらうために、中高校生や介護職員などを対象とした公開セミナーを実施。アンケートを通じて、中高校生や介護職員が本学科に期待すること等の調査・情報収集。 ５．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信。 （元）		【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉学科が0.56倍、医療秘書学科が0.66倍、医療福祉デザイン学科が0.54倍、医療情報学科が0.61倍であり、何れの学科も依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の６つの計画を実行する。 １）入学試験の内容を再検討する。 ２）従来の広報活動を強化するとともに、体験授業等を実施し、各学科に対する認知度の向上を図る。 ３）医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策を更に強化する。 ４）医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの医療現場への普及と認知度の向上を図る。 ５）医療福祉デザイン学科では、出前講義や模擬授業の機会及び対象校を増やす。 ６）医療情報学科では、医学・医療とICTの知識と技術を有した人材の養成が求められていることを周知する。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．高校生が参加するイベントであるオープンキャンパスの内容の充実を図り、公開セミナーや体験イベントなどの回数を増やすことにより、介護の仕事を理解してもらい、魅力を感じてもらう機会を増やす。 ２．公開セミナー等のアンケートを通じて得られた情報を分析し、受験者ニーズを掴み、入試の実施やＰＲ活動を行う。また、社会的なニーズの高まりの中で本学科の３つのポリシーを明確にしつつ、本学科卒業生ならではの役割を示す。 ３．高校訪問や高校ガイダンスに専門職員を派遣し、医療に強い本学科の特長となぜ医療に強い介護福祉士が必要であるかについて周知させるための広報活動を展開する。 ４．学生や保護者に十分な理解が得られるよう将来像を明確に示すとともに、本学科の特長を前面に出したキャリア教育を行い、それにより得られた成果（国家試験合格、就職先での活躍等）について外部へ効果的な発信を行う。 （元）

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。） と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜医療福祉学部　子ども医療福祉学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

ａ 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）
（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
⑴ ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
⑵ ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
⑶ ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
⑷ その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
⑴ 各学部長
⑵ 各研究科長
⑶ 教務部長
⑷ 学生部長
⑸ 事務部長
⑹ その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。
（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。
（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。
（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

ｂ 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度　年間7回開催（委員は教員6名、事務職員3名で構成）
平成31年度　年間7回開催（委員は教員8名、事務職員3名で構成）

ｃ 委員会の審議事項等

ＦＤ・ＳＤ研修会について
教員相互の授業参観について
卒業生へのアンケートについて　等

② 実施状況

a 実施内容

・ ＦＤ・ＳＤ研修会
・ 教員相互の授業参観
・ 卒業生へのアンケート
・ 授業研究カンファレンス

b 実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・教員相互の授業参観

教員相互の授業参観の実態について学期末ごとに全学科の調査を行っている。

また、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業について公開授業を行っている。

・卒業生へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを1月から卒業式までの間に実施している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年２、３回開催している。

平成29年9月「教員の力量を育成するポートフォリオ評価のあり方」（参加者 210名）

平成30年3月「教育ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（教育を変える国際基準ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ手法）」（参加者 237名）

平成30年9月「私立大学等経常費補助金の概要について」「アセスメントポリシーについて」（参加者 321名）

平成30年12月「シラバスの作り方について」（参加者 301名）

平成31年3月「ディープアクティブラーニングとその評価」（参加者 268名）

・教員相互の授業参観

平成18年度から学期ごとに毎年調査を実施しており、平成30年度は春学期に延べ196件、秋学期は延べ301件の授業が参観されている。

・卒業生へのアンケート

平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイトで公開している。

・授業研究カンファレンス

平成29年度（参加者 73名）

「講義実習レポートに対する提出評価と自動採点のシステム」
「短大でのe-ポートフォリオの利用状況とGoogleドライブのコミュニケーションツールとしての利用」
「医療秘書教育におけるeラーニングの利用 - 学部教育から社会人教育まで - 」
「クリッカーを用いた学生参加型講義への試み」
「必修科目『文章表現』における主体性を引き出す試み」
「生体機能代行装置学実習における透析実習の現状と今後の題」

平成30年度 第1回 （参加者 76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」
「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」
「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する一系統的実習教育の実現に向けた取り組み一」

平成30年度 第2回 （参加者 70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」
「教育管理システムMoodle活用の試み」
「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、「私立大学等経常費補助金の概要」についての講演を行い、文部科学省が求める大学の経営方針に沿った補助金制度について学んだ。「アセスメントポリシー」についての研修会では、アセスメントポリシーにより学生の学修評価を可視化し、３つのポリシー（アドミッションポリシー・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー）の妥当性の共通認識を図った。

また、「学生の主体的な学修」を目指したより良いシラバスの作成を目標とし、「シラバスの作り方について」の研修会も行った。

他にも、「ディープ・アクティブラーニングとその評価」の研修会を行い、パフォーマンスそのものやパフォーマンスを可能にしているコンピテンス（能力）に焦点を当て、可視化する重要性について学んだ。

これからも定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質の変化に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。

教員相互の授業参観についても、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業のねらいなどを紹介するとともに、該当授業を公開することで教授力の向上に役立てている。

卒業生アンケートや授業評価アンケートなどは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつより実践的な教育改善計画を策定していく。

また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a　実施の有無及び実施時期

学部について、春学期末（７月中旬）に「演習・実習科目」、秋学期末（１月中旬）に「講義科目」を対象として、マークシートによるアンケート調査を実施している。

なお、次年度は「講義科目」と「演習・実習科目」の開講期（春学期・秋学期）を入れ替えて実施する。

また、大学院については年度末（１月中旬）に各専攻へ、カリキュラム全体を通しての、アンケート調査を実施している。

b　教員や学生への公開状況，方法等

科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。

また、全体結果と分析については報告書として作成し学内図書館で閲覧可能とし、Web上でも公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

①　体制

a　委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

b　委員会の開催状況（回数や開催日など）

c　委員会の審議事項等

d　その他

②　審議状況

a　審議した内容

b　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

子ども医療福祉学科は、精神保健福祉に関する知識と医療・健康といった知識をベースに、ソーシャルワークとケアワークの双方の技能を身につけ、病児・病後児、発達障害児を含むあらゆる子どもの支援ができる人材を養成する目的で設置された。
２年次は、子ども医療福祉総論において、子どもに対する医療福祉学的視点からのアプローチについて俯瞰し、病児・病後児、発達障害児等に対する支援についても学修した。また、精神医学、精神保健の課題と支援、精神保健福祉相談援助の基盤等の、精神保健福祉に関する学修を進めるとともに、子どもの支援における専門的な学修を進め、児童福祉施設等の子どもの支援現場における実習を計画通り実施した。子ども家庭福祉士（仮称）の新資格が検討されている社会情勢もあり、ソーシャルワークとケアワークの双方の技能を身につけ、現場において子どもの支援をしたいという希望をもつ学生が育ちつつある。
３年次は、子ども医療福祉システムの分野に関する専門科目の学修が増加するとともに、精神保健福祉に関するより実践的な学修を進める。また病児・病後児の支援に関する実習及びこども園・幼稚園等における実習が実施される。４年次の発達障害児の支援に関する実習及び精神保健福祉援助実習に段階的に繋げ、あらゆる子どもと保護者の支援ができる人材を育成していく。

② 自己点検・評価報告書

ａ 公表（予定）時期

・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成18年3月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）公表
平成31年3月（平成28・29・30年度分）

ｂ 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、平成26年10月大学基準に適合していると認定された(認定期間は平成34年3月31日まで)。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

ａ ホームページへの公表予定の有無 （ (有) ・ 無 ）

ｂ 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月31日 ）

ｂ 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年3月）		
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年1月）		
学 部 長	（ オノデラ　ショウ ） 小野寺　昇 （平成27年4月）	（ ミヤカワ　タケシ ） 宮川　健 （平成31年4月）	人事異動のため（元）
学科長等	（ トオヤマ　カオル ） 通山　薫 （平成29年4月）		

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療技術学部 臨床検査学科 学士（臨床検査学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	60人	年次 — 人	240人	

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 （ － ） [－]	人	人 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	人 60 （ － ） [－]	人	1.18倍	-倍	
志願者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	555 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	473 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	515 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
受験者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	546 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	465 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	509 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
合格者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	114 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	134 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	115 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
B 入学者数	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	69 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	73 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]	71 （ － ） [－]	－ （ － ） [－]			
入学定員超過率 B／A	－		－		1.15		1.21		1.18				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	69 [－] (－)	－ [－] (－)	73 [－] (－)	－ [－] (－)	71 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	67 [－] (－)	－ [－] (－)	72 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	66 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		69 [－] (－)		140 [－] (－)		209 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（ ）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分 / 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成27年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	69 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	2 人	0 人	他大学へ進学(1人)、進路変更(1人)
平成30年度	140 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	1 人	0 人	家庭の事情(1人)
			平成30年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和元年度	209 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合　計		4 人		4 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) / 平成27年度の在学者数(b) = － / － = －　%

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) = － / － = －　%

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) = 2 / 69 = 2.89　%

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) = 2 / 140 = 1.42　%

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) = 0 / 209 = 0　%

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜医療技術学部 臨床検査学科＞

(1)―① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	専任教員等の配置 准教授	専任教員等の配置 講師	専任教員等の配置 助教	専任教員等の配置 助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	日本語リテラシー	**2前**		**2**							**1**
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	**1前後**		**2**							**1**
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	**1前後**		**2**							**1**
	英語インテンシブリーディング	**1前後**		**2**							**1**
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	初修外国語	**1前後**		**2**							**1**
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	**1後**		**2**							**1**
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(38科目)	－	16	55	0	0	0	0	0	0	42
専門科目	人体の構造と機能	1前	1			1					
	解剖組織学	1後	1			1		1			
	解剖組織学実習	1後	1			1	1	1			1
	基礎生理学	1前	1			1					
	感染免疫学	1後	1			2					
	生化学	1後	1					1			
	生化学実習	1後	1			1		2			1
	分子生物学	3後	1			1					1
	基礎科学演習	1前	1					2	1		
	基礎科学実験	1前	1					1	1		
	医学概論	1後	1			2					1
	医学英語	2後	1								1
	病理学総論	1後	1			1					1
	病理学各論	2前	1			1					1
	医学検査学入門	1前	1			1	1	1			
	公衆衛生学	3前	1			2					1
	公衆衛生学実習	3前後	1			1					4
	医療関係法規	4前	1			1					
	チーム医療概論	4前	2			1		1			13
	医療統計学	1後	1			1					
	情報科学概論	1後	1			1					
	情報科学演習	1後	1			1					
	医療工学演習	1後	1			1		2			
	臨床病態学総論	2前	1			2					2
	臨床病態学各論	2後	1			2					2
	臨床病態学演習Ⅰ	4後	2			7	1	3	1		10
	臨床病態学演習Ⅱ	4後	2			5	1	3			5
	血液検査学	2前	1			1		1			2
	臨床血液学	3前	1			1					1
	血液検査学実習	2前	2			1		1			3
	血液検査学臨床実習	3前後	2					1			1
	病理検査学	2後	1			1	1	1			
	病理検査学実習	2後	2			1	1	1			1
	病理検査学臨床実習	3前後	2					1			1
	細胞検査学	2後	1			1	1				
	細胞検査学実習	4後		1		1	1				1
	一般検査学	2前	1			1			1		
	一般検査学実習	2前	2			1			1		2
	一般検査学臨床実習	3前後	2			1			1		1
	臨床化学Ⅰ	2前	1			2					
	臨床化学実習	2前	2			2			1		2
	臨床化学臨床実習	3前後	2			1			1		1
	臨床化学Ⅱ	4前	1			2					
	免疫・輸血検査学	2後	1			1		1			2
	免疫・輸血検査学実習	2後	2			1		1			2
	免疫・輸血検査学臨床実習	3前後	2			1		1			1
	医動物学演習	2後	1			1					2

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44科目)		16	**61**	0	0	0	0	0	0	**45**
専門科目	人体の構造と機能	1前	1			1					
	解剖組織学	1後	1			1					
	解剖組織学実習	1後	1			1	**2**				**2**
	基礎生理学	1前	1			1					
	感染免疫学	1後	1			2					**1**
	生化学	1後	1					1			
	生化学実習	1後	1			1		**2**	**1**		
	分子生物学	3後	1				**1**				
	基礎科学演習	1前	1			**3**	**3**	**4**	**3**		
	基礎科学実験	1前	1			**1**	**1**	1	1		
	医学概論	1後	1			2					1
	医学英語	2後	1								1
	病理学総論	1後	1			1					1
	病理学各論	2前	1			1					1
	医学検査学入門	1前	1			1	1	**1**			
	公衆衛生学	3前	1			2					1
	公衆衛生学実習	3前後	1			1					**1**
	医療関係法規	4前	1			1					
	チーム医療概論	4前	2			1					**14**
	医療統計学	1後	1			1					
	情報科学概論	1後	1			1					
	情報科学演習	1後	1			1					**1**
	医療工学演習	1後	1			1		**1**			**1**
	臨床病態学総論	2前	1			2					2
	臨床病態学各論	2後	1			2					2
	臨床病態学演習Ⅰ	4後	2			7	**2**	**4**	1		**7**
	臨床病態学演習Ⅱ	4後	2			5	1	**4**			**3**
	血液検査学	2前	1			1		**2**			**1**
	臨床血液学	3前	1			1					**3**
	血液検査学実習	2前	2			1		**2**			**4**
	血液検査学臨床実習	3前後	2					**2**			
	病理検査学	2後	1			1	**2**				
	病理検査学実習	2後	2			**2**	**2**	**1**			1
	病理検査学臨床実習	3前後	2				**1**				
	細胞検査学	2後	1			1	**2**				
	細胞検査学実習	4後		1		1	1				1
	一般検査学	2前	1			1			1		
	一般検査学実習	2前	2			1			1		2
	一般検査学臨床実習	3前後	2						1		
	臨床化学Ⅰ	2前	1			2		**1**			
	臨床化学実習	2前	2			2	**1**	**1**	**1**		**2**
	臨床化学臨床実習	3前後	2			1	**1**				
	臨床化学Ⅱ	4前	1			2					
	免疫・輸血検査学	2後	1			1		**2**			**1**
	免疫・輸血検査学実習	2後	2			1		**2**	**1**		**1**
	免疫・輸血検査学臨床実習	3前後	2			1		1			
	医動物学演習	2後	1			1			**1**		**3**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床微生物学	2後	1			2					1
	臨床微生物学実習	2後	2			1					2
	臨床微生物学臨床実習	3前後	2			1					1
	循環・呼吸機能検査学	2前	1					1			2
	循環・呼吸機能検査学実習	2前	1					1			2
	循環・呼吸機能検査学臨床実習	3前後	2					1			1
	神経生理検査学	2後	1					1			1
	超音波検査学	2後	1					1			1
	神経生理・超音波検査学実習	2後	1					1			1
	超音波検査学臨床実習	3前後	1					1			2
	神経生理検査学臨床実習	3前後	1					1			1
	内視鏡・超音波検査学実習	4後		1							1
	検査機器総論	2後	1			1		2			
	臨床検査基礎演習	1後	1			3		2			
	臨床実習導入演習	3前	2			5	1	3	1		8
	検査総合管理学Ⅰ	3前	1			1					2
	検査総合管理学Ⅱ	4前	1			1		1			4
	検査総合管理学実習	3前後	1			1		1			1
	医療安全管理学	3後	1			1					4
	救命救急医学	3後		2							1
	検査総合臨地実習	3前後	7								2
	卒業研究	4前	6			7	1	3	1		
	卒業課題研究	4後		4		7	1	3	1		
	医学検査学詳説	4後		4		4	1	3	1		1
	小計(71科目)	－	94	12	0	94	12	53	12	0	106
合計(109科目)		－	110	67	0	94	12	53	12	0	148

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修24単位、専門分野から必修70単位を含む74単位以上。専門科目の卒業要件は必修94単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	臨床微生物学	2後	1			2					2
	臨床微生物学実習	2後	2			2			1		3
	臨床微生物学臨床実習	3前後	2			1					
	循環・呼吸機能検査学	2前	1					1	1		2
	循環・呼吸機能検査学実習	2前	1					1	1		2
	循環・呼吸機能検査学臨床実習	3前後	2					1	1		
	神経生理検査学	2後	1					1			1
	超音波検査学	2後	1					1	1		2
	神経生理・超音波検査学実習	2後	1					1	1		2
	超音波検査学臨床実習	3前後	1					1			
	神経生理検査学臨床実習	3前後	1					1			
	内視鏡・超音波検査学実習	4後		1							1
	検査機器総論	2後	1			1		1	2		
	臨床検査基礎演習	1後	1			5	2	4	3		1
	臨床実習導入演習	3前	2			5	3	5	3		15
	検査総合管理学Ⅰ	3前	1			1	1				1
	検査総合管理学Ⅱ	4前	1			1		1			4
	検査総合管理学実習	3前後	1			1	1	1			
	医療安全管理学	3後	1				1				3
	救命救急医学	3後		2							1
	検査総合臨地実習	3前後	7			1					
	卒業研究	4前	6			7	1	2	1		
	卒業課題研究	4後		4		7	1	2	1		
	医学検査学詳説	4後		4		4	1	2	1		1
	小計(71科目)	－	94	12	0	100	32	58	29	0	99
合計(115科目)		－	110	73	0	100	32	58	29	0	144

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修24単位、専門分野から必修70単位を含む74単位以上。専門科目の卒業要件は必修94単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(38科目)	－	16	55	0	0	0	0	0	0	42

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	日本語リテラシー	**2前**		**2**							**1**
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	**1前後**		**2**							**1**
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話(海外研修)	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	**1前後**		**2**							**1**
	英語インテンシブリーディング	**1前後**		**2**							**1**
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技(スポーツ系)	1前後		1							1
	健康体育実技(フィットネス系)	1前後		1							1
	健康体育実技(レクリエーション系)	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	初修外国語	**1前後**		**2**							**1**
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解(海外研修)	**1後**		**2**							**1**
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44科目)	－	16	**67**	0	0	0	0	0	0	**48**

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	人体の構造と機能	1前	1			1					
	解剖組織学	1後	1			1					
	解剖組織学実習	1後	1			1	1				1
	基礎生理学	1前	1			1					
	感染免疫学	1後	1			2					
	生化学	1後	1					1			
	生化学実習	1後	1			1		1			2
	分子生物学	3後	1			1					1
	基礎科学演習	1前	1			3	1	1	1		2
	基礎科学実験	1前	1			1		1	1		
	医学概論	1後	1			2					1
	医学英語	2後	1								1
	病理学総論	1後	1			1					1
	病理学各論	2前	1			1					1
	医学検査学入門	1前	1			1	1				1
	公衆衛生学	3前	1			2					1
	公衆衛生学実習	3前後	1			1					4
	医療関係法規	4前	1			1					
	チーム医療概論	4前	2			1		1			13
	医療統計学	1後	1			1					
	情報科学概論	1後	1			1					
	情報科学演習	1後	1			1					
	医療工学演習	1後	1			1		2			
	臨床病態学総論	2前	1			2					2
	臨床病態学各論	2後	1			2					2
	臨床病態学演習Ⅰ	4後	2			7	1	2	1		10
	臨床病態学演習Ⅱ	4後	2			5	1	2			5
	血液検査学	2前	1			1					2
	臨床血液学	3前	1			1					1
	血液検査学実習	2前	2			1					3
	血液検査学臨床実習	3前後	2								1
	病理検査学	2後	1			1	1				
	病理検査学実習	2後	2			1	1				1
	病理検査学臨床実習	3前後	2								1
	細胞検査学	2後	1			1	1				
	細胞検査学実習	4後		1		1	1				1
	一般検査学	2前	1			1			1		
	一般検査学実習	2前	2			1			1		2
	一般検査学臨床実習	3前後	2			1			1		1
	臨床化学Ⅰ	2前	1			2					
	臨床化学実習	2前	2			2			1		2
	臨床化学臨床実習	3前後	2			1			1		1
	臨床化学Ⅱ	4前	1			2					
	免疫・輸血検査学	2後	1			1		1			2
	免疫・輸血検査学実習	2後	2			1		1			2
	免疫・輸血検査学臨床実習	3前後	2			1		1			1
	医動物学演習	2後	1			1					2
	臨床微生物学	2後	1			2					1
	臨床微生物学実習	2後	2			1					2
	臨床微生物学臨床実習	3前後	2			1					1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	人体の構造と機能	1前	1			1					
	解剖組織学	1後	1			1					
	解剖組織学実習	1後	1			1	1	1			2
	基礎生理学	1前	1			1					
	感染免疫学	1後	1			2					1
	生化学	1後	1					1			
	生化学実習	1後	1			1		1	2		1
	分子生物学	3後	1			1					1
	基礎科学演習	1前	1			3	1	3	3		1
	基礎科学実験	1前	1			1		1	1		
	医学概論	1後	1			2					1
	医学英語	2後	1								1
	病理学総論	1後	1			1					1
	病理学各論	2前	1			1					1
	医学検査学入門	1前	1			1	1		1		
	公衆衛生学	3前	1			2					1
	公衆衛生学実習	3前後	1			1					4
	医療関係法規	4前	1			1					
	チーム医療概論	4前	2			1		1			13
	医療統計学	1後	1			1					
	情報科学概論	1後	1			1					
	情報科学演習	1後	1			1					
	医療工学演習	1後	1			1		2			
	臨床病態学総論	2前	1			2					2
	臨床病態学各論	2後	1			2					2
	臨床病態学演習Ⅰ	4後	2			7	1	3	1		9
	臨床病態学演習Ⅱ	4後	2			5	1	3			4
	血液検査学	2前	1			1		1	1		2
	臨床血液学	3前	1			1					1
	血液検査学実習	2前	2			1		1	1		4
	血液検査学臨床実習	3前後	2					1			
	病理検査学	2後	1			1	1	1			
	病理検査学実習	2後	2			1	1	1	1		1
	病理検査学臨床実習	3前後	2								1
	細胞検査学	2後	1			1	1	1			
	細胞検査学実習	4後		1		1	1				1
	一般検査学	2前	1			1			1		
	一般検査学実習	2前	2			1			1		2
	一般検査学臨床実習	3前後	2			1			1		1
	臨床化学Ⅰ	2前	1			2					
	臨床化学実習	2前	2			2		1			3
	臨床化学臨床実習	3前後	2			1			1		1
	臨床化学Ⅱ	4前	1			2					
	免疫・輸血検査学	2後	1			1		1			2
	免疫・輸血検査学実習	2後	2			1		1	1		2
	免疫・輸血検査学臨床実習	3前後	2			1		1			1
	医動物学演習	2後	1			1					3
	臨床微生物学	2後	1			2					2
	臨床微生物学実習	2後	2			2			1		3
	臨床微生物学臨床実習	3前後	2			1					1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	循環・呼吸機能検査学	2前	1					1			2
	循環・呼吸機能検査学実習	2前	1					1			2
	循環・呼吸機能検査学臨床実習	3前後	2					1			1
	神経生理検査学	2後	1					1			1
	超音波検査学	2後	1					1			1
	神経生理・超音波検査学実習	2後	1					1			1
	超音波検査学臨床実習	3前後	1					1			2
	神経生理検査学臨床実習	3前後	1					1			1
	内視鏡・超音波検査学実習	4後		1							1
	検査機器総論	2後	1			1		1			
	臨床検査基礎演習	1後	1			4		1			1
	臨床実習導入演習	3前	2			5	1	2	1		8
	検査総合管理学Ⅰ	3前	1			1					2
	検査総合管理学Ⅱ	4前	1			1		1			4
	検査総合管理学実習	3前後	1			1		1			1
	医療安全管理学	3後	1			1					4
	救命救急医学	3後		2							1
	検査総合臨地実習	3前後	7								2
	卒業研究	4前	6			7	1	2	1		
	卒業課題研究	4後		4		7	1	3	1		
	医学検査学詳説	4後		4		4	1	3	1		1
	小計(71科目)	－	94	12	0	99	13	36	12	0	111
合計(109科目)		－	110	67	0	99	13	36	12	0	153

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修24単位、専門分野から必修70単位を含む74単位以上。専門科目の卒業要件は必修94単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	循環・呼吸機能検査学	2前	1					1			2
	循環・呼吸機能検査学実習	2前	1					1			3
	循環・呼吸機能検査学臨床実習	3前後	2					1			1
	神経生理検査学	2後	1					1			1
	超音波検査学	2後	1					1			3
	神経生理・超音波検査学実習	2後	1					1			3
	超音波検査学臨床実習	3前後	1					1			2
	神経生理検査学臨床実習	3前後	1					1			1
	内視鏡・超音波検査学実習	4後		1							1
	検査機器総論	2後	1			1		1	1		1
	臨床検査基礎演習	1後	1			5	1	4	2		2
	臨床実習導入演習	3前	2			5	1	3	1		7
	検査総合管理学Ⅰ	3前	1			1					2
	検査総合管理学Ⅱ	4前	1			1		1			4
	検査総合管理学実習	3前後	1			1		1			1
	医療安全管理学	3後	1			1					4
	救命救急医学	3後		2							1
	検査総合臨地実習	3前後	7								2
	卒業研究	4前	6			7	1	2	1		
	卒業課題研究	4後		4		7	1	2	1		
	医学検査学詳説	4後		4		4	1	2	1		1
	小計(71科目)	－	94	12	0	101	14	50	24	0	118
合計(115科目)		－	110	79	0	101	14	50	24	0	166

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修24単位、専門分野から必修70単位を含む74単位以上。専門科目の卒業要件は必修94単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修110単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

（1）一②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「解剖組織学」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「解剖組織学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・兼1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「生化学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師2・兼1」から「教授1・講師1・兼2」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職及び実習演習内容充実のため、「基礎科学演習」の専任教員等の配置を「講師2・助教1」から「教授3・准教授1・講師1・助教1・兼2」に変更。
・実習内容充実のため、「基礎科学実験」の専任教員等の配置を「講師1・助教1」から「教授1・講師1・助教1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「医学検査学入門」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「臨床病態学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授1・講師3・助教1・兼10」から「教授7・准教授1・講師2・助教1・兼10」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「臨床病態学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師3・兼5」から「教授5・准教授1・講師2・兼5」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「血液検査学」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼2」から「教授1・兼2」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「血液検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼3」から「教授1・兼3」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「血液検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「兼1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「病理検査学」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1・准教授1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「病理検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・兼1」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「病理検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「兼1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「検査機器総論」の専任教員等の配置を「教授1・講師2」から「教授1・講師1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「臨床検査基礎演習」の専任教員等の配置を「教授3・講師2」から「教授4・講師1・兼1」に変更。
・迎由利子講師（専任教員）退職に伴い、「臨床実習導入演習」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師3・助教1・兼8」から「教授5・准教授1・講師2・助教1・兼8」に変更。

【平成30年度】

・基礎教育科目変更のため、「日本語リテラシー」、「和の伝統文化」、「実践英会話」、「英語インテンシブリーディング」、「初修外国語」、「異文化理解（海外研修）」を開設した。
・実習演習内容充実のため、「解剖組織学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼1」から「教授1・准教授1・講師1・兼2」に変更。
・教育内容充実のため、「感染免疫学」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2・兼1」に変更。
・実習演習内容充実のため、「生化学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼2」から「教授1・講師1・助教2・兼1」に変更。
・実習演習内容充実のため、「基礎科学演習」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師1・助教1・兼2」から「教授3・准教授1・講師3・助教3・兼1」に変更。
・実習演習内容充実のため、「医学検査学入門」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼1」から「教授1・准教授1・助教1」に変更。
・実習演習内容充実のため、「臨床病態学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授1・講師2・助教1・兼10」から「教授7・准教授1・講師3、助教1、兼9」に変更。
・実習演習内容充実のため、「臨床病態学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師2・兼5」から「教授5・准教授1・講師3・兼4」に変更。
・教育内容充実のため、「血液検査学」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「教授1・講師1・助教1・兼2」に変更。
・実習演習内容充実のため、「血液検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・兼3」から「教授1・講師1・助教1・兼4」に変更。
・実習演習内容充実のため、「血液検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「兼1」から「講師1」に変更。
・教育内容充実のため、「病理検査学」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
・実習演習内容充実のため、「病理検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・兼1」から「教授1・准教授1・講師1・助教1・兼1」に変更。

・教育内容充実のため、「細胞検査学」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
・実習演習内容充実のため、「臨床化学実習」の専任教員等の配置を「教授2・助教1・兼2」から「教授2・講師1・兼3」に変更。
・実習演習内容充実のため、「免疫・輸血検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼2」から「教授1・講師1・助教1・兼2」に変更。
・実習演習内容充実のため、「医動物学演習」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「教授1・兼3」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床微生物学」の専任教員等の配置を「教授2・兼1」から「教授2・兼2」に変更。
・実習演習内容充実のため、「臨床微生物学実習」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「教授2・助教1・兼3」に変更。
・実習演習内容充実のため、「循環・呼吸機能検査学実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼2」から「講師1・兼3」に変更。
・教育内容充実のため、「超音波検査学」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「講師1・兼3」に変更。
・実習演習内容充実のため、「神経生理・超音波検査学実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「講師1・兼3」に変更。
・教育内容充実のため、「検査機器総論」の専任教員等の配置を「教授1・講師1」から「教授1・講師1・助教1・兼1」に変更。

・実習演習内容充実のため、「臨床検査基礎演習」の専任教員等の配置を「教授4・講師1・兼1」から「教授5・准教授1・講師4・助教2・兼2」に変更。
・実習演習内容充実のため、「臨床実習導入演習」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師2・助教1・兼8」から「教授5・准教授1・講師3・助教1・兼7」に変更。

【令和元年度】

・昇任のため、「解剖組織学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・兼2」から「教授1・准教授2・兼2」に変更。
・科目の分担変更のため、「生化学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・助教2・兼1」から「教授1・講師2・助教1」に変更。
・科目の分担変更のため、「分子生物学」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「准教授1」に変更。
・昇任、教育内容充実のため、「基礎科学演習」の専任教員等の配置を「教授3・准教授1・講師3・助教3・兼1」から「教授3・准教授3・講師4・助教3」に変更。
・教育内容充実のため、「基礎科学実験」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・助教1」から「教授1・准教授1・講師1・助教1」に変更。
・昇任のため、「医学検査学入門」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・助教1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
・科目の分担変更のため、「公衆衛生実習」の専任教員等の配置を「教授1・兼4」から「教授1・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「チーム医療概論」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼13」から「教授1・兼14」に変更。
・教育内容充実のため、「情報科学演習」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1・兼1」に変更。
・科目の分担変更のため、「医療工学演習」の専任教員等の配置を「教授1・講師2」から「教授1・講師1・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床病態学演習Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授7・准教授1・講師3・助教1・兼9」から「教授7・准教授2・講師4・助教1・兼7」に変更。
・配置変更のため、「臨床病態学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師3・兼4」から「教授5・准教授1・講師4・兼3」に変更。
・科目の分担変更ため、「血液検査学」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・助教1・兼2」から「教授1・講師2・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床血液学」の専任教員等の配置を「教授1・兼1」から「教授1・兼3」に変更。
・昇任のため、「血液検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・助教1・兼4」から「教授1・講師2・兼4」に変更。
・教育内容充実のため、「血液検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「講師1」から「講師2」に変更。
・昇任のため、「病理検査学」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1・准教授2」に変更。
・昇任のため、「病理検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1・助教1・兼1」から「教授2・准教授2・講師1・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「病理検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「兼1」から「准教授1」に変更。
・昇任のため、「細胞検査学」の専任教員等の配置を「教授1・准教授1・講師1」から「教授1・准教授2」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床化学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授2」から「教授2・講師1」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床化学実習」の専任教員等の配置を「教授2・講師1・兼3」から「教授2・准教授1・講師1・助教1・兼2」に変更。
・科目の分担変更のため、「臨床化学臨床実習」の専任教員等の配置を「教授1・助教1・兼1」から「教授1・准教授1」に変更。
・配置変更のため、「免疫・輸血検査学」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼2」から「教授1・講師2・兼1」に変更。
・科目の分担変更のため、「免疫・輸血検査学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・助教1・兼2」から「教授1・講師2・助教1・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「医動物学演習」の専任教員等の配置を「教授1・兼3」から「教授1・助教1・兼3」に変更。
・教育内容充実のため、「循環・呼吸機能検査学」の専任教員等の配置を「講師1・兼2」から「講師1・助教1・兼2」に変更。
・配置変更のため、「循環・呼吸機能検査学実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼3」から「講師1・助教1・兼2」に変更。
・配置変更のため、「循環・呼吸機能検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「講師1・助教1」に変更。
・配置変更のため、「超音波検査学」の専任教員等の配置を「講師1・兼3」から「講師1・助教1・兼2」に変更。
・配置変更のため、「神経生理・超音波検査学実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼3」から「講師1・助教1・兼2」に変更。
・科目の分担変更のため、「超音波検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼2」から「講師1」に変更。
・科目の分担変更のため、「神経生理検査学臨床実習」の専任教員等の配置を「講師1・兼1」から「講師1」に変更。
・教育内容充実のため、「検査機器総論」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・助教1」から「教授1・講師1・助教2」に変更。
・配置変更のため、「臨床検査基礎演習」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師4・助教2・兼2」から「教授5・准教授2・講師4・助教3・兼1」に変更。
・教育内容充実のため、「臨床実習導入演習」の専任教員等の配置を「教授5・准教授1・講師3・助教1・兼7」から「教授5・准教授3・講師5・助教3・兼15」に変更。
・配置変更のため、「検査総合管理学Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授1・兼2」から「教授1・准教授1・兼1」に変更。
・配置変更のため、「検査総合管理学実習」の専任教員等の配置を「教授1・講師1・兼1」から「教授1・准教授1・講師1」に変更。
・科目の分担変更のため、「医療安全管理学」の専任教員等の配置を「教授1・兼4」から「准教授1・兼3」に変更。
・科目の分担変更のため、「検査総合臨地実習」の専任教員等の配置を「兼2」から「教授1」に変更。

（注）1
授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

（2）授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
75 科目	34 科目	0 科目	109 科目	75 科目 [0]	40 科目 [6]	0 科目 [0]	115 科目 [6]	

（注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{109} = 0\,\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区　　分		内　　容				備考
(1) 校地等	区　分	専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人） 校地隣接土地を新規に取得したため（30）
	校舎敷地	27,269.00㎡	2,224.19㎡	4,233.66㎡	33,726.85㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0.00㎡	11,610.00㎡	50,698.00㎡	
	小　計	66,357.00㎡	2,224.19㎡	15,843.66㎡	84,424.85㎡	
	その他	66,139.28㎡ ~~65,119.00㎡~~	0.00㎡	34,029.83㎡	100,169.1㎡ ~~99,148.83㎡~~	
	合　計	132,496.28㎡ ~~131,476.00㎡~~	2,224.19㎡	49,873.49㎡	184,594.00㎡ ~~183,573.68㎡~~	
(2) 校舎		専　用	共　用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人）
		79,854.22㎡ (79,854.22㎡)	1,646.11㎡ (1,646.11㎡)	14,427.50㎡ (14,427.50㎡)	95,927.83㎡ (95,927.83㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	備考
	48室	46室 44室	135室 ~~138室~~	2室 (補助職員1人)	2室 (補助職員1人)	教室等の使用用途を一部変更したため（29） 大学全体

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室　数	備考
	医療技術学部　臨床検査学科	15.5 ~~12~~ 室	1室を2人で使用する場合がある。

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	備考
	医療技術学部 臨床検査学科	7,199〔285〕 ~~7,197〔283〕~~ ~~6,462〔267〕~~	28〔9〕 ~~29〔11〕~~ ~~27〔10〕~~	5〔5〕 ~~9〔9〕~~ 7〔7〕	50 ~~31~~	1,419 ~~1,686~~ ~~1,536~~	12 ~~6~~	教育環境を充実させるため（29）（30） ~~(元)~~ 申請学科 共用図書 1,250冊 ~~1,609冊~~ ~~1,893冊~~
		(6,828〔285〕) ~~(6,663〔285〕)~~ ~~(6,514〔283〕)~~ ~~(5,804〔267〕)~~	(28〔9〕) ~~(29〔11〕)~~ ~~(27〔10〕)~~	5〔5〕 ~~9〔9〕~~ (7〔7〕)	(50) ~~(31)~~	(1,419) ~~(1,686)~~ ~~(1,536)~~	(12) ~~(6)~~	
	計	7,199〔285〕 ~~7,197〔283〕~~ ~~6,462〔267〕~~	28〔9〕 ~~29〔11〕~~ ~~27〔10〕~~	5〔5〕 ~~9〔9〕~~ ~~7〔7〕~~	50 ~~31~~	1,419 ~~1,686~~ ~~1,536~~	12 ~~6~~	
		(6,663〔285〕) ~~(6,514〔283〕)~~ ~~(5,804〔267〕)~~	(28〔9〕) ~~(29〔11〕)~~ ~~(27〔10〕)~~	5〔5〕 ~~9〔9〕~~ ~~(7〔7〕)~~	(50) ~~(31)~~	(1,419) ~~(1,686)~~ ~~(1,536)~~	(12) ~~(6)~~	

(6) 図書館	面　積	閲覧座席数	収納可能冊数	備考
	2,482.94㎡	606	210,275	大学全体

(7) 体育館	面　積	体育館以外のスポーツ施設の概要		備考
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52㎡ 第２武道場　262.11㎡	温水プール　25ｍ×7コース	大学全体

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区　分	開設年度	完成年度	区　分	開設前年度	開設年度	完成年度	備考
		教員１人当り研究費等	686千円	638千円	図書購入費	― 千円	5,090千円 ~~5,072千円~~	6,040千円 ~~5,772千円~~	設備購入費は新設3学科全体（29） 設備の整備に想定より経費がかからなかったため（29） 図書購入費は前年度実績により予算を見直したため（29） 共同研究費は大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費（運用ｺｽﾄ含む）を含む
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	52,238千円 ~~100,000千円~~	50,000千円	50,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,700千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	― 千円	― 千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「（５）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

　なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1136	－	0.88	平成29	平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 （医療福祉学）	0.56	－	平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 （臨床心理学）	0.92	－	平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	242	学士 （子ども医療福祉学）	1.04	平成29	平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士 （保健看護学）	－	－	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	120	－	1.08	平成31	平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	120	学士 （保健看護学）	1.08	平成31	平成31	同上	
リハビリテーション学部	4	220	－	220	－	1.05	平成31	平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	60	学士 （理学療法学）	1.18	平成31	平成31	同上	
作業療法学科	4	60	－	60	学士 （作業療法学）	1.06	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	60	学士 （言語聴覚療法学）	0.96	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	40	学士 （視能療法学）	0.97	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1172	－	1.10	平成29	平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	180	学士 （臨床検査学）	1.18	平成29	平成29	同上	
診療放射線技術学科	4	60	－	180	学士 （診療放射線技術学）	1.14	平成29	平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	300	学士 （臨床工学）	1.10	－	平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 （臨床栄養学）	1.05	－	平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	306	学士 （健康体育学）	0.94	－	平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－	平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	平成29	平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	平成29	平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止

医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898	－	0.61	－	平成17	－	
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療福祉経営学）	0.60	－	平成17	同上	
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 （医療情報学）	0.61	－	平成17	同上	
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療秘書学）	0.66	－	平成17	同上	
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.54	－	平成17	同上	
大学全体	4	1186	32	3546	－	0.92	－	－	－	
医療福祉学研究科	－	41	－	89	－	0.60	－	平成8	－	
（修士課程）	2	34	－	－	－	0.68	－	平成8	－	
（博士後期課程）	3	7	－	－	－	0.42	－	平成10	－	
医療福祉学専攻	－	13	－	29	－	0.47	－	平成8	－	
修士課程	2	10	－	20	修士 （医療福祉学）	0.45	－	平成8	岡山県倉敷市 松島288番地	
博士後期課程	3	3	－	9	博士 （医療福祉学）	0.33	－	平成10	同上	
臨床心理学専攻	－	14	－	30	－	0.64	－	平成8	－	
修士課程	2	12	－	24	修士 （臨床心理学）	0.99	－	平成8	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （臨床心理学）	0.50	－	平成10	同上	
保健看護学専攻	－	14	－	30	－	0.68	－	平成11	－	
修士課程	2	12	－	24	修士 （保健看護学）	0.58	－	平成11	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （保健看護学）	0.50	－	平成18	同上	
医療技術学研究科	－	42	－	92	－	0.52	－	平成8	－	
（修士課程）	2	34	－	－	－	0.27	－	平成8	－	
（博士後期課程）	3	8	－	－	－	0.91	－	平成10	－	
感覚矯正学専攻	－	10	－	22	－	0.53	－	平成8	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 （感覚矯正学）	0.31	－	平成8	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （感覚矯正学）	1.16	－	平成10	同上	
健康体育学専攻	－	8	－	16	－	0.49	－	平成8	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 （健康体育学）	0.49	－	平成8	同上	
臨床栄養学専攻	－	8	－	16	－	0.18	－	平成8	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 （臨床栄養学）	0.18	－	平成8	同上	
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻	－	8	－	18	－	0.75	－	平成11	－	
修士課程	2	6	－	12	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	－	平成11	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	1.16	－	平成13	同上	

健康科学専攻	－	2	－	6	－	1.33	－	平成10	－	
博士後期課程	3	2	－	6	博士（健康科学）	1.33	－	平成10	同上	
臨床工学専攻	－	6	－	14	－	0.05	－	平成23	－	
修士課程	2	4	－	8	修士（臨床工学）	0.12	－	平成23	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士（臨床工学）	0.00	－	平成23	同上	
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	19	－	40	－	0.47	－	平成21	－	
（修士課程）	2	17	－	－	－	0.49	－	平成21	－	
（博士後期課程）	3	2	－	－	－	0.33	－	平成21	－	
医療福祉経営学専攻	－	3	－	6	－	0.99	－	平成21	－	
修士課程	2	3	－	6	修士（医療福祉経営学）	0.99	－	平成21	同上	
医療秘書学専攻	－	2	－	4	－	0.75	－	平成21	－	
修士課程	2	2	－	4	修士（医療秘書学）	0.75	－	平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻	－	4	－	8	－	0.25	－	平成21	－	
修士課程	2	4	－	8	修士（医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.25	－	平成21	同上	
医療情報学専攻	－	10	－	22	－	0.40	－	平成21	－	
修士課程	2	8	－	16	修士（医療情報学）	0.37	－	平成21	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士（医療情報学）	0.33	－	平成21	同上	
大学院全体	－	102	－	221	－	0.55	－	－	－	

大学の名称	川崎医科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
医学部	6	126	－	728	学士（医学）	1.00	平成27 平成29	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	定員変更（10） 定員変更（6）
医学科	6	126	－	728	学士（医学）	1.00	平成27 平成29	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	定員変更（10） 定員変更（6）
医学研究科	4	25	－	100	博士（医学）	0.59	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	
医科学専攻	4	25	－	100	博士（医学）	0.59	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	

大学の名称	川崎医療短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
看護科	3	120	－	360	短期大学士（看護）	1.19	－	昭和48	岡山県倉敷市松島316番地	
放射線技術科	3	－	－	－	短期大学士（放射線技術）	－	－	昭和52	岡山県倉敷市松島316番地	平成29年度学生募集停止
医療介護福祉科	2	80	－	160	短期大学士（医療介護福祉）	0.17	－	平成13	岡山県倉敷市松島316番地	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜医療技術学部　臨床検査学科＞

（１）ー① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	北中　明 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感染免疫学 分子生物学 医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 臨床血液学 血液検査学実習 臨床検査基礎演習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	伊禮　功 （51） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ 病理検査学 病理検査学実習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	永瀬　澄香 （60） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	生化学実習 医学概論 医療関係法規 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床化学Ⅱ 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	教授	片岡　浩巳 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	医療統計学 情報科学概論 情報科学演習 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 検査機器総論 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 医療安全管理学 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	教授	清蔭　恵美 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能 解剖組織学 解剖組織学実習 基礎生理学 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	北中　明 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感染免疫学 分子生物学 医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 臨床血液学 血液検査学実習 臨床検査基礎演習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	伊禮　功 （51） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ 病理検査学 病理検査学実習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	永瀬　澄香 （60） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	生化学実習 医学概論 医療関係法規 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床化学Ⅱ 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 基礎科学演習
専	教授	片岡　浩巳 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	医療統計学 情報科学概論 情報科学演習 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 検査機器総論 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 医療安全管理学 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	教授	清蔭　恵美 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能 解剖組織学 解剖組織学実習 基礎生理学 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 臨床検査基礎演習

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	北中　明 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感染免疫学 分子生物学 医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 臨床血液学 血液検査学実習 臨床検査基礎演習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	伊禮　功 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ 病理検査学 病理検査学実習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	永瀬　澄香 （61） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	生化学実習 医学概論 医療関係法規 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床化学Ⅱ 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 基礎科学演習 臨床検査基礎演習
専	教授	片岡　浩巳 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	医療統計学 情報科学概論 情報科学演習 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 検査機器総論 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 医療安全管理学 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	教授	清蔭　恵美 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能 解剖組織学 解剖組織学実習 基礎生理学 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 臨床検査基礎演習

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	北中　明 （54） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	感染免疫学 分子生物学 医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 臨床血液学 血液検査学実習 臨床検査基礎演習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	伊禮　功 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ 病理検査学 病理検査学実習 卒業研究 卒業課題研究
専	教授	永瀬　澄香 （62） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	生化学実習 医学概論 医療関係法規 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床化学Ⅱ 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 基礎科学演習 臨床検査基礎演習
専	教授	片岡　浩巳 （59） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	医療統計学 情報科学概論 情報科学演習 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 検査機器総論 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 医療安全管理学 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	教授	清蔭　恵美 （54） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	人体の構造と機能 解剖組織学 解剖組織学実習 基礎生理学 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 病理検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	近末　久美子 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	感染免疫学 医学検査学入門 公衆衛生学 公衆衛生学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 医動物学演習 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	教授	陶山　洋二 （54） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 一般検査学 一般検査学実習 一般検査学臨床実習 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	教授	春間　賢 （67） ＜平成29年4月＞ 医学博士	臨床病態学総論 臨床病態学各論
専	教授	山田　作夫 （65） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	公衆衛生学 臨床微生物学
専	准教授	鐵原　拓雄 （61） ＜平成29年4月＞ 学士（社会学）	解剖組織学実習 医学検査学入門 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学 病理検査学実習 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	近末　久美子 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	感染免疫学 医学検査学入門 公衆衛生学 公衆衛生学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 医動物学演習 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習**
専	教授	陶山　洋二 （54） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 一般検査学 一般検査学実習 一般検査学臨床実習 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習** **基礎科学実験**
専	教授	春間　賢 （67） ＜平成29年4月＞ 医学博士	臨床病態学総論 臨床病態学各論
専	教授	山田　作夫 （65） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	公衆衛生学 臨床微生物学
専	准教授	鐵原　拓雄 （61） ＜平成29年4月＞ 学士（社会学）	解剖組織学実習 医学検査学入門 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学 病理検査学実習 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	近末　久美子 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	感染免疫学 医学検査学入門 公衆衛生学 公衆衛生学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 医動物学演習 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習**
専	教授	陶山　洋二 （55） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 一般検査学 一般検査学実習 一般検査学臨床実習 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習** **基礎科学実験**
専	教授	春間　賢 （68） ＜平成29年4月＞ 医学博士	臨床病態学総論 臨床病態学各論
専	教授	山田　作夫 （66） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	公衆衛生学 臨床微生物学 **臨床微生物学実習**
専	准教授	鐵原　拓雄 （62） ＜平成29年4月＞ 学士（社会学）	解剖組織学実習 医学検査学入門 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学 病理検査学実習 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習** **臨床検査基礎演習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	近末　久美子 （54） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	感染免疫学 医学検査学入門 公衆衛生学 公衆衛生学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 医動物学演習 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習** **検査総合臨地実習**
専	教授	陶山　洋二 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 一般検査学 一般検査学実習 **一般検査学臨床実習** 臨床化学Ⅰ 臨床化学実習 臨床化学Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習** **基礎科学実験**
専	教授	春間　賢 （69） ＜平成29年4月＞ 医学博士	臨床病態学総論 臨床病態学各論
専	教授	山田　作夫 （67） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	公衆衛生学 臨床微生物学 **臨床微生物学実習**
専	准教授	鐵原　拓雄 （63） ＜平成29年4月＞ 学士（社会学）	解剖組織学実習 医学検査学入門 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学 病理検査学実習 細胞検査学 細胞検査学実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **基礎科学演習** **臨床検査基礎演習** **臨床実習導入演習** **病理検査学臨床実習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中原　貴子 （43） ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）	生化学 生化学実習 基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 検査機器総論 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
兼任	講師	中原　貴子 （42） ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	生化学 生化学実習 基礎科学演習 基礎科学実験 臨床検査基礎演習
専	講師	迎　由利子 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	解剖組織学 解剖組織学実習 基礎科学演習 医学検査学入門 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 血液検査学 血液検査学実習 血液検査学臨床実習 病理検査学 病理検査学実習 病理検査学臨床実習 検査機器総論 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	講師	上野　浩司 （34） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	生化学実習 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	講師	宮崎　仁 （35） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	チーム医療概論 医療工学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中原　貴子 （42） ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）	生化学 生化学実習 基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 検査機器総論 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
兼任	講師	中原　貴子 （42） ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	生化学 生化学実習 基礎科学演習 基礎科学実験 臨床検査基礎演習
専	講師	上野　浩司 （34） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	生化学実習 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説
専	講師	宮崎　仁 （35） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	チーム医療概論 医療工学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中原　貴子 （43） ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）	生化学 生化学実習 基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 検査機器総論 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **臨床化学実習**
専	講師	上野　浩司 （35） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	**生化学実習** 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **臨床検査基礎演習**
専	講師	宮崎　仁 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	チーム医療概論 医療工学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	中原　貴子 （44） ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）	生化学 生化学実習 基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 **免疫・輸血検査学臨床実習** 検査機器総論 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅱ 検査総合管理学実習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **臨床化学実習** **臨床化学Ⅰ**
専	講師	上野　浩司 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	**生化学実習** 医療工学演習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 **臨床検査基礎演習**
兼担	講師	宮崎　仁 （37） **＜平成31年4月＞** 博士（工学）	チーム医療概論 医療工学演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
								有安　早苗 (54) ＜平成29年10月＞ 博士(保健学)			有安　早苗 (55) ＜平成29年10月＞ 博士(保健学)
						専	講師	解剖組織学実習 臨床検査基礎演習 基礎科学演習 病理検査学 病理検査学実習 細胞検査学	専	准教授	解剖組織学実習 臨床検査基礎演習 基礎科学演習 病理検査学 病理検査学実習 細胞検査学 臨床実習導入演習
		黒住　菜美 (32) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）			黒住　菜美 (30) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）			黒住　菜美 (31) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）			黒住　菜美 (32) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）
専	助教	基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学 一般検査学実習 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説	専	助教	基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学 一般検査学実習 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説	専	助教	基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学 一般検査学実習 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 生化学実習 検査機器総論	専	助教	基礎科学演習 基礎科学実験 臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学 一般検査学実習 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 卒業研究 卒業課題研究 医学検査学詳説 生化学実習 検査機器総論 臨床検査基礎演習
兼任	講師	黒住　菜美 (30) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学） 基礎科学演習 基礎科学実験 一般検査学 一般検査学実習 臨床化学実習	兼任	講師	黒住　菜美 (30) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学） 基礎科学演習 基礎科学実験 一般検査学 一般検査学実習 臨床化学実習	兼任	講師	黒住　菜美 (31) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学） 基礎科学演習 基礎科学実験 一般検査学 一般検査学実習 臨床化学実習 生化学実習 検査機器総論			
								渡邉　加奈子 (24) ＜平成30年4月＞ 修士（理学）	専	助教	渡邉　加奈子 (25) ＜平成30年4月＞ 修士（理学）
						専	助教	基礎科学演習 免疫・輸血検査学実習 臨床微生物学実習 臨床検査基礎演習	専	助教	基礎科学演習 免疫・輸血検査学実習 臨床微生物学実習 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 臨床化学実習
									専	准教授	竹内　雅貴 (45) ＜平成31年4月＞ 博士（理学） 分子生物学
兼担	教授	鈴木　幸一郎 (70) ＜平成31年4月＞ 医学博士 救命救急医学	兼担	教授	鈴木　幸一郎 (68) ＜平成31年4月＞ 医学博士 救命救急医学	兼担	教授	鈴木　幸一郎 (69) ＜平成31年4月＞ 医学博士 救命救急医学	兼任	教授	鈴木　幸一郎 (70) ＜平成31年4月＞ 医学博士 救命救急医学
兼担	教授	益田　芳樹 (67) ＜平成29年4月＞ 学士（理学） 生物学	兼担	教授	益田　芳樹 (67) ＜平成29年4月＞ 学士（理学） 生物学	兼担	教授	益田　芳樹 (68) ＜平成29年4月＞ 学士（理学） 生物学	兼担	教授	益田　芳樹 (69) ＜平成29年4月＞ 学士（理学） 生物学
兼担	教授	虫明　基 (67) ＜平成29年4月＞ 博士（工学） 数学 物理学	兼担	教授	虫明　基 (67) ＜平成29年4月＞ 博士（工学） 数学 物理学	兼担	教授	虫明　基 (68) ＜平成29年4月＞ 博士（工学） 数学 物理学	兼担	教授	虫明　基 (69) ＜平成29年4月＞ 博士（工学） 数学 物理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	平井　敏弘 （66） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	種村　純 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	吉岡　リサ （64） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	田口　豊郁 （63） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	高尾　俊弘 （60） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学実習
兼担	教授	柏原　洋子 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	教授	姜　波 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解
兼担	教授	林　明弘 （58） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼担	教授	保野　孝弘 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	矢野　博己 （51） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	福岡　欣治 （48） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	平井　敏弘 （66） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	種村　純 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	吉岡　リサ （64） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	田口　豊郁 （63） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	高尾　俊弘 （58） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学実習
兼担	教授	柏原　洋子 （59） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	教授	姜　波 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解
兼担	教授	林　明弘 （58） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼担	教授	保野　孝弘 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	矢野　博己 （51） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	福岡　欣治 （48） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	平井　敏弘 （67） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	種村　純 （65） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	吉岡　リサ （65） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	田口　豊郁 （64） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	高尾　俊弘 （59） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学実習
兼担	教授	柏原　洋子 （60） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） **実践英会話** **英語インテンシブリーディング**
兼担	教授	姜　波 （59） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解 **初修外国語**
兼担	教授	林　明弘 （59） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼担	教授	保野　孝弘 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	矢野　博己 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	福岡　欣治 （49） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	平井　敏弘 （68） ＜平成31年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	種村　純 （66） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	教授	田口　豊郁 （65） ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	高尾　俊弘 （60） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学実習
兼担	教授	柏原　洋子 （61） ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） **実践英会話** **英語インテンシブリーディング**
兼担	教授	姜　波 （60） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解 **初修外国語**
兼担	教授	林　明弘 （60） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼担	教授	保野　孝弘 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	矢野　博己 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	福岡　欣治 （50） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯田　淳子 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学
兼担	准教授	市川　和子 （64） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼担	准教授	伊藤　隆男 （62） ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	北山　彰 （61） ＜令和2年4月＞ 文学士	チーム医療概論
兼担	准教授	田中　順子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	山内　泰子 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （50） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯田　淳子 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学
兼担	准教授	市川　和子 （61） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼担	准教授	伊藤　隆男 （62） ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	北山　彰 （58） ＜令和2年4月＞ 文学士	チーム医療概論
兼担	准教授	田中　順子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	山内　泰子 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （50） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯田　淳子 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学 **異文化理解（海外研修）**
兼担	准教授	市川　和子 （62） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼担	准教授	伊藤　隆男 （63） ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	北山　彰 （59） ＜令和2年4月＞ 文学士	チーム医療概論
兼担	准教授	田中　順子 （59） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	山内　泰子 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （51） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	飯田　淳子 （47） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学 **異文化理解（海外研修）**
兼担	**教授**	**橋本　勇人** **（59）** **＜平成31年4月＞** **博士（医療福祉学）**	**日本国憲法**
兼担	准教授	市川　和子 （63） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼担	准教授	伊藤　隆男 （64） ＜平成29年4月＞ 文学修士	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ
兼担	准教授	北山　彰 （60） ＜令和2年4月＞ 文学士	チーム医療概論
兼担	准教授	田中　順子 （60） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	**教授**	山内　泰子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学
兼担	准教授	田並　尚恵 （52） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	**准教授**	**橋本　美香** **（52）** **＜平成31年4月＞** **博士（文学）**	**日本語リテラシー**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	秦　久美子 （57） ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	朱　容仁 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （44） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （43） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	重松　孝治 （43） ＜令和2年4月＞ 修士（教育学）	チーム医療概論
兼担	講師	小池　大介 （42） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	西脇　藍 （40） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史
兼担	講師	藤原　有子 （39） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	藤野　雅広 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習
兼担	講師	根来　麻子 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	秦　久美子 （57） ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	朱　容仁 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （44） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （43） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	重松　孝治 （40） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	チーム医療概論
兼担	講師	小池　大介 （42） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	西脇　藍 （40） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史
兼担	講師	藤原　有子 （39） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	藤野　雅広 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習
兼担	講師	根来　麻子 （36） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	秦　久美子 （58） ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	朱　容仁 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （45） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	重松　孝治 （41） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	チーム医療概論
兼担	講師	小池　大介 （43） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	西脇　藍 （41） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史 **和の伝統文化**
兼担	講師	藤原　有子 （40） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	藤野　雅広 （37） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習
兼担	講師	根来　麻子 （37） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現 **日本語リテラシー**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**准教授**	**北澤　正志** **（59）** **＜平成31年4月＞** **文学士**	**文章表現**
兼担	講師	朱　容仁 （47） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	植松　章子 （46） ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	谷川　智宏 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	重松　孝治 （42） ＜平成31年4月＞ 修士（教育学）	チーム医療概論
兼担	講師	小池　大介 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	西脇　藍 （42） ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史 **和の伝統文化**
兼担	講師	**中尾　有子** （41） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎演習 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	藤野　雅広 （38） ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	平田（森）　智子 （35） ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼任	講師	通山　薫 （59） ＜平成29年4月＞ 医学博士	医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 臨床血液学 医療安全管理学
兼任	講師	畠　二郎 （58） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	超音波検査学 超音波検査学臨床実習 内視鏡・超音波検査学実習
兼任	講師	森谷　卓也 （57） ＜平成29年4月＞ 医学博士	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ
兼任	講師	野田　幸代 （60） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 血液検査学 血液検査学実習 血液検査学臨床実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	中桐　逸博 （58） ＜平成29年4月＞ 短期大学	生化学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床実習導入演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	平田（森）　智子 （35） ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼任	講師	通山　薫 （59） ＜平成29年4月＞ 医学博士	医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 臨床血液学 医療安全管理学
兼任	講師	畠　二郎 （57） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	超音波検査学 超音波検査学臨床実習 内視鏡・超音波検査学実習
兼任	講師	森谷　卓也 （57） ＜平成29年4月＞ 医学博士	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ
兼任	講師	野田　幸代 （59） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 血液検査学 血液検査学実習 血液検査学臨床実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	中桐　逸博 （58） ＜平成29年4月＞ 短期大学	生化学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床実習導入演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	平田（森）　智子 （36） ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼任	講師	通山　薫 （60） ＜平成29年4月＞ 医学博士	医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 臨床血液学 医療安全管理学
兼任	講師	畠　二郎 （58） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	超音波検査学 超音波検査学臨床実習 内視鏡・超音波検査学実習
兼任	講師	森谷　卓也 （58） ＜平成29年4月＞ 医学博士	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ
専	講師	野田　幸代 （60） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 血液検査学 血液検査学実習 血液検査学臨床実習 臨床実習導入演習 **基礎科学演習** **臨床検査基礎演習**
兼任	講師	中桐　逸博 （59） ＜平成29年4月＞ 短期大学	生化学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床実習導入演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	平田（森）　智子 （37） ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	**准教授**	**谷野　宏美 （44） ＜平成31年4月＞ 修士（保健看護学）**	**ヒューマンセクシャリティー論**
兼担	**講師**	**三上　史哲 （48） ＜平成31年4月＞ 博士（医療情報学）**	**情報科学演習**
兼担	**助教**	**兵藤　史武 （34） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）**	**統計学**
兼任	講師	通山　薫 （61） ＜平成29年4月＞ 医学博士	医学概論 チーム医療概論 臨床病態学総論 臨床病態学各論 臨床病態学演習Ⅰ 臨床血液学 医療安全管理学
兼任	講師	畠　二郎 （59） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	超音波検査学 **超音波検査学臨床実習** 内視鏡・超音波検査学実習
兼任	講師	森谷　卓也 （59） ＜平成29年4月＞ 医学博士	病理学総論 病理学各論 臨床病態学演習Ⅰ
専	講師	野田　幸代 （61） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 血液検査学 血液検査学実習 血液検査学臨床実習 臨床実習導入演習 **基礎科学演習** **臨床検査基礎演習**
専	講師	中桐　逸博 （60） **＜平成30年12月＞** 短期大学	生化学実習 臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 免疫・輸血検査学臨床実習 臨床実習導入演習 **基礎科学演習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河口　勝憲 （59） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学実習
兼任	講師	大倉　貢 （58） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 血液検査学実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 医療安全管理学 検査総合臨地実習
兼任	講師	小林　博久 （58） ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学臨床実習 細胞検査学実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	岡本　年生 （57） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 医学検査学詳説
兼任	講師	河口　豊 （56） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床実習導入演習 医療安全管理学
兼任	講師	見手倉　久治 （48） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床病態学演習Ⅰ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 医動物学演習 臨床実習導入演習 検査総合臨地実習
兼任	講師	西浦　公 （68） ＜平成29年4月＞ 法学修士	日本国憲法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河口　勝憲 （58） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学実習
兼任	講師	大倉　貢 （57） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 血液検査学実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 医療安全管理学 検査総合臨地実習
兼任	講師	小林　博久 （56） ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学臨床実習 細胞検査学実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	岡本　年生 （56） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 医学検査学詳説
兼任	講師	河口　豊 （55） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床実習導入演習 医療安全管理学
兼任	講師	見手倉　久治 （47） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床病態学演習Ⅰ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 医動物学演習 臨床実習導入演習 検査総合臨地実習
兼任	講師	西浦　公 （68） ＜平成29年4月＞ 法学修士	日本国憲法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	河口　勝憲 （59） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学実習
兼任	講師	大倉　貢 （58） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 血液検査学実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 医療安全管理学 検査総合臨地実習
兼任	講師	小林　博久 （57） ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学臨床実習 細胞検査学実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	岡本　年生 （57） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 医学検査学詳説
兼任	講師	河口　豊 （56） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床実習導入演習 医療安全管理学
兼任	講師	見手倉　久治 （48） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床病態学演習Ⅰ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 医動物学演習 臨床実習導入演習 検査総合臨地実習
兼任	講師	西浦　公 （69） ＜平成29年4月＞ 法学修士	日本国憲法

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	河口　勝憲 （60） ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 一般検査学臨床実習 臨床化学実習 臨床化学臨床実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 検査総合管理学実習 基礎科学演習 基礎科学実験 医療安全管理学
兼任	講師	大倉　貢 （59） ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	臨床病態学演習Ⅰ 血液検査学 血液検査学実習 臨床実習導入演習 検査総合管理学Ⅰ 医療安全管理学 検査総合臨地実習
兼任	講師	小林　博久 （58） ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 病理検査学臨床実習 細胞検査学実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	岡本　年生 （58） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 神経生理検査学 神経生理・超音波検査学実習 超音波検査学臨床実習 神経生理検査学臨床実習 臨床実習導入演習 医学検査学詳説
兼任	講師	河口　豊 （57） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	臨床病態学演習Ⅰ 臨床病態学演習Ⅱ 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床微生物学臨床実習 臨床実習導入演習 医療安全管理学
兼任	講師	見手倉　久治 （49） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床病態学演習Ⅰ 免疫・輸血検査学 免疫・輸血検査学実習 医動物学演習 臨床実習導入演習 検査総合臨地実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	谷本　泰正 （64） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	阿部　利則 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	二宮　洋子 （61） ＜平成31年4月＞ 学士（薬学）	チーム医療概論
兼任	講師	岩知道　伸久 （49） ＜平成29年4月＞ 短期大学	解剖組織学実習 病理検査学実習
兼任	講師	辻岡　貴之 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	分子生物学 公衆衛生学実習
兼任	講師	名木田　恵理子 （65） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学英語
兼任	講師	勝山　博信 （58） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	末盛　晋一郎 （48） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	公衆衛生学実習 臨床病態学総論 臨床病態学各論
兼任	講師	麓　由起子 （48） ＜平成31年4月＞ 短期大学	公衆衛生学実習
兼任	講師	有山　紀代美 （51） ＜平成31年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	谷本　泰正 （64） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	阿部　利則 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	二宮　洋子 （58） ＜平成31年4月＞ 学士（薬学）	チーム医療概論
兼任	講師	岩知道　伸久 （49） ＜平成29年4月＞ 短期大学	解剖組織学実習 病理検査学実習
兼任	講師	辻岡　貴之 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	分子生物学 公衆衛生学実習
兼任	講師	名木田　恵理子 （64） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学英語
兼任	講師	勝山　博信 （56） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	末盛　晋一郎 （47） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	公衆衛生学実習 臨床病態学総論 臨床病態学各論
兼任	講師	麓　由起子 （46） ＜平成31年4月＞ 短期大学	公衆衛生学実習
兼任	講師	有山　紀代美 （48） ＜平成31年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**准教授**	谷本　泰正 （65） **＜平成30年4月＞** 理学修士	化学
兼任	講師	阿部　利則 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	二宮　洋子 （59） ＜平成31年4月＞ 学士（薬学）	チーム医療概論
兼任	講師	岩知道　伸久 （50） ＜平成29年4月＞ 短期大学	解剖組織学実習 病理検査学実習
兼任	講師	辻岡　貴之 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	分子生物学 公衆衛生学実習
兼任	講師	名木田　恵理子 （65） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学英語
兼任	講師	勝山　博信 （57） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	末盛　晋一郎 （48） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	公衆衛生学実習 臨床病態学総論 臨床病態学各論
兼任	講師	麓　由起子 （47） ＜平成31年4月＞ 短期大学	公衆衛生学実習
兼任	講師	有山　紀代美 （49） ＜平成31年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	**准教授**	谷本　泰正 （66） **＜平成30年4月＞** 理学修士	化学
兼任	講師	二宮　洋子 （60） ＜平成31年4月＞ 学士（薬学）	チーム医療概論
兼任	講師	岩知道　伸久 （51） ＜平成29年4月＞ 短期大学	解剖組織学実習 病理検査学実習
兼任	講師	辻岡　貴之 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	**分子生物学** **公衆衛生学実習** **臨床血液学**
兼任	講師	名木田　恵理子 （66） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学英語
兼任	講師	勝山　博信 （58） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	末盛　晋一郎 （49） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	**公衆衛生学実習** 臨床病態学総論 臨床病態学各論 **臨床血液学**
兼任	講師	麓　由起子 （48） ＜平成31年4月＞ 短期大学	**公衆衛生学実習** **臨床実習導入演習**
兼任	講師	有山　紀代美 （50） ＜平成31年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	安藤　潤子 （47） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習
兼任	講師	前川　圭子 （47） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習
兼任	講師	上杉　里枝 （47） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床化学実習 検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	沖野　哲也 （57） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	医動物学演習
兼任	講師	田村　昌代 （50） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床微生物学実習
兼任	講師	山本　克紀 （51） ＜平成30年4月＞ 短期大学	チーム医療概論 循環・呼吸機能検査学
兼任	講師	高橋　和枝 （54） ＜平成30年4月＞ 短期大学	循環・呼吸機能検査学実習
兼任	講師	岡本　由美 （61） ＜平成31年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ 医療安全管理学
兼任	講師	青井　陽子 （43） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	舟田　和幸 （61） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	石松　昌己 （49） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	安藤　潤子 （46） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習
兼任	講師	前川　圭子 （46） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習
兼任	講師	上杉　里枝 （46） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床化学実習 検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	沖野　哲也 （56） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	医動物学演習
兼任	講師	田村　昌代 （49） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床微生物学実習
兼任	講師	山本　克紀 （50） ＜平成30年4月＞ 短期大学	チーム医療概論 循環・呼吸機能検査学
兼任	講師	高橋　和枝 （53） ＜平成30年4月＞ 短期大学	循環・呼吸機能検査学実習
兼任	講師	岡本　由美 （59） ＜平成31年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ 医療安全管理学
兼任	講師	青井　陽子 （40） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	舟田　和幸 （58） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	石松　昌己 （46） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	安藤　潤子 （47） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習
兼任	講師	前川　圭子 （47） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習
兼任	講師	上杉　里枝 （47） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床化学実習 検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	沖野　哲也 （57） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	医動物学演習
兼任	講師	田村　昌代 （50） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床微生物学実習
兼任	講師	山本　克紀 （51） ＜平成30年4月＞ 短期大学	チーム医療概論 循環・呼吸機能検査学
兼任	講師	岡本　由美 （60） ＜平成31年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ 医療安全管理学
兼任	講師	青井　陽子 （41） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	舟田　和幸 （59） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	石松　昌己 （47） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	安藤　潤子 （48） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習 **臨床実習導入演習**
兼任	講師	前川　圭子 （48） ＜平成30年4月＞ 短期大学	一般検査学実習
兼任	講師	上杉　里枝 （48） ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床化学実習 検査総合管理学Ⅱ **臨床実習導入演習**
兼任	講師	沖野　哲也 （58） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	医動物学演習
兼任	講師	田村　昌代 （51） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	臨床微生物学実習
兼任	講師	山本　克紀 （52） ＜平成30年4月＞ 短期大学	チーム医療概論 循環・呼吸機能検査学 **臨床実習導入演習**
兼任	講師	岡本　由美 （61） ＜平成31年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ **医療安全管理学**
兼任	講師	青井　陽子 （42） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	舟田　和幸 （60） ＜令和2年4月＞ 短期大学	検査総合管理学Ⅱ
兼任	講師	石松　昌己 （48） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	仲井　富久江 （51） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡本　操 （53） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡崎　希美恵 （53） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	□　真美 （50） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	チーム医療概論
兼任	講師	桝本　朋子 （57） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療概論
兼任	講師	高橋　佳子 （55） ＜平成30年4月＞ 短期大学	血液検査学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	仲井　富久江 （48） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡本　操 （50） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡崎　希美恵 （50） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	□　真美 （47） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	チーム医療概論
兼任	講師	桝本　朋子 （54） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療概論
兼任	講師	高橋　佳子 （52） ＜平成30年4月＞ 短期大学	血液検査学実習
兼任	講師	大野　佑子 （30） ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学演習
兼任	講師	黒川　幸徳 （63） ＜平成29年10月＞ 専門学校	臨床検査基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	仲井　富久江 （49） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡本　操 （51） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡崎　希美恵 （51） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	□　真美 （48） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	チーム医療概論
兼任	講師	桝本　朋子 （55） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療概論
兼任	講師	高橋　佳子 （53） ＜平成30年4月＞ 短期大学	血液検査学実習
兼任	講師	安福　明子 （50） ＜平成30年4月＞ 短期大学	血液検査学実習
兼任	講師	大野　佑子 （31） ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学演習 循環・呼吸機能検査学実習 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習 検査機器総論 臨床検査基礎演習
兼任	講師	柏野　明美 （62） ＜平成30年4月＞ 短期大学	血液検査学 血液検査学実習
兼任	講師	黒川　幸徳 （64） ＜平成29年10月＞ 専門学校	感染免疫学 医動物学演習 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床検査基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	仲井　富久江 （50） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡本　操 （52） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	岡崎　希美恵 （52） ＜令和2年4月＞ 短期大学	チーム医療概論
兼任	講師	□　真美 （49） ＜令和2年4月＞ 修士（社会福祉学）	チーム医療概論
兼任	講師	桝本　朋子 （56） ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療概論
兼任	講師	高橋　佳子 （54） ＜平成30年4月＞ 短期大学	血液検査学実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	安福　明子 （51） ＜平成30年4月＞ 短期大学	血液検査学実習
専	助教	大野　佑子 （32） ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学演習 循環・呼吸機能検査学実習 循環・呼吸機能検査学臨床実習 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習 検査機器総論 臨床検査基礎演習 臨床実習導入演習 医動物学演習 循環・呼吸機能検査学
兼任	講師	黒川　幸徳 （65） ＜平成29年10月＞ 専門学校	感染免疫学 医動物学演習 臨床微生物学 臨床微生物学実習 臨床検査基礎演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	榊原　佳奈枝 (35) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	生化学実習 基礎科学演習 医学検査学入門 臨床検査基礎演習
兼任	講師	松田　宣昭 (39) ＜平成29年9月＞ 短期大学	解剖組織学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	榊原　佳奈枝 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（保健学）	生化学実習 基礎科学演習 医学検査学入門 臨床検査基礎演習 血液検査学 血液検査学実習 病理検査学実習
兼任	講師	平井　紀之 (62) ＜平成30年4月＞ 短期大学	循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習
兼任	講師	古川　聡子 (46) ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床化学実習
兼任	講師	松田　宣昭 (40) ＜平成29年9月＞ 短期大学	解剖組織学実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	榊原　佳奈枝 (37) ＜平成31年4月＞ 修士（保健学）	生化学実習 基礎科学演習 医学検査学入門 臨床検査基礎演習 血液検査学 血液検査学実習 病理検査学実習 血液検査学臨床実習 臨床実習導入演習
兼任	講師	平井　紀之 (63) ＜平成30年4月＞ 短期大学	循環・呼吸機能検査学 循環・呼吸機能検査学実習 超音波検査学 神経生理・超音波検査学実習
兼任	講師	古川　聡子 (47) ＜平成30年4月＞ 短期大学	臨床化学実習
兼任	講師	松田　宣昭 (41) ＜平成29年9月＞ 短期大学	解剖組織学実習
兼任	講師	藤井　恵美 (58) ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床実習導入演習
兼任	講師	岡﨑　希美恵 (52) ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床実習導入演習
兼任	講師	竹之内　陽子 (50) ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床実習導入演習
兼任	講師	成富　真理 (46) ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床実習導入演習
兼任	講師	今田　昌秀 (44) ＜平成31年4月＞ 短期大学	血液検査学実習
兼任	講師	柏　英康 (59) ＜平成31年4月＞ 短期大学	臨床実習導入演習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡本　由美 (61) ＜平成31年4月＞ 短期大学
		医療安全管理学

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）ー②担当教員表に関する変更内容

【平成２９年度】

・迎由利子講師（専任教員）の辞任に伴い、榊原佳奈枝（兼任教員）、大野佑子（兼任教員）に教員変更。
・教員間の科目分担変更のため、一部の科目担当を上野浩司講師（専任教員）から榊原佳奈枝（兼任教員）に教員変更。

【平成３０年度】

・平成29年9月、松田宣昭（兼任教員）就任。
・平成29年10月、有安早苗講師（専任教員）、黒川幸徳（兼任教員）就任。
・平成30年4月、渡邉加奈子助教（専任教員）、安福明子（兼任教員）、柏野明美（兼任教員）、平井紀之（兼任教員）、古川聡子（兼任教員）就任。
・大学内の教育体制充実のため、谷本泰正（兼任教員）を兼担教員に採用換。
・学科内の教育体制充実のため、野田幸代（兼任教員）を講師（専任教員）に採用換し担当科目を追加。榊原佳奈枝（兼任教員）を助教（専任教員）に採用換。

【令和元年度】

・教育内容充実のため、専任教員として平成30年12月に中桐逸博講師、平成31年4月に河口勝憲准教授、大野佑子助教が就任。
・大学内の教育体制充実のため、平成31年4月に宮崎仁講師（専任教員）が兼担教員に変更。後任として竹内雅貴准教授が専任教員として就任。
・契約満了に伴い、兼担教員の平井敏弘、鈴木幸一郎が兼任教員に変更。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の秦久美子、根来麻子、兼任教員の西浦公、阿部利則、柏野明美が辞任。後任として橋本勇人、橋本美香、北澤正志、谷野宏美、三上史哲、兵藤史武が兼担教員として就任。兼任教員として藤井恵美、岡崎希美恵、竹之内陽子、成富真理、今田昌秀、柏英康が就任。
・専任教員の有安早苗が講師から准教授に、榊原佳奈枝が助教から講師に昇任。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）
9	1	4	1	15	9	4	5	3	21
(9)	(1)	(3)	(0)	(13)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）
9	4	5	3	21	9	4	5	3	21
[0]	[3]	[1]	[2]	[6]	[0]	[3]	[1]	[2]	[6]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授　65 講師・助教　60 歳	2 名	2 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、
および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている
教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{15} = \boxed{140}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{2}{21} = \boxed{9.52}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
				該 当 な し			

合計（D）				後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
	必修	0	科目	必修		科目	必修		科目	必修	科目
	選択	0		該 当 な し			選択			選択	
人	自由	0				科目	自由		科目	自由	科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	講師	迎　由利子	H29.4	必修	解剖組織学	①	H29.4.30付け家庭の事情のため退職（29）
				必修	解剖組織学実習	①	
				必修	基礎科学演習	①	
				必修	医学検査学入門	①	
				必修	臨床病態学演習Ⅰ	①	
				必修	臨床病態学演習Ⅱ	①	
				必修	血液検査学	①	
				必修	血液検査学実習	①	
				必修	血液検査学臨床実習	①	
				必修	病理検査学	①	
				必修	病理検査学実習	①	
				必修	病理検査学臨床実習	①	
				必修	検査機器総論	①	
				必修	臨床検査基礎演習	①	
				必修	臨床実習導入演習	①	
				必修	卒業研究	①	
				選択	卒業課題研究	①	
				選択	医学検査学詳説	①	

合計（F）				後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）		
	必修	16	科目	必修	16	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
1 人	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	18	科目	計	18	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
1 人	必修	16	科目	必修	16 科目	必修	0	科目	必修	0	科目
	選択	2	科目	選択	2 科目	選択	0	科目	選択	0	科目
	自由	0	科目	自由	0 科目	自由	0	科目	自由	0	科目
	計	18	科目	計	18 科目	計	0	科目	計	0	科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{15} = 6.66\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
				該 当 な し		

合計				後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）			
0 人	必修	0	科目	必修	科目	該 当 な し		必修		科目	
	選択	0	科目					選択		科目	
	自由	0	科目					自由		科目	
	計	0	科目	計	0 科目	計	0	科目	計	0	科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成29年度に辞任した専任教員（迎　由利子）の担当予定科目については、平成30年度および今年度に新規で就任した教員で担当を分担するとともに学生指導にあたる。なお、新規採用教員の情報については、年度初めのガイダンス等で学生への周知を図っている。（元）

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
設　置　時 （28年7月）	医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	１．平成29年度入試では、歩留を考慮しつつより厳密に合格者数の調整を行った結果、理学療法専攻、作業療法専攻ともに入学定員超過率は1.13倍となり、定員超過（1.3倍以上）を是正している。（29）	履行済	
設　置　時 （28年7月）	医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科及び川崎医療短期大学医療介護福祉科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．平成29年度入試より３施設（本学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試を開始し、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）において、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。 ２．他校との差別化を図るために、デザイン・情報の価値創造と問題解決ができる人材の養成に特化したカリキュラムに変更し、それを強調した広報活動をよりシステマティックに展開した。 ３．これらにより平成29年度入試における医療福祉デザイン学科及び医療情報学科の入学定員超過率は、それぞれ0.72倍及び0.81倍となり、両学科ともに定員未充足（0.7倍未満）を是正している。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より３施設（本学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試を開始し、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）において、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。 ２．他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成した。 ３．本学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業を実施した。また、アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学医療介護福祉科に期待すること等の調査・情報収集を行った。 ４．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信に努めた。（29）	履行中	【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉デザイン学科が0.52倍、医療情報学科が0.65倍であり、両学科ともに依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の４つの計画を実行する。 １）３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員の見直しを行う。 ２）医療福祉デザイン学科では将来の職業に繋がる研究会を立ち上げており、これを大きく広報する役割も担った講演会を開催する。 ３）当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等で情報提供することに尽力する。 ４）Webや冊子の両面から広告掲載を充実させ、高校生が多方面から情報を得ることができるように広報活動を充実させる。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しを検討する。 ２．公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映する。 ３．就職先での本学卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できる、より有用な人材を育成する。 ４．学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信を行う。（29）
設　置　時 （28年7月）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。（子ども医療福祉学科）	改善意見	定年年齢延長の教員の後任については、職階・学位・専門職種等に配慮しながら、原則として本学定年規定内の教員をもって採用していくこと等により順次解消している。また、今後の採用は、原則として若手教員とし、教員組織全体の若返りを図り、課題を解決していく計画である。（29）	履行済	

設置計画履行状況調査時（30年２月）	医療技術学部リハビリテーション学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	１．平成30年度入試においても、平成29年度入試と同様に合格者数の調整を厳密に行った結果、理学療法専攻及び作業療法専攻の入学定員超過率はそれぞれ1.13倍及び1.10倍と、定員管理が適正に行われている。それにより、過去４年間の平均入学定員超過率についても、理学療法専攻が1.22倍、作業療法専攻が1.23倍となり、定員超過（1.3倍以上）を是正している。（30）	履行済	
設置計画履行状況調査時（30年２月）	同一設置者が設置する既設学部等（医療福祉学部医療福祉学科,医療福祉マネジメント学部医療秘書学科,医療福祉デザイン学科,医療情報学科,川崎医療短期大学医療介護福祉科）の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから,学生確保に努めるとともに,入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．平成29年度３施設合同入試の結果を踏まえ、平成30年度入試では入試区分別募集人員の見直しを行った。 ２．Webと冊子の両面において、学科情報の広告掲載を充実させた。 ３．医療福祉学科では、社会福祉関連科目の必修化等、専門職養成を強化した。 ４．医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの育成に対応したカリキュラムに変更したことを強調した広報活動を展開した。 ４．医療福祉デザイン学科では、ホスピタルデザイン研究会の講演会・研究報告会を開催するとともに、当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等により積極的に情報提供した。 ５．医療情報学科では、医療情報技師や診療情報管理士として活動している卒業生等の具体例を、高校生、保護者、進路指導教員に周知する機会を積極的に設けた。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より開始した３施設（川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試において、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）で、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大。 ２．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しの検討。 ３．他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成。 ４．川崎医療短期大学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業の実施。アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学科に期待すること等の調査・情報収集。 ５．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信。（30）	履行中	【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉学科が0.58倍、医療秘書学科が0.60倍、医療福祉デザイン学科が0.51倍、医療情報学科が0.65倍であり、何れの学科も依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の６つの計画を実行する。 １）入学試験の内容を再検討する。 ２）従来の広報活動を強化するとともに、体験授業等を実施し、各学科に対する認知度の向上を図る。 ３）医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策を強化する。 ４）医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの医療現場への普及と認知度の向上を図る。 ５）医療福祉デザイン学科では、出前講義や模擬授業の機会及び対象校を増やす。 ６）医療情報学科では、医学・医療とICTの知識と技術を有した人材の養成が求められていることを周知する。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映すること。 ２．就職先での本学科卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できるより有用な人材を育成する。 ３．学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信。 ４．医療に強い本学科の特長を周知させるための広報活動の強化（30）

			【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．Webと冊子の両面において、学科情報の広告掲載を充実させた。 ２．医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策等、専門職養成を強化した。 ３．医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの育成に対応したカリキュラムであることを強調した広報活動を展開した。 ４．医療福祉デザイン学科では、ホスピタルデザイン研究会の講演会・研究報告会を開催するとともに、当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等により積極的に情報提供した。 ５．医療情報学科では、医療情報技師や診療情報管理士として活動している卒業生等の具体例を、高校生、保護者、進路指導教員に周知する機会を積極的に設けた。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より開始した３施設（川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試において、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）で、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大。 ２．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員、高校訪問等の見直しの検討。 ３．他校との差別化を図るために医療系・リハビリテーション系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成。 ４．川崎医療短期大学医療介護福祉科をより理解してもらうために、中高校生や介護職員などを対象とした公開セミナーを実施。アンケートを通じて、中高校生や介護職員が本学科に期待すること等の調査・情報収集。 ５．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信。 （元）		【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉学科が0.56倍、医療秘書学科が0.66倍、医療福祉デザイン学科が0.54倍、医療情報学科が0.61倍であり、何れの学科も依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の６つの計画を実行する。 １）入学試験の内容を再検討する。 ２）従来の広報活動を強化するとともに、体験授業等を実施し、各学科に対する認知度の向上を図る。 ３）医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策を更に強化する。 ４）医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの医療現場への普及と認知度の向上を図る。 ５）医療福祉デザイン学科では、出前講義や模擬授業の機会及び対象校を増やす。 ６）医療情報学科では、医学・医療とICTの知識と技術を有した人材の養成が求められていることを周知する。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．高校生が参加するイベントであるオープンキャンパスの内容の充実を図り、公開セミナーや体験イベントなどの回数を増やすことにより、介護の仕事を理解してもらい、魅力を感じてもらう機会を増やす。 ２．公開セミナー等のアンケートを通じて得られた情報を分析し、受験者ニーズを掴み、入試の実施やＰＲ活動を行う。また、社会的なニーズの高まりの中で本学科の３つのポリシーを明確にしつつ、本学科卒業生ならではの役割を示す。 ３．高校訪問や高校ガイダンスに専門職員を派遣し、医療に強い本学科の特長となぜ医療に強い介護福祉士が必要であるかについて周知させるための広報活動を展開する。 ４．学生や保護者に十分な理解が得られるよう将来像を明確に示すとともに、本学科の特長を前面に出したキャリア教育を行い、それにより得られた成果（国家試験合格、就職先での活躍等）について外部へ効果的な発信を行う。 （元）

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜医療技術学部　臨床検査学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当無し	

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）
（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
⑴ ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
⑵ ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
⑶ ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
⑷ その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
⑴ 各学部長
⑵ 各研究科長
⑶ 教務部長
⑷ 学生部長
⑸ 事務部長
⑹ その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。
（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。
（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。
（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度　年間7回開催（委員は教員6名、事務職員3名で構成）
平成31年度　年間7回開催（委員は教員8名、事務職員3名で構成）

c 委員会の審議事項等

ＦＤ・ＳＤ研修会について
教員相互の授業参観について
卒業生へのアンケートについて　等

② 実施状況

a 実施内容

・ ＦＤ・ＳＤ研修会
・ 教員相互の授業参観
・ 卒業生へのアンケート
・ 授業研究カンファレンス

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・教員相互の授業参観

教員相互の授業参観の実態について学期末ごとに全学科の調査を行っている。

また、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業について公開授業を行っている。

・卒業生へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを1月から卒業式までの間に実施している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年２、３回開催している。

平成29年9月「教員の力量を育成するポートフォリオ評価のあり方」（参加者 210名）

平成30年3月「教育ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（教育を変える国際基準ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ手法）」（参加者 237名）

平成30年9月「私立大学等経常費補助金の概要について」「アセスメントポリシーについて」（参加者 321名）

平成30年12月「シラバスの作り方について」（参加者 301名）

平成31年3月「ディープアクティブラーニングとその評価」（参加者 268名）

・教員相互の授業参観

平成18年度から学期ごとに毎年調査を実施しており、平成30年度は春学期に延べ196件、秋学期は延べ301件の授業が参観されている。

・卒業生へのアンケート

平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイトで公開している。

・授業研究カンファレンス

平成29年度（参加者　73名）

「講義実習レポートに対する提出評価と自動採点のシステム」

「短大でのe-ポートフォリオの利用状況とGoogleドライブのコミュニケーションツールとしての利用」

「医療秘書教育におけるeラーニングの利用 - 学部教育から社会人教育まで - 」

「クリッカーを用いた学生参加型講義への試み」

「必修科目『文章表現』における主体性を引き出す試み」

「生体機能代行装置学実習における透析実習の現状と今後の題」

平成30年度　第1回　（参加者　76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する一系統的実習教育の実現に向けた取り組み一」

平成30年度　第2回　（参加者　70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、「私立大学等経常費補助金の概要」についての講演を行い、文部科学省が求める大学の経営方針に沿った補助金制度について学んだ。「アセスメントポリシー」について研修会では、アセスメントポリシーにより学生の学修評価を可視化し、３つのポリシー（アドミッションポリシー・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー）の妥当性の共通認識を図った。

また、「学生の主体的な学修」を目指したより良いシラバスの作成を目標とし、「シラバスの作り方について」の研修会も行った。

他にも、「ディープ・アクティブラーニングとその評価」の研修会を行い、パフォーマンスそのものやパフォーマンスを可能にしているコンピテンス（能力）に焦点を当て、可視化する重要性について学んだ。

これからも定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質の変化に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。

教員相互の授業参観についても、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業のねらいなどを紹介するとともに、該当授業を公開することで教授力の向上に役立てている。
卒業生アンケートや授業評価アンケートなどは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつより実践的な教育改善計画を策定していく。
また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

学部について、春学期末（７月中旬）に「演習・実習科目」、秋学期末（１月中旬）に「講義科目」を対象として、マークシートによるアンケート調査を実施している。
なお、次年度は「講義科目」と「演習・実習科目」の開講期（春学期・秋学期）を入れ替えて実施する。
また、大学院については年度末（１月中旬）に各専攻へ、カリキュラム全体を通しての、アンケート調査を実施している。

b 教員や学生への公開状況，方法等

科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。
また、全体結果と分析については報告書として作成し学内図書館で閲覧可能とし、Web上でも公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

① 体制

a 委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

c 委員会の審議事項等

d その他

② 審議状況

a 審議した内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

臨床検査学科は、医療安全やチーム医療への理解と実践、さらに深い教養に根差した真摯な生命観や倫理観、臨床検査学に対する研究的視点の醸成、そして全人的医療に積極的に参加し、ときには指導的役割をも担うといった学校法人川崎学園が目指す「良き医療人」を育成・輩出する目的で設置された。
設置3年目を迎え、第1期生が臨床（臨地）実習を開始することになった。川崎医科大学の２つの附属病院が実習場所となり、現代医療に即した実習がこれから1年間にわたって展開される。また下級生である第2期生、第3期生の教育環境・設備も順調に整備され、学習内容が軌道に乗ってきたといえる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成18年3月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）公表
平成31年3月（平成28・29・30年度分）

b 公表方法
・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画
・財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、平成26年10月大学基準に適合していると認定された(認定期間は平成34年3月31日まで)。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ (有) ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月31日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

1　調査対象大学等の概要等

（1）設　置　者

学校法人　川崎学園

（2）大　学　名

川崎医療福祉大学

（3）調査対象大学等の位置

〒７０１－０１９３
岡山県倉敷市松島２８８番地

（注）・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（　）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

（4）管理運営組織

職　　名	設　　置　　時	変　更　状　況	備　　考
理 事 長	（ カワサキ　セイジ ） 川﨑　誠治 （平成24年3月）		
学　　長	（ ツバハラ　アキオ ） 椿原　彰夫 （平成25年1月）		
学 部 長	（ オノデラ　ショウ ） 小野寺　昇 （平成27年4月）	（ ミヤカワ　タケシ ） 宮川　健 （平成31年4月）	人事異動のため（元）
学科長等	（ イトウ　カツヨシ ） 伊東　克能 （平成29年4月）	（ ヒラツカ　ジュンイチ ） 平塚　純一 （平成29年10月）	平成29年9月30日付け家庭の事情のため退職（30）

（注）・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（　）書きで記入してください。
（例）平成３０年度に報告済の内容　→（30）
令和元年度に報告する内容　→（元）
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に，「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

（５） 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

（注）・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
・ 様式は、平成２７年度開設の４年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの５年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が４年以下の場合には欄を削除し、５年以上の場合には、欄を設けてください。）
・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

（５）－① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
医療技術学部診療放射線技術学科学士（診療放射線技術学）	保健衛生学関係（看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。）	4年	60人	年次 ― 人	240人	

（注）・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第２号（その２の１））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

（５）－② 調査対象学部等の入学者の状況

区分＼対象年度	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 (－) [－]	人	人 (－) [－]	人	人 60 (－) [－]	人	人 60 (－) [－]	人	人 60 (－) [－]	人	1.14倍	－倍	
志願者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	557 (－) [－]	－ (－) [－]	502 (－) [－]	－ (－) [－]	442 (－) [－]	－ (－) [－]			
受験者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	546 (－) [－]	－ (－) [－]	494 (－) [－]	－ (－) [－]	437 (－) [－]	－ (－) [－]			
合格者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	112 (－) [－]	－ (－) [－]	121 (－) [－]	－ (－) [－]	129 (－) [－]	－ (－) [－]			
B 入学者数	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	－ (－) [－]	70 (－) [－]	－ (－) [－]	68 (－) [－]	－ (－) [－]	68 (－) [－]	－ (－) [－]			
入学定員超過率 B／A	－		－		1.16		1.13		1.13				

（注）・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・ （ ）内には、編入学の状況について**外数で**記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。 該当がない年度には「－」を記入してください。
・ 転入学生は記入しないでください。
・ [ ]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで記入してください。
・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
・「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「－」を記入してください。

（５）－③　調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 / 学年	平成２７年度		平成２８年度		平成２９年度		平成３０年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
１年次	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	70 [－] (－)	－ [－] (－)	68 [－] (－)	－ [－] (－)	68 [－] (－)	－ [－] (－)	
２年次			－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	67 [－] (－)	－ [－] (－)	67 [－] (－)	－ [－] (－)	
３年次					－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	63 [－] (－)	－ [－] (－)	
４年次							－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	－ [－] (－)	
計	－ [－] (－)		－ [－] (－)		70 [－] (－)		135 [－] (－)		198 [－] (－)		

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　[　]内には、留学生の状況について**内数で**記入してください。該当がない年度には「－」を記入してください。
・（ ）内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「－」を記入してください。
・　編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
・　学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「－」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
・　「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

（５）－④　調査対象学部等の退学者等の状況

区分／対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由（留学生の理由は[ ]書き）
			入学した年度	退学者数	うち留学生数	
平成27年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
平成28年度	0 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
平成29年度	70 人	1 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	1 人	0 人	進路変更(1人)、転学科(2人)を除く
平成30年度	135 人	2 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	1 人	0 人	進路変更(1人)、転学科(3人)を除く
			平成30年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和元年度	198 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	
			平成28年度	0 人	0 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合　計		3 人		3 人	0 人	

（注）・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。（在学者数から退学者数を減らす必要はありません。）
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下（○人）」というように、その人数も含めて記入してください。

（記入項目例）・就学意欲の低下　・学力不足　・他の教育機関への入学・転学　・海外留学
・就職　・学生個人の心身に関する事情　・家庭の事情　・除籍　・その他

（５）－⑤　調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

平成27年度の退学者数(a) / 平成27年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ －％

【平成28年度】

平成28年度の退学者数(a) / 平成28年度の在学者数(b) ＝ － / － ＝ －％

【平成29年度】

平成29年度の退学者数(a) / 平成29年度の在学者数(b) ＝ 1 / 70 ＝ 1.42％

【平成30年度】

平成30年度の退学者数(a) / 平成30年度の在学者数(b) ＝ 2 / 135 ＝ 1.48％

【令和元年度】

令和元年度の退学者数(a) / 令和元年度の在学者数(b) ＝ 0 / 198 ＝ 0％

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

2　授業科目の概要

＜医療技術学部　診療放射線技術学科＞

（１）ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	単位数 選択	単位数 自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	日本語リテラシー	**2前**		**2**							**1**
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	**1前後**		**2**							**1**
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	**1前後**		**2**							**1**
	英語インテンシブリーディング	**1前後**		**2**							**1**
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	初修外国語	**1前後**		**2**							**1**
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	**1後**		**2**							**1**
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(38科目)	－	16	55	0	0	0	0	0	0	42
専門科目	医学概論	1前	1				1				1
	医学用語	2後	1								2
	臨床医学概論Ⅰ	2前	1								3
	臨床医学概論Ⅱ	2後	1								3
	解剖生理学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	1			1					
	生化学	1後	1								2
	病理学総論	2前	1								1
	公衆衛生学	3後	1								1
	チーム医療総論	4前	1			1	1				4
	造影検査学総論	2前	1				1	1	1		2
	看護学概論	2後	1								2
	基礎医学大要演習	4前	1								1
	基礎科学演習Ⅰ	1前	1				2				
	基礎科学演習Ⅱ	1前	1			1	1				
	基礎科学実験	1前	1			1	5		2		1
	医用物理学	1後	1			1					
	医用電気電子工学Ⅰ	1後	1				1				
	医用電気電子工学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用電気電子工学実験	2後	1			1	3				1
	情報科学総論	2後	1			1	1				
	放射線物理学Ⅰ	1前	1				1				
	放射線物理学Ⅱ	1後	1				1				
	放射化学Ⅰ	1後	1				1				
	放射化学Ⅱ	2前	1				1				
	放射線生物学	1後	1								2
	放射線計測学Ⅰ	2前	1				1		1		
	放射線計測学Ⅱ	2後	1				1				
	放射線取扱の基礎	3前		1			2	1	1		1
	放射線取扱の応用	3前		1			2	1	1		1
	放射線科学実験	3前後	1				3				3
	放射線科学演習Ⅰ	4前	1				3				
	放射線科学演習Ⅱ	4前	1				2				1
	画像診断学概論	2後	2								5
	画像解剖学演習	3後	1								5
	放射線画像機器工学Ⅰ	1前	1			1					
	放射線画像機器工学Ⅱ	1後	1			1					
	放射線画像検査学Ⅰ	1後	1				1				
	放射線画像検査学Ⅱ	2前	1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計(44科目)	－	16	67	0	0	0	0	0	0	48
専門科目	医学概論	1前	1				1				1
	医学用語	2後	1						1		1
	臨床医学概論Ⅰ	2前	1								5
	臨床医学概論Ⅱ	2後	1								5
	解剖生理学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	1			1					
	生化学	1後	1								1
	病理学総論	2前	1								1
	公衆衛生学	3後	1								5
	チーム医療総論	4前	1			1					4
	造影検査学総論	2前	1				2		1		2
	看護学概論	2後	1								1
	基礎医学大要演習	4前	1								1
	基礎科学演習Ⅰ	1前	1				2				
	基礎科学演習Ⅱ	1前	1			1	1				
	基礎科学実験	1前	1			1	5		3		1
	医用物理学	1後	1			1			2		
	医用電気電子工学Ⅰ	1後	1				1				
	医用電気電子工学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用電気電子工学実験	2後	1			1	2				2
	情報科学総論	2後	1			1	1				
	放射線物理学Ⅰ	1前	1				1				
	放射線物理学Ⅱ	1後	1				1				
	放射化学Ⅰ	1後	1				1				
	放射化学Ⅱ	2前	1				1				
	放射線生物学	1後	1						1		2
	放射線計測学Ⅰ	2前	1				1		1		
	放射線計測学Ⅱ	2後	1				1				
	放射線取扱の基礎	3前		1			2	1	1		1
	放射線取扱の応用	3前		1			2	1	1		1
	放射線科学実験	3前後	1				4	1	1		2
	放射線科学演習Ⅰ	4前	1				3				
	放射線科学演習Ⅱ	4前	1				2				1
	画像診断学概論	2後	2								5
	画像解剖学演習	3後	1								1
	放射線画像機器工学Ⅰ	1前	1			1					
	放射線画像機器工学Ⅱ	1後	1			1					
	放射線画像検査学Ⅰ	1後	1				1				
	放射線画像検査学Ⅱ	2前	1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	放射線造影検査学Ⅰ	2前	1					1			
	放射線造影検査学Ⅱ	2後	1					1			
	X線CT画像検査学Ⅰ	2前	1			1	1				
	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ	2後	1			1			1		1
	MR画像検査学Ⅰ	2前	1			1					
	MR画像検査学Ⅱ	2後	1			1					1
	超音波画像検査学	2後	1					1			2
	診療画像検査学	3後	1			1	1				1
	診療画像技術学実験Ⅰ	1後	1			2	3		1		
	診療画像技術学実験Ⅱ	2前	1			2	1	2	1		
	診療画像技術学詳論Ⅰ	4前	1								5
	診療画像技術学詳論Ⅱ	4前	1			2	2	1			
	核医学概論	2前	2				1				1
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	1				1				
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	1			1					
	核医学検査技術学Ⅲ	3前	1			1					1
	核医学検査技術学詳論	4前	1			1	1				2
	放射線腫瘍学概論	2前	2								3
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	1				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	1				1				1
	放射線治療技術学Ⅲ	3前	1					1			
	放射線治療技術学詳論	4前	1				1	1			2
	医用画像形成学	1前	1				1				
	医用画像解析学Ⅰ	1後	1				1				
	医用画像解析学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用画像解析学実験	2後	1			2	2	1	1		
	医用画像情報学	3前	1			1					
	医用画像情報学詳論	4前	1			1	1				
	放射線関係法規	2後	1					1			
	放射線安全管理学	2後	1				1				
	放射線安全管理学実験	3前後	1			1	3	1	1		2
	放射線安全管理学詳論	4前	1				1	1			
	医療安全管理学	2後	1				4	1			2
	放射線機器工学基礎実習	3前後	1			2		1			16

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	放射線造影検査学Ⅰ	2前	1				1				
	放射線造影検査学Ⅱ	2後	1				1				
	X線CT画像検査学Ⅰ	2前	1			1	1				
	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ	2後	1			1			1		1
	MR画像検査学Ⅰ	2前	1			1					
	MR画像検査学Ⅱ	2後	1			1					1
	超音波画像検査学	2後	1					1			1
	診療画像検査学	3後	1			2					1
	診療画像技術学実験Ⅰ	1後	1			2	3		1		
	診療画像技術学実験Ⅱ	2前	1			2	2	1	1		
	診療画像技術学詳論Ⅰ	4前	1								4
	診療画像技術学詳論Ⅱ	4前	1			2	3				
	核医学概論	2前	2			1		1			1
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	1			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	1			1					2
	核医学検査技術学Ⅲ	3前	1					1			
	核医学検査技術学詳論	4前	1			1					2
	放射線腫瘍学概論	2前	2								3
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	1				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	1				1				1
	放射線治療技術学Ⅲ	3前	1					1			
	放射線治療技術学詳論	4前	1				1	1			2
	医用画像形成学	1前	1				1				
	医用画像解析学Ⅰ	1後	1				1				
	医用画像解析学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用画像解析学実験	2後	1			2	3	1	1		
	医用画像情報学	3前	1			1					
	医用画像情報学詳論	4前	1			1	1				
	放射線関係法規	2後	1					1			
	放射線安全管理学	2後	1				1				
	放射線安全管理学実験	3前後	1			1	2	1	1		
	放射線安全管理学詳論	4前	1				1	1			
	医療安全管理学	2後	1			2	4				3
	放射線機器工学基礎実習	3前後	1			3	1	1	1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	診療画像技術学基礎実習	3前後	1			1	4	1	1		
	診療画像技術学臨床実習Ⅰ	3前後	4			1					
	診療画像技術学臨床実習Ⅱ	3前後	4			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1			1					
	放射線治療技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1					1			
	放射線治療技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1					1			
	診療放射線技術学実習総論	4前	1			1		1			
	診療放射線技術学演習Ⅰ	4後	1			1	1	1			
	診療放射線技術学演習Ⅱ	4後	1				3				
	診療放射線技術学演習Ⅲ	4後		1		1	1	1			2
	診療放射線技術学演習Ⅳ	4後		1			4				
	卒業研究Ⅰ	3後	1			5	9	3	2		
	卒業研究Ⅱ	4前	2			5	9	3	2		
	卒業研究Ⅲ	4後	4			5	9	3	2		
	小計(88科目)	－	97	4	0	56	106	32	18	0	84
合計(127科目)		－	113	59	0	56	106	32	18	0	126

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修31単位を含む31単位以上、専門分野から必修66単位を含む67単位以上。専門科目の卒業要件は必修97単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修113単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	診療画像技術学基礎実習	3前後	1				3	1	2		
	診療画像技術学臨床実習Ⅰ	3前後	4			1					
	診療画像技術学臨床実習Ⅱ	3前後	4			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1			1					
	放射線治療技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1					1			
	放射線治療技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1					1			
	診療放射線技術学実習総論	4前	1			1	1				
	診療放射線技術学演習Ⅰ	4後	1			1	1	1			
	診療放射線技術学演習Ⅱ	4後	1				2				
	診療放射線技術学演習Ⅲ	4後		1		1	1	1			1
	診療放射線技術学演習Ⅳ	4後		1			4				
	卒業研究Ⅰ	3後	1			5	9	2	2		
	卒業研究Ⅱ	4前	2			5	9	2	2		
	卒業研究Ⅲ	4後	4			5	9	2	2		
	小計(88科目)	－	97	4	0	60	106	25	26	0	66
合計(133科目)		－	113	71	0	60	106	25	26	0	114

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修31単位を含む31単位以上、専門分野から必修66単位を含む67単位以上。専門科目の卒業要件は必修97単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修113単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

【平成２９年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	異文化理解	1前後		2							1
	生活環境論	1前		2		1					
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（38科目）	－	16	55	0	1	0	0	0	0	41

【平成３０年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数 必修	選択	自由	専任教員等の配置 教授	准教授	講師	助教	助手	兼任・兼担
基礎教育科目	医療と福祉	1前	1								1
	入門医学概論	1前	2								1
	医療福祉学概論	1後	2								1
	生命倫理学	1前	2								1
	文章表現	1後	2								1
	日本語リテラシー	**2前**		**2**							**1**
	医療福祉の歴史	1前後		2							1
	和の伝統文化	**1前後**		**2**							**1**
	哲学	1前後		2							1
	心理学	1前後		2							1
	日本国憲法	1前後		2							1
	社会学	1前後		2							1
	経済学	1前後		2							1
	数学	1前後		2							1
	統計学	1前後		2							1
	物理学	1前後		2							1
	化学	1前後		2							1
	生物学	1前後		2							1
	人類学	1前後		2							1
	基礎英語Ⅰ	1前	2								2
	基礎英語Ⅱ	1後	2								2
	英会話	1前後		2							1
	英会話（海外研修）	1前		2							1
	英語リーディング	1前後		2							1
	実践英会話	**1前後**		**2**							**1**
	英語インテンシブリーディング	**1前後**		**2**							**1**
	健康体育基礎理論	1前	2								1
	健康体育基礎演習	1前	1								2
	健康体育実技（スポーツ系）	1前後		1							1
	健康体育実技（フィットネス系）	1前後		1							1
	健康体育実技（レクリエーション系）	1前後		1							2
	コンピュータ基礎演習	1前		2							1
	コンピュータ活用演習	1前後		2							1
	情報学概論	1前後		2							1
	初修外国語	**1前後**		**2**							**1**
	異文化理解	1前後		2							1
	異文化理解（海外研修）	**1後**		**2**							**1**
	生活環境論	1前		2							1
	ボランティア入門	1前		2							1
	生命科学	1前後		2							1
	健康科学論	1前後		2							1
	ヒューマンセクシャリティー論	1後		2							1
	健康と音楽	1後		2							1
	睡眠学	1前後		2							1
	小計（44科目）	－	16	67	0	0	0	0	0	0	48

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1前	1				1				2
	医学用語	2後	1								2
	臨床医学概論Ⅰ	2前	1								3
	臨床医学概論Ⅱ	2後	1								3
	解剖生理学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	1			1					
	生化学	1後	1								1
	病理学総論	2前	1								1
	公衆衛生学	3後	1								1
	チーム医療総論	4前	1			1	1				4
	造影検査学総論	2前	1				1	1	1		2
	看護学概論	2後	1								2
	基礎医学大要演習	4前	1								1
	基礎科学演習Ⅰ	1前	1				2				
	基礎科学演習Ⅱ	1前	1			1	1				
	基礎科学実験	1前	1			1	5		2		1
	医用物理学	1後	1			1					
	医用電気電子工学Ⅰ	1後	1				1				
	医用電気電子工学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用電気電子工学実験	2後	1			1	3				1
	情報科学総論	2後	1			1	1				
	放射線物理学Ⅰ	1前	1				1				
	放射線物理学Ⅱ	1後	1				1				
	放射化学Ⅰ	1後	1				1				
	放射化学Ⅱ	2前	1				1				
	放射線生物学	1後	1						1		2
	放射線計測学Ⅰ	2前	1				1		1		
	放射線計測学Ⅱ	2後	1				1				
	放射線取扱の基礎	3前		1			2	1	1		1
	放射線取扱の応用	3前		1			2	1	1		1
	放射線科学実験	3前後	1				3				3
	放射線科学演習Ⅰ	4前	1				3				
	放射線科学演習Ⅱ	4前	1				2				1
	画像診断学概論	2後	2								5
	画像解剖学演習	3後	1								5
	放射線画像機器工学Ⅰ	1前	1			1					
	放射線画像機器工学Ⅱ	1後	1			1					
	放射線画像検査学Ⅰ	1後	1				1				
	放射線画像検査学Ⅱ	2前	1				1				
	放射線造影検査学Ⅰ	2前	1					1			
	放射線造影検査学Ⅱ	2後	1					1			
	X線CT画像検査学Ⅰ	2前	1			1	1				
	X線CT画像検査学Ⅱ	2後	1			1			1		1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	医学概論	1前	1				1				2
	医学用語	2後	1								2
	臨床医学概論Ⅰ	2前	1								5
	臨床医学概論Ⅱ	2後	1								5
	解剖生理学Ⅰ	1前	1			1					
	解剖生理学Ⅱ	1後	1			1					
	生化学	1後	1								1
	病理学総論	2前	1								1
	公衆衛生学	3後	1								1
	チーム医療総論	4前	1			1	1				3
	造影検査学総論	2前	1				2		1		2
	看護学概論	2後	1								3
	基礎医学大要演習	4前	1								1
	基礎科学演習Ⅰ	1前	1				2				
	基礎科学演習Ⅱ	1前	1			1	1				
	基礎科学実験	1前	1			1	5		2		1
	医用物理学	1後	1			1					
	医用電気電子工学Ⅰ	1後	1				1				
	医用電気電子工学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用電気電子工学実験	2後	1			1	3				2
	情報科学総論	2後	1			1	1				
	放射線物理学Ⅰ	1前	1				1				
	放射線物理学Ⅱ	1後	1				1				
	放射化学Ⅰ	1後	1				1				
	放射化学Ⅱ	2前	1				1				
	放射線生物学	1後	1						1		2
	放射線計測学Ⅰ	2前	1				1		1		
	放射線計測学Ⅱ	2後	1				1				
	放射線取扱の基礎	3前		1			2	1	1		1
	放射線取扱の応用	3前		1			2	1	1		1
	放射線科学実験	3前後	1				3				3
	放射線科学演習Ⅰ	4前	1				3				
	放射線科学演習Ⅱ	4前	1				2				1
	画像診断学概論	2後	2								5
	画像解剖学演習	3後	1								4
	放射線画像機器工学Ⅰ	1前	1			1					
	放射線画像機器工学Ⅱ	1後	1			1					
	放射線画像検査学Ⅰ	1後	1				1				
	放射線画像検査学Ⅱ	2前	1				1				
	放射線造影検査学Ⅰ	2前	1					1			
	放射線造影検査学Ⅱ	2後	1					1			
	X線CT画像検査学Ⅰ	2前	1			1	1				
	X線CT画像検査学Ⅱ	2後	1			1			1		1

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	MR画像検査学Ⅰ	2前	1			1					
	MR画像検査学Ⅱ	2後	1			1					1
	超音波画像検査学	2後	1					1			2
	診療画像検査学	3後	1			1	1				1
	診療画像技術学実験Ⅰ	1後	1			2	3		1		
	診療画像技術学実験Ⅱ	2前	1			2	1	2	1		
	診療画像技術学詳論Ⅰ	4前	1								5
	診療画像技術学詳論Ⅱ	4前	1			2	2	1			
	核医学概論	2前	2				1				1
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	1				1				
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	1			1					
	核医学検査技術学Ⅲ	3前	1			1					1
	核医学検査技術学詳論	4前	1			1	1				2
	放射線腫瘍学概論	2前	2								3
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	1				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	1				1				1
	放射線治療技術学Ⅲ	3前	1					1			
	放射線治療技術学詳論	4前	1				1	1			2
	医用画像形成学	1前	1				1				
	医用画像解析学Ⅰ	1後	1				1				
	医用画像解析学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用画像解析学実験	2後	1			2	2	1	1		
	医用画像情報学	3前	1			1					
	医用画像情報学詳論	4前	1			1	1				
	放射線関係法規	2後	1					1			
	放射線安全管理学	2後	1				1				
	放射線安全管理学実験	3前後	1			1	3	1	1		2
	放射線安全管理学詳論	4前	1				1	1			
	医療安全管理学	2後	1				4	1			2
	放射線機器工学基礎実習	3前後	1			2		1			16
	診療画像技術学基礎実習	3前後	1			1	4	1	1		
	診療画像技術学臨床実習Ⅰ	3前後	4			1					
	診療画像技術学臨床実習Ⅱ	3前後	4			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1			1					
	放射線治療技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1					1			

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	MR画像検査学Ⅰ	2前	1			1					
	MR画像検査学Ⅱ	2後	1			1					1
	超音波画像検査学	2後	1					1			2
	診療画像検査学	3後	1			1	1				1
	診療画像技術学実験Ⅰ	1後	1			2	3		1		
	診療画像技術学実験Ⅱ	2前	1			2	2	1	1		
	診療画像技術学詳論Ⅰ	4前	1								4
	診療画像技術学詳論Ⅱ	4前	1			2	3				
	核医学概論	2前	2				1				1
	核医学検査技術学Ⅰ	2後	1			1					
	核医学検査技術学Ⅱ	2後	1				1				
	核医学検査技術学Ⅲ	3前	1			1					1
	核医学検査技術学詳論	4前	1			1	1				2
	放射線腫瘍学概論	2前	2								3
	放射線治療技術学Ⅰ	2前	1				1				
	放射線治療技術学Ⅱ	2後	1				1				1
	放射線治療技術学Ⅲ	3前	1					1			
	放射線治療技術学詳論	4前	1				1	1			2
	医用画像形成学	1前	1				1				
	医用画像解析学Ⅰ	1後	1				1				
	医用画像解析学Ⅱ	2前	1			1	1				
	医用画像解析学実験	2後	1			2	3	1	1		
	医用画像情報学	3前	1			1					
	医用画像情報学詳論	4前	1			1	1				
	放射線関係法規	2後	1					1			
	放射線安全管理学	2後	1				1				
	放射線安全管理学実験	3前後	1			1	3	1	1		2
	放射線安全管理学詳論	4前	1				1	1			
	医療安全管理学	2後	1				5				2
	放射線機器工学基礎実習	3前後	1			2		1			16
	診療画像技術学基礎実習	3前後	1			1	4	1	1		
	診療画像技術学臨床実習Ⅰ	3前後	4			1					
	診療画像技術学臨床実習Ⅱ	3前後	4			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1			1					
	核医学検査技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1			1					
	放射線治療技術学臨床実習Ⅰ	3前後	1					1			

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	放射線治療技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1					1			
	診療放射線技術学実習総論	4前	1			1		1			
	診療放射線技術学演習Ⅰ	4後	1			1	1	1			
	診療放射線技術学演習Ⅱ	4後	1				3				
	診療放射線技術学演習Ⅲ	4後		1		1	1	1			2
	診療放射線技術学演習Ⅳ	4後		1			4				
	卒業研究Ⅰ	3後	1			5	9	3	2		
	卒業研究Ⅱ	4前	2			5	9	3	2		
	卒業研究Ⅲ	4後	4			5	9	3	2		
	小計(88科目)	－	97	4	0	56	106	32	19	0	84
合計(127科目)		－	113	59	0	57	106	32	19	0	125

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修31単位を含む31単位以上、専門分野から必修66単位を含む67単位以上。専門科目の卒業要件は必修97単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修113単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	放射線治療技術学臨床実習Ⅱ	3前後	1					1			
	診療放射線技術学実習総論	4前	1			1	1				
	診療放射線技術学演習Ⅰ	4後	1			1	1	1			
	診療放射線技術学演習Ⅱ	4後	1				3				
	診療放射線技術学演習Ⅲ	4後		1		1	1	1			1
	診療放射線技術学演習Ⅳ	4後		1			4				
	卒業研究Ⅰ	3後	1			5	10	2	2		
	卒業研究Ⅱ	4前	2			5	10	2	2		
	卒業研究Ⅲ	4後	4			5	10	2	2		
	小計(88科目)	－	97	4	0	56	117	22	19	0	86
合計(133科目)		－	113	71	0	56	117	22	19	0	134

卒業要件及び履修方法

基礎教育科目:「医療福祉分野」から必修7単位、「教養分野」から必修2単位を含む4単位以上、「外国語分野」から必修4単位を含む4単位以上、「健康・体育分野」から必修3単位を含む3単位以上、「情報分野」から2単位以上、「総合分野」から2単位以上。基礎教育科目の卒業要件は必修16単位を含む26単位以上。

専門科目:「専門基礎分野」から必修31単位を含む31単位以上、専門分野から必修66単位を含む67単位以上。専門科目の卒業要件は必修97単位を含む98単位以上。

基礎教育科目及び専門科目を合わせた卒業に必要な単位数は、必修113単位を含む124単位以上。(履修科目の登録の上限:49単位(年間))

(注)
- 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
- 認可申請書又は設置届出書の様式第２号（その２の１）に準じて作成してください。
- 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て（兼任、兼担教員が担当する科目を含む。）を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「（未開講）」として記入してください。
- １ページ目には認可時又は届出時と報告年度２つの表を記入してください。
- 不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。
（２つの表が１ページに表示されるようにしてください。）

（１）ー②授業科目表に関する変更内容

【平成２９年度】

・教育内容充実のため、「医学概論」の専任教員等の配置を「准教授１・兼１」から「准教授１・兼２」に変更。
・片瀬直樹（兼任）の就任取消のため、「生化学」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「放射線生物学」の専任教員等の配置を「兼２」から「助教１・兼２」に変更。

【平成３０年度】

・基礎教育科目変更のため、「日本語リテラシー」、「和の伝統文化」、「実践英会話」、「英語インテンシブリーディング」、「初修外国語」、「異文化理解（海外研修）」を開設した。
・教育内容充実のため、「臨床医学概論Ⅰ」「臨床医学概論Ⅱ」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼５」に変更。
・教員退職（兼任教員）のため、「チーム医療総論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼４」から「教授１・准教授１・兼３」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したため、「造影検査学総論」の専任教員等の配置を「准教授１・講師１・助教１・兼２」から「准教授２・助教１・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「看護学概論」の専任教員等の配置を「兼２」から「兼３」に変更。
・教育内容充実のため、「医用電気電子工学実験」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・兼１」から「教授１・准教授３・兼２」に変更。
・教員退職（兼任教員）のため、「画像解剖学演習」の専任教員等の配置を「兼５」から「兼４」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したため、「放射線造影検査学Ⅰ」「放射線造影検査学Ⅱ」の専任教員等の配置を「講師１」から「准教授１」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したため、「診療画像技術学実験Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授１・講師２・助教１」から「教授２・准教授２・講師１・助教１」に変更。
・教員退職（兼任教員）のため、「診療画像技術学詳論Ⅰ」の専任教員等の配置を「兼５」から「兼４」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したため、「診療画像技術学詳論Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師１」から「教授２・准教授３」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「核医学検査技術学Ⅰ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１」に変更。
・教員間の科目分担変更のため、「核医学検査技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授１」から「准教授１」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したことと教育内容充実のため、「医用画像解析学実験」の専任教員等の配置を「教授２・准教授２・講師１・助教１」から「教授２・准教授３・講師１・助教１」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したため、「医療安全管理学」の専任教員等の配置を「准教授４・講師１・兼２」から「准教授５・兼２」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したため、「診療放射線技術学実習総論」の専任教員等の配置を「教授１・講師１」から「教授１・准教授１」に変更。
・教員退職（兼任教員）のため、「診療放射線技術学演習Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・講師１・兼２」から「教授１・准教授１・講師１・兼１」に変更。
・松田英治講師が准教授へ昇任したため、「卒業研究Ⅰ」「卒業研究Ⅱ」「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授５・准教授９・講師３・助教２」から「教授５・准教授10・講師２・助教２」に変更。

【令和元年度】

・教育内容充実のため、「医学概論」の専任教員等の配置を「准教授１・兼２」から「准教授１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「医学用語」の専任教員等の配置を「兼２」から「助教１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「公衆衛生学」の専任教員等の配置を「兼１」から「兼５」に変更。
・配置変更のため、「チーム医療総論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼３」から「教授１・兼４」に変更。
・科目の分担変更のため、「看護学概論」の専任教員等の配置を「兼３」から「兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「基礎科学実験」の専任教員等の配置を「教授１・准教授５・助教２・兼１」から「教授１・准教授５・助教３・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「医用物理学」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授１・助教２」に変更。
・科目の分担変更のため、「医用電気電子工学実験」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・兼２」から「教授１・准教授２・兼２」に変更。
・教育内容充実のため、「放射線科学実験」の専任教員等の配置を「准教授３・兼３」から「准教授４・講師１・助教１・兼２」に変更。
・科目の分担変更ため、「画像解剖学演習」の専任教員等の配置を「兼４」から「兼１」に変更。
・科目の分担変更のため、「超音波画像検査学」の専任教員等の配置を「講師１・兼２」から「講師１・兼１」に変更。
・科目の分担変更のため、「診療画像検査学」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼１」から「教授２・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「核医学概論」の専任教員等の配置を「准教授１・兼１」から「教授１・講師１・兼１」に変更。
・教育内容充実のため、「核医学検査技術学Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授１」から「教授１・兼２」に変更。
・科目の分担変更ため、「核医学検査技術学Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授１・兼１」から「講師１」に変更。
・退職のため、「核医学検査技術学詳論」の専任教員等の配置を「教授１・准教授１・兼２」から「教授１・兼２」に変更。
・退職のため、「放射線安全管理学実験」の専任教員等の配置を「教授１・准教授３・講師１・助教１・兼２」から「教授１・准教授２・講師１・助教１」に変更。

・退職、科目の分担変更のため、「医療安全管理学」の専任教員等の配置を「准教授５・兼２」から「教授２・准教授４・兼３」に変更。
・科目の分担変更ため、「放射線機器工学基礎実習」の専任教員等の配置を「教授２・講師１・兼１６」から「教授３・准教授１・講師１・助教１」に変更。
・科目の分担変更ため、「診療画像技術学基礎実習」の専任教員等の配置を「教授１・准教授４・講師１・助教１」から「准教授３・講師１・助教２」に変更。
・退職のため、「診療放射線技術学演習Ⅱ」の専任教員等の配置を「准教授３」から「准教授２」に変更。
・退職のため、「卒業研究Ⅰ」の専任教員等の配置を「教授５・准教授１０・講師２・助教２」から「教授５・准教授９・講師２・助教２」に変更。
・退職のため、「卒業研究Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授５・准教授１０・講師２・助教２」から「教授５・准教授９・講師２・助教２」に変更。
・退職のため、「卒業研究Ⅲ」の専任教員等の配置を「教授５・准教授１０・講師２・助教２」から「教授５・准教授９・講師２・助教２」に変更。

（注）・　２（１）―① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計（A）	必修	選択	自由	計	
93 科目	33 科目	0 科目	126 科目	93 科目 [0]	39 科目 [6]	0 科目 [0]	132 科目 [6]	

（注）・　未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、［　］内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：１科目減の場合：△１）

（３） 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1			該当なし			
2						
3						

（注）・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

（４） 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1			該当なし			
2						
3						

（注）・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

（５） 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

（注）・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

（６） 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{126} = 0\%$$

（注）・ 小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

３　施設・設備の整備状況，経費

区分		内容				備考
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人） 校地隣接土地を新規に取得したため（30）
	校舎敷地	27,269.00㎡	2,224.19㎡	4,233.66㎡	33,726.85㎡	
	運動場用地	39,088.00㎡	0.00㎡	11,610.00㎡	50,698.00㎡	
	小計	66,357.00㎡	2,224.19㎡	15,843.66㎡	84,424.85㎡	
	その他	66,139.28㎡ ~~65,119.00㎡~~	0.00㎡	34,029.83㎡	100,169.1㎡ ~~99,148.83㎡~~	
	合計	132,496.28㎡ ~~131,476.00㎡~~	2,224.19㎡	49,873.49㎡	184,594.00㎡ ~~183,573.68㎡~~	
(2) 校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	川崎医療短期大学（必要校地面積10,300.00㎡）と共用（収容定員1,030人）
		79,854.22㎡ （79,854.22㎡）	1,646.11㎡ （1,646.11㎡）	14,427.50㎡ （14,427.50㎡）	95,927.83㎡ （95,927.83㎡）	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	教室等の使用用途を一部変更したため（29）大学全体
	48室	46室 ~~44室~~	135室 ~~138室~~	2室 （補助職員1人）	2室 （補助職員1人）	

(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室数	専任教員の研究室の割り当てを変更したため（29）（元） 申請学科全体 1室を2人で使用する場合がある。
	医療技術学部　診療放射線技術学科	16.5 ~~12~~ ~~20~~ 室	

(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	
	医療技術学部 診療放射線技術学科	6,994〔698〕 ~~6,992〔696〕~~ ~~6,532〔691〕~~ (6,448〔705〕) ~~(6,113〔698〕)~~ ~~(6,143〔696〕)~~ ~~(5,920〔691〕)~~	22〔12〕 ~~24〔12〕~~ (21〔12〕) ~~(22〔12〕)~~ ~~(24〔12〕)~~	2〔2〕 ~~4〔4〕~~ 2〔2〕 ~~(4〔4〕)~~	36 ~~13~~ (36) ~~(13)~~	1,725 ~~1,387~~ ~~1,117~~ ~~1,050~~ (1,725) ~~(1,387)~~ ~~(1,117)~~ ~~(1,050)~~	79 ~~66~~ ~~43~~ ~~41~~ (79) ~~(66)~~ ~~(43)~~ ~~(41)~~	教育環境を充実させるため（29）（30）（元） 申請学科全体 共用図書 1,250冊 ~~1,206冊~~ ~~1,420冊~~
	計	6,994〔698〕 ~~6,992〔696〕~~ ~~6,532〔691〕~~ (6,448〔705〕) ~~(6,113〔698〕)~~ ~~(6,143〔696〕)~~ ~~(5,920〔691〕)~~	22〔12〕 ~~24〔12〕~~ (21〔12〕) ~~(22〔12〕)~~ ~~(24〔12〕)~~	2〔2〕 ~~4〔4〕~~ 2〔2〕 ~~(4〔4〕)~~	36 ~~13~~ (36) ~~(13)~~	1,725 ~~1,387~~ ~~1,117~~ ~~1,050~~ (1,725) ~~(1,387)~~ ~~(1,117)~~ ~~(1,050)~~	79 ~~66~~ ~~43~~ ~~41~~ (79) ~~(66)~~ ~~(43)~~ ~~(41)~~	

(6) 図書館	面積	閲覧座席数	収納可能冊数	大学全体
	2,482.94㎡	606	210,275	

(7) 体育館	面積	体育館以外のスポーツ施設の概要		大学全体
	2,995.44㎡	第１武道場　261.52㎡ 第２武道場　262.11㎡	温水プール　25ｍ×7コース	

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費は新設3学科全体（29）設備の整備に想定より経費がかからなかったため（29）図書購入費は前年度実績により予算を見直したため（29）共同研究費は大学全体 図書費には電子ｼﾞｬｰﾅﾙ・ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽの整備費（運用ｺｽﾄ含む）を含む
		教員１人当り研究費等	607千円	578千円	図書購入費	－千円	3,370千円 ~~3,749千円~~	4,320千円 ~~4,449千円~~	
		共同研究費等	60,000千円	60,000千円	設備購入費	52,238千円 ~~100,000千円~~	50,000千円	50,000千円	

学生１人当り納付金	第１年次	第２年次	第３年次	第４年次	第５年次	第６年次
	1,700千円	1,400千円	1,400千円	1,400千円	－千円	－千円

学生納付金以外の維持方法の概要	私立大学等経常費補助金、手数料収入　等

（注）・　設置時の計画を、申請書の様式第２号（その１の１）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（１）校地等」及び「（２）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はＡＣ対象学部等の数値を記入してください。）

・　運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。

・　「(５)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年５月１日現在の数値を記入してください。

・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（元）」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・　校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。

・　国立大学については「（８）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

４．既設大学等の状況

大学の名称	川崎医療福祉大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度（AC期間の学科のみ）	開設年度	所在地	
	年	人	年次 人	人		倍	年度	年度	年度	
医療福祉学部	4	296	3年次 17	1136	－	0.88	平成29	平成3	－	
医療福祉学科	4	136	3年次 10	564	学士 （医療福祉学）	0.56	－	平成3	岡山県倉敷市松島288番地	
臨床心理学科	4	80	3年次 5	330	学士 （臨床心理学）	0.92	－	平成3	同上	
子ども医療福祉学科	4	80	3年次 2	242	学士 （子ども医療福祉学）	1.04	平成29	平成29	同上	
保健看護学科	4	－	－	－	学士 （保健看護学）	－	－	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
保健看護学部	4	120	－	120	－	1.08	平成31	平成31	－	
保健看護学科	4	120	－	120	学士 （保健看護学）	1.08	平成31	平成31	同上	
リハビリテーション学部	4	220	－	220	－	1.05	平成31	平成31	－	
理学療法学科	4	60	－	60	学士 （理学療法学）	1.18	平成31	平成31	同上	
作業療法学科	4	60	－	60	学士 （作業療法学）	1.06	平成31	平成31	同上	
言語聴覚療法学科	4	60	－	60	学士 （言語聴覚療法学）	0.96	平成31	平成31	同上	
視能療法学科	4	40	－	40	学士 （視能療法学）	0.97	平成31	平成31	同上	
医療技術学部	4	330	3年次 6	1172	－	1.10	平成29	平成3	－	
臨床検査学科	4	60	－	180	学士 （臨床検査学）	1.18	平成29	平成29	同上	
診療放射線技術学科	4	60	－	180	学士 （診療放射線技術学）	1.14	平成29	平成29	同上	
臨床工学科	4	80	－	300	学士 （臨床工学）	1.10	－	平成19	同上	定員変更（20）
臨床栄養学科	4	50	3年次 3	206	学士 （臨床栄養学）	1.05	－	平成3	同上	
健康体育学科	4	80	3年次 3	306	学士 （健康体育学）	0.94	－	平成3	同上	定員変更（20）
感覚矯正学科	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	－	平成3	同上	定員変更（30） 平成31年学生募集停止
視能矯正専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	平成29	平成3	同上	定員変更（10） 平成31年学生募集停止
言語聴覚専攻	4	－	－	－	学士 （感覚矯正学）	－	平成29	平成3	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（40） 平成31年学生募集停止
理学療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止
作業療法専攻	4	－	－	－	学士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	－	平成29	平成7	同上	定員変更（20） 平成31年学生募集停止

医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学部	4	220	3年次 9	898	－	0.61	－	平成17	－
医療福祉経営学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療福祉経営学）	0.60	－	平成17	同上
医療情報学科	4	60	3年次 3	246	学士 （医療情報学）	0.61	－	平成17	同上
医療秘書学科	4	60	3年次 2	244	学士 （医療秘書学）	0.66	－	平成17	同上
医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学科	4	40	3年次 2	164	学士 （医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学）	0.54	－	平成17	同上
大学全体	4	1186	32	3546	－	0.92	－	－	－
医療福祉学研究科	－	41	－	89	－	0.60	－	平成8	－
（修士課程）	2	34	－	－	－	0.68	－	平成8	－
（博士後期課程）	3	7	－	－	－	0.42	－	平成10	－
医療福祉学専攻	－	13	－	29	－	0.47	－	平成8	－
修士課程	2	10	－	20	修士 （医療福祉学）	0.45	－	平成8	岡山県倉敷市 松島288番地
博士後期課程	3	3	－	9	博士 （医療福祉学）	0.33	－	平成10	同上
臨床心理学専攻	－	14	－	30	－	0.64	－	平成8	－
修士課程	2	12	－	24	修士 （臨床心理学）	0.99	－	平成8	同上
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （臨床心理学）	0.50	－	平成10	同上
保健看護学専攻	－	14	－	30	－	0.68	－	平成11	－
修士課程	2	12	－	24	修士 （保健看護学）	0.58	－	平成11	同上
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （保健看護学）	0.50	－	平成18	同上
医療技術学研究科	－	42	－	92	－	0.52	－	平成8	－
（修士課程）	2	34	－	－	－	0.27	－	平成8	－
（博士後期課程）	3	8	－	－	－	0.91	－	平成10	－
感覚矯正学専攻	－	10	－	22	－	0.53	－	平成8	－
修士課程	2	8	－	16	修士 （感覚矯正学）	0.31	－	平成8	同上
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （感覚矯正学）	1.16	－	平成10	同上
健康体育学専攻	－	8	－	16	－	0.49	－	平成8	－
修士課程	2	8	－	16	修士 （健康体育学）	0.49	－	平成8	同上
臨床栄養学専攻	－	8	－	16	－	0.18	－	平成8	－
修士課程	2	8	－	16	修士 （臨床栄養学）	0.18	－	平成8	同上
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学専攻	－	8	－	18	－	0.75	－	平成11	－
修士課程	2	6	－	12	修士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	0.16	－	平成11	同上
博士後期課程	3	2	－	6	博士 （ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学）	1.16	－	平成13	同上

健康科学専攻	－	2	－	6	－	1.33	－	平成10	－	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 (健康科学)	1.33	－	平成10	同上	
臨床工学専攻	－	6	－	14	－	0.05	－	平成23	－	
修士課程	2	4	－	8	修士 (臨床工学)	0.12	－	平成23	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 (臨床工学)	0.00	－	平成23	同上	
医療福祉ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ学研究科	－	19	－	40	－	0.47	－	平成21	－	
(修士課程)	2	17	－	－	－	0.49	－	平成21	－	
(博士後期課程)	3	2	－	－	－	0.33	－	平成21	－	
医療福祉経営学専攻	－	3	－	6	－	0.99	－	平成21	－	
修士課程	2	3	－	6	修士 (医療福祉経営学)	0.99	－	平成21	同上	
医療秘書学専攻	－	2	－	4	－	0.75	－	平成21	－	
修士課程	2	2	－	4	修士 (医療秘書学)	0.75	－	平成21	同上	
医療福祉デザイン学専攻	－	4	－	8	－	0.25	－	平成21	－	
修士課程	2	4	－	8	修士 (医療福祉ﾃﾞｻﾞｲﾝ学)	0.25	－	平成21	同上	
医療情報学専攻	－	10	－	22	－	0.40	－	平成21	－	
修士課程	2	8	－	16	修士 (医療情報学)	0.37	－	平成21	同上	
博士後期課程	3	2	－	6	博士 (医療情報学)	0.33	－	平成21	同上	
大学院全体	－	102	－	221	－	0.55	－	－	－	

大学の名称	川崎医科大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
医学部	6	126	－	728	学士 (医学)	1.00	平成27 平成29	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	定員変更（10） 定員変更（6）
医学科	6	126	－	728	学士 (医学)	1.00	平成27 平成29	昭和45	岡山県倉敷市松島577番地	定員変更（10） 定員変更（6）
医学研究科	4	25	－	100	博士 (医学)	0.59	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	
医科学専攻	4	25	－	100	博士 (医学)	0.59	－	昭和51	岡山県倉敷市松島577番地	

大学の名称	川崎医療短期大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
看護科	3	120	－	360	短期大学士 (看護)	1.19	－	昭和48	岡山県倉敷市松島316番地	
放射線技術科	3	－	－	－	短期大学士 (放射線技術)	－	－	昭和52	岡山県倉敷市松島316番地	平成29年度学生募集停止
医療介護福祉科	2	80	－	160	短期大学士 (医療介護福祉)	0.17	－	平成13	岡山県倉敷市松島316番地	

（注）・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学（大学院含む）、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の５月１日現在の状況を記入してください。（専攻科及び別科を除く）。
・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ＡＣ対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き（平成31年度改訂版）」と同じです。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5　教員組織の状況

＜医療技術学部　診療放射線技術学科＞

（1）－① 担当教員表

【認可時又は届出時】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	荒尾　信一 (53) ＜平成31年4月＞ 学位（精神保健学）	放射線画像機器工学Ⅰ 放射線画像機器工学Ⅱ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像検査学 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	荒尾　信一 (51) ＜平成29年4月＞ 学位（精神保健学）	放射線画像機器工学Ⅰ 放射線画像機器工学Ⅱ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験
専	教授	小野（木村）　敦 (55) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ MR画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 診療画像技術学基礎実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	軸屋　和明 (68) ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験
専	教授	田淵　昭彦 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論 MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習 診療画像技術学臨床実習Ⅰ 診療画像技術学臨床実習Ⅱ 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	原内　一 (56) ＜平成29年4月＞ 工学学士	基礎科学演習Ⅱ 情報科学総論 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学 医用画像情報学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【平成２９年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	荒尾　信一 (51) ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	放射線画像機器工学Ⅰ 放射線画像機器工学Ⅱ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像検査学 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	荒尾　信一 (51) ＜平成29年4月＞ 学士（保健衛生学）	放射線画像機器工学Ⅰ 放射線画像機器工学Ⅱ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験
専	教授	小野（木村）　敦 (55) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ MR画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 診療画像技術学基礎実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	軸屋　和明 (68) ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験
専	教授	田淵　昭彦 (51) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論 MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習 診療画像技術学臨床実習Ⅰ 診療画像技術学臨床実習Ⅱ 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	原内　一 (56) ＜平成29年4月＞ 工学学士	基礎科学演習Ⅱ 情報科学総論 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学 医用画像情報学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【平成３０年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	荒尾　信一 (52) ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	放射線画像機器工学Ⅰ 放射線画像機器工学Ⅱ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像検査学 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	荒尾　信一 (52) ＜平成29年4月＞ 学士（保健衛生学）	放射線画像機器工学Ⅰ 放射線画像機器工学Ⅱ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験
専	教授	小野（木村）　敦 (56) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ MR画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 診療画像技術学基礎実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	軸屋　和明 (69) ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験
専	教授	田淵　昭彦 (52) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論 MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習 診療画像技術学臨床実習Ⅰ 診療画像技術学臨床実習Ⅱ 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	原内　一 (57) ＜平成29年4月＞ 工学学士	基礎科学演習Ⅱ 情報科学総論 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学 医用画像情報学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

【令和元年度】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	荒尾　信一 (53) ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	放射線画像機器工学Ⅰ 放射線画像機器工学Ⅱ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像検査学 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医用物理学**
専	教授	小野（木村）　敦 (57) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ MR画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ **診療画像技術学基礎実習** 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医療安全管理学** **放射線機器工学基礎実習**
専	教授	軸屋　和明 (70) ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験
専	教授	田淵　昭彦 (53) ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論 MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習 診療画像技術学臨床実習Ⅰ 診療画像技術学臨床実習Ⅱ 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医療安全管理学**
専	教授	原内　一 (58) ＜平成29年4月＞ 工学学士	基礎科学演習Ⅱ 情報科学総論 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学 医用画像情報学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松本　真 （63） ＜平成29年4月＞ 理学博士	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
専	教授	三村　浩朗 （58） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	核医学検査技術学Ⅱ 核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 核医学検査技術学臨床実習Ⅰ 核医学検査技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	虫明　基 （67） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学 基礎科学実験 医用物理学
専	准教授	天野　貴司 （51） ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像形成学 医用画像解析学Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	天野　貴司 （49） ＜平成29年4月＞ 学士（保健衛生学）	診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像形成学 医用画像解析学Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 医療安全管理学
専	准教授	北山　彰 （60） ＜平成31年4月＞ 文学士	造影検査学総論 放射線画像検査学Ⅰ 放射線画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	北山　彰 （58） ＜平成29年4月＞ 文学士	造影検査学総論 放射線画像検査学Ⅰ 放射線画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松本　真 （63） ＜平成29年4月＞ 理学博士	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
専	教授	三村　浩朗 （57） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	核医学検査技術学Ⅱ 核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 核医学検査技術学臨床実習Ⅰ 核医学検査技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	教授	虫明　基 （67） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学 基礎科学実験 医用物理学
専	准教授	天野　貴司 （49） ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像形成学 医用画像解析学Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	天野　貴司 （49） ＜平成29年4月＞ 学士（保健衛生学）	診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像形成学 医用画像解析学Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 医療安全管理学
専	准教授	北山　彰 （58） ＜平成31年4月＞ 文学士	造影検査学総論 放射線画像検査学Ⅰ 放射線画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	北山　彰 （58） ＜平成29年4月＞ 文学士	造影検査学総論 放射線画像検査学Ⅰ 放射線画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松本　真 （64） ＜平成29年4月＞ 理学博士	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
専	教授	三村　浩朗 （58） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	**核医学検査技術学Ⅱ** 核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 核医学検査技術学臨床実習Ⅰ 核医学検査技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **核医学検査技術学Ⅰ**
専	教授	虫明　基 （68） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学 基礎科学実験 医用物理学
専	准教授	天野　貴司 （50） ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像形成学 医用画像解析学Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	天野　貴司 （50） ＜平成29年4月＞ 学士（保健衛生学）	診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像形成学 医用画像解析学Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 医療安全管理学
専	准教授	北山　彰 （59） ＜平成31年4月＞ 文学士	造影検査学総論 放射線画像検査学Ⅰ 放射線画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	北山　彰 （59） ＜平成29年4月＞ 文学士	造影検査学総論 放射線画像検査学Ⅰ 放射線画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	松本　真 （65） ＜平成29年4月＞ 理学博士	解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
専	教授	三村　浩朗 （59） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	**核医学検査技術学Ⅲ** 核医学検査技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 核医学検査技術学臨床実習Ⅰ 核医学検査技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **核医学検査技術学Ⅰ** **核医学検査技術学Ⅱ** **核医学概論** **診療画像検査学**
専	教授	虫明　基 （69） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	数学 物理学 基礎科学実験 **医用物理学**
専	准教授	天野　貴司 （51） ＜平成31年4月＞ 学士（保健衛生学）	診療画像技術学実験Ⅰ 医用画像形成学 医用画像解析学Ⅰ 医用画像解析学Ⅱ 医用画像解析学実験 医用画像情報学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	北山　彰 （60） ＜平成31年4月＞ 文学士	造影検査学総論 放射線画像検査学Ⅰ 放射線画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	五反田　龍宏 (36) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	放射線計測学Ⅱ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	紺野　勝信 (64) ＜平成29年4月＞ 博士（医療工学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	高山　綾 (47) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	チーム医療総論 医用電気電子工学実験 医療安全管理学
専	准教授	竹井　泰孝 (49) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学実験 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学 放射線安全管理学実験 放射線安全管理学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	成廣　直正 (56) ＜平成30年4月＞ 保健学修士	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ 放射線治療技術学Ⅰ 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	成廣　直正 (55) ＜平成29年4月＞ 保健学修士	基礎科学実験
専	准教授	福見　敦 (44) ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 医用電気電子工学実験 放射線物理学Ⅰ 放射線物理学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	五反田　龍宏 (36) ＜平成29年4月＞ 博士(保健学)	放射線計測学Ⅱ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	紺野　勝信 (64) ＜平成29年4月＞ 博士（医療工学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	高山　綾 (47) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	チーム医療総論 医用電気電子工学実験 医療安全管理学
専	准教授	竹井　泰孝 (49) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	基礎科学実験 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学 放射線安全管理学実験 放射線安全管理学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	成廣　直正 (55) ＜平成30年4月＞ 保健学修士	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ 放射線治療技術学Ⅰ 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	成廣　直正 (55) ＜平成29年4月＞ 保健学修士	基礎科学実験
専	准教授	福見　敦 (44) ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 医用電気電子工学実験 放射線物理学Ⅰ 放射線物理学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	五反田　龍宏 (37) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	放射線計測学Ⅱ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	紺野　勝信 (65) ＜平成29年4月＞ 博士（医療工学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	高山　綾 (48) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	チーム医療総論 医用電気電子工学実験 医療安全管理学
専	准教授	竹井　泰孝 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	基礎科学実験 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学 放射線安全管理学実験 放射線安全管理学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	成廣　直正 (56) ＜平成30年4月＞ 保健学修士	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ 放射線治療技術学Ⅰ 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	福見　敦 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 医用電気電子工学実験 放射線物理学Ⅰ 放射線物理学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	五反田　龍宏 (38) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	放射線計測学Ⅱ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅰ 診療画像技術学実験Ⅰ 診療画像技術学詳論Ⅱ **診療画像技術学基礎実習** 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **放射線機器工学基礎実習**
専	准教授	紺野　勝信 (66) ＜平成29年4月＞ 博士（医療工学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 放射化学Ⅰ 放射化学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼担	准教授	高山　綾 (49) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	チーム医療総論 **医用電気電子工学実験** 医療安全管理学
専	准教授	竹井　泰孝 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（保健学）	基礎科学実験 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学 放射線安全管理学実験 放射線安全管理学詳論 医療安全管理学 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	成廣　直正 (57) ＜平成30年4月＞ 保健学修士	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ 放射線科学実験 放射線科学演習Ⅰ 放射線治療技術学Ⅰ 放射線治療技術学Ⅱ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医療安全管理学**
専	准教授	福見　敦 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	基礎科学演習Ⅰ 基礎科学実験 医用電気電子工学実験 放射線物理学Ⅰ 放射線物理学Ⅱ 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 放射線科学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **放射線科学実験**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	柳元　真一 （61） ＜平成29年4月＞ 短期大学	医学概論 診療画像検査学 核医学概論 核医学検査技術学Ⅰ 核医学検査技術学詳論 放射線安全管理学実験 医療安全管理学 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	矢納　陽 （43） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	基礎科学演習Ⅱ 基礎科学実験 医用電気電子工学Ⅰ 医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験 情報科学総論 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	林　明子 （51） ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 超音波画像検査学 診療画像技術学実験Ⅱ 放射線関係法規 放射線安全管理学詳論 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	林　明子 （50） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	超音波画像検査学 診療画像技術学実験Ⅱ 放射線関係法規
専	講師	松田　英治 （60） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	造影検査学総論 放射線造影検査学Ⅰ 放射線造影検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 医療安全管理学 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	山田　誠一 （53） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	放射線治療技術学Ⅲ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 放射線治療技術学臨床実習Ⅰ 放射線治療技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	柳元　真一 （61） ＜平成29年4月＞ 短期大学	医学概論 診療画像検査学 核医学概論 核医学検査技術学Ⅰ 核医学検査技術学詳論 放射線安全管理学実験 医療安全管理学 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	准教授	矢納　陽 （43） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	基礎科学演習Ⅱ 基礎科学実験 医用電気電子工学Ⅰ 医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験 情報科学総論 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	林　明子 （49） ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 超音波画像検査学 診療画像技術学実験Ⅱ 放射線関係法規 放射線安全管理学詳論 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	林　明子 （49） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	超音波画像検査学 診療画像技術学実験Ⅱ 放射線関係法規
専	講師	松田　英治 （59） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	造影検査学総論 放射線造影検査学Ⅰ 放射線造影検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 医療安全管理学 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	山田　誠一 （52） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	放射線治療技術学Ⅲ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 放射線治療技術学臨床実習Ⅰ 放射線治療技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	柳元　真一 （62） ＜平成29年4月＞ 短期大学	医学概論 診療画像検査学 核医学概論 **核医学検査技術学Ⅰ** 核医学検査技術学詳論 放射線安全管理学実験 医療安全管理学 診療放射線技術学演習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **核医学検査技術学Ⅱ**
専	准教授	矢納　陽 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	基礎科学演習Ⅱ 基礎科学実験 医用電気電子工学Ⅰ 医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験 情報科学総論 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	林　明子 （50） ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 超音波画像検査学 診療画像技術学実験Ⅱ 放射線関係法規 放射線安全管理学詳論 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	林　明子 （50） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	超音波画像検査学 診療画像技術学実験Ⅱ 放射線関係法規
専	**准教授**	松田　英治 （60） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	造影検査学総論 放射線造影検査学Ⅰ 放射線造影検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 医療安全管理学 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	山田　誠一 （53） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	放射線治療技術学Ⅲ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 放射線治療技術学臨床実習Ⅰ 放射線治療技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医用画像解析学実験**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	准教授	矢納　陽 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（工学）	基礎科学演習Ⅱ 基礎科学実験 医用電気電子工学Ⅰ 医用電気電子工学Ⅱ 医用電気電子工学実験 情報科学総論 放射線科学演習Ⅱ 診療放射線技術学演習Ⅳ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
専	講師	林　明子 （51） ＜平成31年4月＞ 修士（学術）	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 超音波画像検査学 診療画像技術学実験Ⅱ 放射線関係法規 放射線安全管理学詳論 診療画像技術学基礎実習 診療放射線技術学演習Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅲ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **核医学概論** **核医学検査技術学Ⅲ**
専	**准教授**	松田　英治 （61） ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	造影検査学総論 放射線造影検査学Ⅰ 放射線造影検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅱ 診療画像技術学詳論Ⅱ 医用画像解析学実験 医療安全管理学 診療放射線技術学実習総論 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医学概論**
専	講師	山田　誠一 （54） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	放射線治療技術学Ⅲ 放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習 放射線治療技術学臨床実習Ⅰ 放射線治療技術学臨床実習Ⅱ 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医用画像解析学実験** **放射線科学実験**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	荒尾　圭子 (31) ＜平成30年4月＞ 学士（保健衛生学）	造影検査学総論 基礎科学実験 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼任	講師	荒尾　圭子 (30) ＜平成29年4月＞ 学士（保健衛生学）	基礎科学実験
専	助教	五反田　留見 (45) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学実験 診療画像技術学基礎実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼担	教授	飯田　淳子 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学
兼担	教授	柏原　洋子 (59) ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	教授	姜　波 (58) ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解
兼担	教授	田口　豊郁 (63) ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	種村　純 (64) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	荒尾　圭子 (30) ＜平成30年4月＞ 学士（保健衛生学）	造影検査学総論 基礎科学実験 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **放射線生物学**
兼任	講師	荒尾　圭子 (30) ＜平成29年4月＞ 学士（保健衛生学）	基礎科学実験 **放射線生物学**
専	助教	五反田　留見 (45) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学実験 診療画像技術学基礎実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼担	教授	飯田　淳子 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学
兼担	教授	柏原　洋子 (59) ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修）
兼担	教授	姜　波 (58) ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解
兼担	教授	田口　豊郁 (63) ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	種村　純 (64) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	荒尾　圭子 (31) ＜平成30年4月＞ 学士（保健衛生学）	造影検査学総論 基礎科学実験 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **放射線生物学**
専	助教	五反田　留見 (46) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学実験 診療画像技術学基礎実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ
兼担	教授	飯田　淳子 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学 **異文化理解（海外研修）**
兼担	教授	柏原　洋子 (60) ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） **実践英会話** **英語インテンシブリーディング**
兼担	教授	姜　波 (59) ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解 **初修外国語**
兼担	教授	田口　豊郁 (64) ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	種村　純 (65) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
専	助教	荒尾　圭子 (32) ＜平成30年4月＞ 学士（保健衛生学）	造影検査学総論 基礎科学実験 放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用 診療画像技術学実験Ⅱ 医用画像解析学実験 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **放射線生物学** **放射線機器工学基礎実習** **診療画像技術学基礎実習**
専	助教	五反田　留見 (47) ＜平成29年4月＞ 修士（保健学）	基礎科学実験 放射線計測学Ⅰ Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 診療画像技術学実験Ⅰ 放射線安全管理学実験 診療画像技術学基礎実習 卒業研究Ⅰ 卒業研究Ⅱ 卒業研究Ⅲ **医用物理学**
専	**助教**	**今泉　大将** **(29)** **＜平成31年4月＞** **修士（保健学）**	**医学用語** **基礎科学実験** **放射線科学実験** **医用物理学**
兼担	教授	飯田　淳子 (47) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	人類学 **異文化理解（海外研修）**
兼担	教授	柏原　洋子 (61) ＜平成29年4月＞ 修士（文学）	基礎英語Ⅰ 基礎英語Ⅱ 英会話（海外研修） **実践英会話** **英語インテンシブリーディング**
兼担	教授	姜　波 (60) ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	異文化理解 **初修外国語**
兼担	教授	田口　豊郁 (65) ＜平成29年4月＞ 医学博士	生活環境論
兼担	教授	種村　純 (66) ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	医療と福祉 医療福祉学概論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	林　明弘 （58） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼担	教授	平井　敏弘 （66） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	福岡　欣治 （48） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （67） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	矢野　博己 （51） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （64） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	准教授	田中　順子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （50） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	山内　泰子 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	林　明弘 （58） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼担	教授	平井　敏弘 （66） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	福岡　欣治 （48） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （67） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	矢野　博己 （51） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （64） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	准教授	田中　順子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （50） ＜平成29年4月＞ 修士（社会学）	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （44） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	山内　泰子 （56） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	林　明弘 （59） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼担	教授	平井　敏弘 （67） ＜平成29年4月＞ 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	福岡　欣治 （49） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （68） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	矢野　博己 （52） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （65） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	准教授	田中　順子 （59） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （51） ＜平成29年4月＞ **博士（社会学）**	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （45） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	准教授	山内　泰子 （57） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	林　明弘 （60） ＜平成29年4月＞ 文学修士	哲学
兼任	**講師**	平井　敏弘 （68） **＜平成31年4月＞** 医学博士	入門医学概論
兼担	教授	福岡　欣治 （50） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	心理学
兼担	教授	保野　孝弘 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（心理学）	睡眠学
兼担	教授	益田　芳樹 （69） ＜平成29年4月＞ 学士（理学）	生物学
兼担	教授	矢野　博己 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	健康体育実技（フィットネス系） 健康科学論
兼担	教授	吉岡　リサ （66） ＜平成29年4月＞ 比較文化修士	英会話 英語リーディング
兼担	准教授	田中　順子 （60） ＜平成29年4月＞ 博士（学術）	健康と音楽
兼担	准教授	田並　尚恵 （52） ＜平成29年4月＞ **博士（社会学）**	社会学
兼担	准教授	福島　康弘 （46） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	ボランティア入門
兼担	**教授**	山内　泰子 （58） ＜平成29年4月＞ 博士（薬学）	生命倫理学 生命科学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	伊藤　智崇 (44) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論
兼担	講師	植松　章子 (44) ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	小池　大介 (42) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	朱　容仁 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（健康医療学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	谷川　智宏 (43) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	西脇　藍 (40) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史
兼担	講師	根来　麻子 (36) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現
兼担	講師	秦　久美子 (57) ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	平田（森）　智子 (35) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山下　力 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	診療画像検査学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	伊藤　智崇 (41) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論
兼担	講師	植松　章子 (44) ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	小池　大介 (42) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	朱　容仁 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	谷川　智宏 (43) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	西脇　藍 (40) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史
兼担	講師	根来　麻子 (36) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現
兼担	講師	秦　久美子 (57) ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	平田（森）　智子 (35) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	講師	山下　力 (39) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	診療画像検査学
兼担	**教授**	**佐藤　修平 (56) ＜平成29年4月＞ 医学博士**	**医学概論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	伊藤　智崇 (42) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論
兼担	講師	植松　章子 (45) ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	小池　大介 (43) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	朱　容仁 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	谷川　智宏 (44) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	西脇　藍 (41) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史 **和の伝統文化**
兼担	講師	根来　麻子 (37) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	文章表現 **日本語リテラシー**
兼担	講師	秦　久美子 (58) ＜平成29年4月＞ 修士（看護学）	ヒューマンセクシャリティー論
兼担	講師	平田（森）　智子 (36) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメント学）	経済学
兼担	**准教授**	山下　力 (40) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	診療画像検査学
兼担	**教授**	**佐藤　修平 (57) ＜平成30年4月＞ 医学博士**	**医学概論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	講師	伊藤　智崇 (43) ＜令和2年4月＞ 博士（保健学）	チーム医療総論
兼担	講師	植松　章子 (46) ＜平成29年4月＞ 修士（医療情報学）	コンピュータ基礎演習
兼担	講師	小池　大介 (44) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	コンピュータ活用演習
兼担	講師	朱　容仁 (47) ＜平成29年4月＞ 博士（健康科学）	健康体育基礎理論 健康体育基礎演習 健康体育実技（スポーツ系） 健康体育実技（レクリエーション系）
兼担	講師	谷川　智宏 (45) ＜平成29年4月＞ 博士（医療情報学）	情報学概論
兼担	講師	西脇　藍 (42) ＜平成29年4月＞ 博士（文学）	医療福祉の歴史 **和の伝統文化**
兼担	講師	平田（森）　智子 (37) ＜平成29年4月＞ 修士（医療福祉マネジメン学）	経済学
兼担	**准教授**	山下　力 (41) ＜平成31年4月＞ 博士（感覚矯正学）	診療画像検査学
兼担	**教授**	**佐藤　修平 (58) ＜平成30年4月＞ 医学博士**	**医学概論 画像解剖学演習**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	阿部　利則 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	阿部　俊憲 （36） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	池長　弘幸 （53） ＜平成30年4月＞ 短期大学	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	阿部　利則 （63） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	阿部　俊憲 （34） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	池長　弘幸 （52） ＜平成30年4月＞ 短期大学	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼担	教授	鈴木　幸一郎 （69） ＜平成30年4月＞ 医学博士	医療安全管理学
兼担	教授	竹田　恵子 （56） ＜平成30年4月＞ 博士（保健学）	看護学概論
兼担	講師	小薮　智子 （39） ＜平成30年4月＞ 修士（保健看護学）	看護学概論
兼担	講師	白岩　千恵子 （39） ＜平成30年4月＞ 修士（保健看護学）	看護学概論
兼任	講師	阿部　利則 （64） ＜平成29年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼任	講師	阿部　俊憲 （35） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	池長　弘幸 （53） ＜平成30年4月＞ 短期大学	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	鈴木　幸一郎 （70） ＜平成31年4月＞ 医学博士	医療安全管理学
兼担	准教授	谷野　宏美 （44） ＜平成31年4月＞ 博士（保健看護学）	ヒューマンセクシャリティ-論
兼担	准教授	石本　恭子 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（社会健康医学）	看護学概論
兼担	教授	橋本　勇人 （59） ＜平成31年4月＞ 博士（医療福祉学）	日本国憲法
兼担	助教	兵藤　史武 （34） ＜平成31年4月＞ 博士（理学）	統計学
兼担	准教授	北澤　正志 （58） ＜平成31年4月＞ 文学士	文章表現
兼担	准教授	橋本　美香 （52） ＜平成31年4月＞ 博士（文学）	日本語リテラシー
兼任	講師	阿部　俊憲 （36） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習 核医学検査技術学Ⅱ
兼任	講師	池長　弘幸 （54） ＜平成30年4月＞ 短期大学	Ｘ線CT画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	池原　麗子 (45) ＜平成30年4月＞ 学士（次世代教育学）	看護学概論
兼任	講師	石川　哲也 (46) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	板谷　道信 (64) ＜平成29年4月＞ 修士（工学）	医学用語 基礎科学実験 医用電気電子工学実験
兼任	講師	伊東　克能 (55) ＜平成29年4月＞ 医学博士	チーム医療総論 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅲ
兼任	講師	犬伏　正幸 (49) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	医学概論 基礎医学大要演習 核医学概論 核医学検査技術学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ
兼任	講師	井上　千穂 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	医療安全管理学
兼任	講師	大江　信幸 (57) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	大屋　まり子 (47) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	看護学概論
兼任	講師	岡田　みどり (54) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療総論
兼任	講師	角場　幸記 (49) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験
兼任	講師	片瀬　直樹 (37) ＜平成29年4月＞	生化学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	池原　麗子 (44) ＜平成30年4月＞ 学士（次世代教育学）	看護学概論
兼任	講師	石川　哲也 (44) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	板谷　道信 (64) ＜平成29年4月＞ 修士(工学)	医学用語 基礎科学実験 医用電気電子工学実験
兼任	講師	伊東　克能 (55) ＜平成29年4月＞ 医学博士	チーム医療総論 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ 診療放射線技術学演習Ⅲ
兼任	講師	犬伏　正幸 (49) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	医学概論 基礎医学大要演習 核医学概論 核医学検査技術学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ
兼任	講師	井上　千穂 (34) ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	医療安全管理学
兼任	講師	大江　信幸 (55) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	大屋　まり子 (46) ＜平成30年4月＞ 修士（看護学）	看護学概論
兼任	講師	岡田　みどり (51) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療総論
兼任	講師	角場　幸記 (47) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	石川　哲也 (45) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	板谷　道信 (65) ＜平成29年4月＞ 修士（工学）	医学用語 基礎科学実験 医用電気電子工学実験
兼任	講師	犬伏　正幸 (50) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	医学概論 **核医学概論** 基礎医学大要演習 核医学検査技術学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ
兼任	講師	井上　千穂 (35) ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	医療安全管理学
兼任	講師	大江　信幸 (56) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	岡田　みどり (52) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療総論
兼任	講師	角場　幸記 (48) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線治療技術学詳論 放射線安全管理学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	板谷　道信 (66) ＜平成29年4月＞ 修士（工学）	**医学用語** 基礎科学実験 医用電気電子工学実験
兼任	講師	犬伏　正幸 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	**医学概論** **核医学概論** 基礎医学大要演習 核医学検査技術学詳論 診療放射線技術学演習Ⅲ
兼任	講師	井上　千穂 (36) ＜平成30年4月＞ 修士（学術）	医療安全管理学
兼任	講師	岡田　みどり (53) ＜令和2年4月＞ 修士（看護学）	チーム医療総論
兼任	講師	角場　幸記 (49) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線治療技術学詳論 **放射線安全管理学実験**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	神谷　伸彦 （36） ＜平成30年4月＞ 学士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	甲谷　理温 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（生命ｼｽﾃﾑ科学）	核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学詳論
兼任	講師	神吉　昭彦 （41） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	河口　豊 （58） ＜令和2年4月＞ 修士（学術）	チーム医療総論
兼任	講師	小島　健次 （61） ＜平成30年4月＞ 学士（経済学）	超音波画像検査学
兼任	講師	小林　博久 （57） ＜平成30年4月＞ 短期大学	病理学総論
兼任	講師	古牧　伸介 （45） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	佐藤　朋宏 （41） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	佐内　弘恭 （41） ＜平成31年4月＞ 学士（教養）	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	鈴木　智子 （49） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	高橋　美由紀 （53） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	神谷　伸彦 （35） ＜平成30年4月＞ 学士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	甲谷　理温 （45） ＜平成31年4月＞ 博士（生命ｼｽﾃﾑ科学）	核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学詳論
兼任	講師	神吉　昭彦 （39） ＜平成31年4月＞ 博士（医学）	画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	河口　豊 （55） ＜令和2年4月＞ 修士（学術）	チーム医療総論
兼任	講師	小島　健次 （60） ＜平成30年4月＞ 学士（経済学）	超音波画像検査学
兼任	講師	小林　博久 （56） ＜平成30年4月＞ 短期大学	病理学総論
兼任	講師	古牧　伸介 （43） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	佐藤　朋宏 （38） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	佐内　弘恭 （39） ＜平成31年4月＞ 学士（教養）	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	鈴木　智子 （47） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	高橋　美由紀 （51） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	神谷　伸彦 （36） ＜平成30年4月＞ 学士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	甲谷　理温 （46） ＜平成31年4月＞ 博士（生命ｼｽﾃﾑ科学）	核医学検査技術学Ⅲ 核医学検査技術学詳論
兼任	講師	神吉　昭彦 （40） **＜平成30年4月＞** 博士（医学）	画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ **臨床医学概論Ⅰ** **臨床医学概論Ⅱ** **画像診断学概論**
兼任	講師	河口　豊 （56） ＜令和2年4月＞ 修士（学術）	チーム医療総論
兼任	講師	小島　健次 （61） ＜平成30年4月＞ 学士（経済学）	超音波画像検査学
兼任	講師	小林　博久 （57） ＜平成30年4月＞ 短期大学	病理学総論
兼任	講師	古牧　伸介 （44） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	佐藤　朋宏 （39） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	佐内　弘恭 （40） ＜平成31年4月＞ 学士（教養）	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	鈴木　智子 （48） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	高橋　美由紀 （52） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	神谷　伸彦 （37） ＜平成30年4月＞ 学士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	甲谷　理温 （47） ＜平成31年4月＞ 博士（生命ｼｽﾃﾑ科学）	**核医学検査技術学Ⅲ** 核医学検査技術学詳論
兼任	講師	神吉　昭彦 （41） **＜平成30年4月＞** 博士（医学）	**画像解剖学演習** 診療画像技術学詳論Ⅰ **臨床医学概論Ⅰ** **臨床医学概論Ⅱ** **画像診断学概論**
		河口　豊 （57） ＜令和2年4月＞ 修士（学術）	チーム医療総論
兼任	講師	小林　博久 （58） ＜平成30年4月＞ 短期大学	病理学総論
兼任	講師	佐藤　朋宏 （40） ＜令和2年4月＞ 博士（医学）	診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	高橋　美由紀 （53） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹内　省吾 （36） ＜平成31年4月＞ 学士（医学）	画像解剖学演習
兼任	講師	谷　忠司 （44） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	谷本　大吾 （40） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	谷本　泰正 （64） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	玉田　勉 （49） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論
兼任	講師	津島　義正 （64） ＜平成30年4月＞ 医学博士	医療安全管理学
兼任	講師	寺尾　香里 （40） ＜平成30年4月＞ 修士（公衆衛生学）	造影検査学総論
兼任	講師	釋舎　竜司 （51） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	鳥越　晃之 （36） ＜平成30年4月＞ 学士（医学）	臨床医学概論Ⅰ
兼任	講師	長瀬　尚巳 （58） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	放射線治療技術学Ⅱ
兼任	講師	名木田　恵理子 （65） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学用語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹内　省吾 （34） ＜平成31年4月＞ 学士（医学）	画像解剖学演習
兼任	講師	谷　忠司 （42） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	谷本　大吾 （39） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	谷本　泰正 （64） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	玉田　勉 （48） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論
兼任	講師	津島　義正 （63） ＜平成30年4月＞ 医学博士	医療安全管理学
兼任	講師	寺尾　香里 （39） ＜平成30年4月＞ 修士（公衆衛生学）	造影検査学総論
兼任	講師	釋舎　竜司 （50） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	鳥越　晃之 （35） ＜平成30年4月＞ 学士(医学)	臨床医学概論Ⅰ
兼任	講師	長瀬　尚巳 （57） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	放射線治療技術学Ⅱ
兼任	講師	名木田　恵理子 （64） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学用語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	竹内　省吾 （35） ＜平成31年4月＞ 学士（医学）	画像解剖学演習
兼任	講師	谷　忠司 （43） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	谷本　大吾 （40） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼担	**准教授**	谷本　泰正 （65） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	玉田　勉 （49） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論 **臨床医学概論Ⅰ** **臨床医学概論Ⅱ**
兼任	講師	釋舎　竜司 （51） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	長瀬　尚巳 （58） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	放射線治療技術学Ⅱ
兼任	講師	名木田　恵理子 （65） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学用語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		谷本　大吾 （41） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 画像診断学概論 **画像解剖学演習** 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼担	**准教授**	谷本　泰正 （66） ＜平成29年4月＞ 理学修士	化学
兼任	講師	玉田　勉 （50） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論 **臨床医学概論Ⅰ** **臨床医学概論Ⅱ**
兼任	講師	釋舎　竜司 （52） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	放射線腫瘍学概論
兼任	講師	長瀬　尚巳 （59） ＜平成30年4月＞ 学士（社会学）	放射線治療技術学Ⅱ
兼任	講師	名木田　恵理子 （66） ＜平成30年4月＞ 修士（認知科学）	医学用語

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西浦　公 （68） ＜平成29年4月＞ 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	西松　伸一郎 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（農学）	生化学
兼任	講師	西山　征孝 （31） ＜平成31年4月＞ 短期大学士（放射線技術）	放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	野田　靖文 （38） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅱ
兼任	講師	林　由佳子 （48） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	林田　稔 （43） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論
兼任	講師	樋口　真樹子 （43） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	人見　剛 （57） ＜平成31年4月＞ 学士（社会福祉学）	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	兵藤　文則 （71） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	平井　紀之 （62） ＜平成30年4月＞ 短期大学	超音波画像検査学
兼任	講師	平塚　純一 （62） ＜平成29年4月＞ 医学博士	放射線生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西浦　公 （68） ＜平成29年4月＞ 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	西松　伸一郎 （53） ＜平成29年4月＞ 博士（農学）	生化学
兼任	講師	西山　征孝 （29） ＜平成31年4月＞ 短期大学士（放射線技術）	放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	野田　靖文 （37） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅱ
兼任	講師	林　由佳子 （46） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	林田　稔 （42） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論
兼任	講師	樋口　真樹子 （41） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	人見　剛 （55） ＜平成31年4月＞ 学士（社会福祉学）	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	兵藤　文則 （69） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	平井　紀之 （61） ＜平成30年4月＞ 短期大学	超音波画像検査学
兼任	講師	平塚　純一 （62） ＜平成29年4月＞ 医学博士	放射線生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西浦　公 （69） ＜平成29年4月＞ 法学修士	日本国憲法
兼任	講師	西松　伸一郎 （54） ＜平成29年4月＞ 博士（農学）	生化学
兼任	講師	西山　征孝 （30） ＜平成31年4月＞ 短期大学士（放射線技術）	放射線安全管理学実験 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	林　由佳子 （47） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	林田　稔 （43） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論 **臨床医学概論Ⅰ** **臨床医学概論Ⅱ**
兼任	講師	樋口　真樹子 （42） ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	人見　剛 （56） ＜平成31年4月＞ 学士（社会福祉学）	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	兵藤　文則 （70） ＜平成31年4月＞ 医学博士	公衆衛生学
兼任	講師	平井　紀之 （62） ＜平成30年4月＞ 短期大学	超音波画像検査学
兼任	講師	平塚　純一 （63） ＜平成29年4月＞ 医学博士	放射線生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西松　伸一郎 （55） ＜平成29年4月＞ 博士（農学）	生化学
兼任	講師	林田　稔 （44） ＜平成30年4月＞ 博士（医学）	画像診断学概論 **臨床医学概論Ⅰ** **臨床医学概論Ⅱ**
兼任	講師	平井　紀之 （63） ＜平成30年4月＞ 短期大学	超音波画像検査学
兼任	講師	平塚　純一 （64） ＜平成29年4月＞ 医学博士	放射線生物学

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤井　隼人 (41) ＜平成31年4月＞	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	藤井　政明 (42) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	水野　朱里 (38) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	三村　あけみ (59) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験
兼任	講師	村中　明 (69) ＜平成31年4月＞ 医学博士	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用
兼任	講師	山本　亮 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 造影検査学総論 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	吉田　耕治 (50) ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	余田　栄作 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	放射線生物学 放射線科学演習Ⅱ 放射線腫瘍学概論 放射線治療技術学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤井　隼人 (39) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	藤井　政明 (40) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	水野　朱里 (36) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	三村　あけみ (57) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験
兼任	講師	村中　明 (67) ＜平成31年4月＞ 医学博士	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用
兼任	講師	山本　亮 (46) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 造影検査学総論 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	吉田　耕治 (49) ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	余田　栄作 (51) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	放射線生物学 放射線科学演習Ⅱ 放射線腫瘍学概論 放射線治療技術学詳論

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	藤井　隼人 (40) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	藤井　政明 (41) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	水野　朱里 (37) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	三村　あけみ (58) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験
兼任	講師	村中　明 (68) ＜平成31年4月＞ 医学博士	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用
兼任	講師	山本　亮 (47) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 造影検査学総論 画像診断学概論 画像解剖学演習 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	吉田　耕治 (50) ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	MR画像検査学Ⅱ 放射線機器工学基礎実習
兼任	講師	余田　栄作 (51) ＜平成29年4月＞ （博士（医学）	放射線生物学 放射線科学演習Ⅱ 放射線腫瘍学概論 放射線治療技術学詳論
兼任	**講師**	**井上　博和 (60) ＜平成30年4月＞ 短期大学**	**医用電気電子工学実験**
兼任	**講師**	**掛屋　純子 (44) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）**	**造影検査学総論**
兼任	**講師**	**曽根　照喜 (59) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）**	**核医学概論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	担当授業科目名
		三村　あけみ (59) ＜平成31年4月＞ 短期大学	放射線科学実験
兼任	講師	村中　明 (69) ＜平成31年4月＞ 医学博士	放射線取扱の基礎 放射線取扱の応用
兼任	講師	山本　亮 (48) ＜平成29年4月＞ 博士（医学）	臨床医学概論Ⅰ 臨床医学概論Ⅱ 造影検査学総論 画像診断学概論 **画像解剖学演習** 診療画像技術学詳論Ⅰ
兼任	講師	吉田　耕治 (51) ＜平成30年4月＞ 学士（教養）	MR画像検査学Ⅱ **放射線機器工学基礎実習**
兼任	講師	余田　栄作 (52) ＜平成29年4月＞ （博士（医学）	放射線生物学 放射線科学演習Ⅱ 放射線腫瘍学概論 放射線治療技術学詳論
兼任	**講師**	**井上　博和 (61) ＜平成30年4月＞ 短期大学**	**医用電気電子工学実験**
兼任	**講師**	**掛屋　純子 (45) ＜平成30年4月＞ 博士（看護学）**	**造影検査学総論**
兼任	**講師**	**曽根　照喜 (60) ＜平成30年4月＞ 博士（医学）**	**核医学概論**

専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等	専任・兼担・兼任の別	職名	氏　名 （年　齢） ＜就任（予定）年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
									兼任	講師	大槻　剛巳 (62) 〈平成31年4月〉 医学博士
											公衆衛生学
									兼任	講師	西村　泰光 (46) 〈平成31年4月〉 博士（医学）
											公衆衛生学
									兼任	講師	武井　直子 (39) 〈平成31年4月〉 博士（理学）
											公衆衛生学
									兼任	講師	李　順姫 (45) 〈平成31年4月〉 博士（農学）
											公衆衛生学
									兼任	講師	吉留　敬 (45) 〈平成31年4月〉 博士（医学）
											公衆衛生学
									兼任	講師	宮井　將宏 (32) 〈平成31年4月〉 修士(保健学)
											核医学検査技術学Ⅱ

（注）・　報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
・　認可申請書又は設置届出書の様式第３号（その２の１）に準じて作成してください。
・「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て（兼任，兼担教員を含む。）を黒字で記入してください。
その上で，**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
・　各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
・　年齢は，**それぞれの年度の５月１日時点の満年齢**を記入してください。
・　専任（専門職大学等は専、実専、実（研）、実み）、兼担、兼任の順に記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除し、詰めてください。

（１）－②担当教員表に関する変更内容

【平成２９年度】

・実習演習内容充実のため、佐藤修平（兼担教員）の就任。
・所属施設退職のため、片瀬直樹（兼任教員）の就任辞退。

【平成３０年度】

・学科内教育体制充実のため、平成30年4月、松田英治（専任教員）が准教授へ昇任。
・教員間の科目分担変更のため、平成30年4月、鈴木幸一郎、竹田恵子、小藪智子、白岩千恵子が兼担教員で就任。
・教育内容充実のため、平成30年4月、井上博和、掛屋純子、曽根照喜が兼任教員で就任。
・家庭の事情により、伊藤克能（兼任教員）が辞任。
・教員間の科目分担変更のため、大屋まり子（兼任教員）、津島義正（兼任教員）、寺尾香里（兼任教員）、鳥越晃之（兼任教員）、野田靖文（兼任教員）が辞任。
・大学内の教育体制充実のため、谷本泰正（兼任教員）を兼担教員に採用換。

【令和元年度】

・大学内の教育体制変更のため、高山綾（専任教員）が兼担教員に変更。
・健康上の理由により柳元真一（専任教員）が辞任。後任として教員間で科目分担を変更し、今泉大将（専任教員）が就任。
・契約満了に伴い、兼担教員の平井敏弘、鈴木幸一郎が兼任教員に変更。
・教員間の科目分担変更のため、兼担教員の根来麻子、秦久美子、竹田恵子、小藪智子、白岩千恵子、兼任教員の阿部利則、石川哲也、大江信幸、小島健次、古牧伸介、佐内弘恭、鈴木智子、竹内省吾、谷忠司、西浦公、西山征孝、林由佳子、樋口真樹子、人見剛、兵藤文則、藤井隼人、藤井政明、水野朱里が辞任。後任として教員間で科目分担を変更し、兼担教員で谷野宏美、石本恭子、兵藤史武、北澤正志、橋本美香、兼任教員で大槻剛巳、西村泰光、武井直子、李順姫、吉留敬、宮井将宏が就任。

（注）・　変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
・　**認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合**は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、
大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
・　「専任教員採用等変更書（ＡＣ）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
・　不要な年度（平成２９年度開設であれば平成２８年度）の表は適宜削除してください。

（２） 専任教員数等

（２）－①　設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
8 名	4 名

（注）・　大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二条別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

（２）－②　専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（A）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（B）
8	10	3	2	23	8	9	2	3	22
(5)	(7)	(0)	(1)	(13)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教　授	准教授	講　師	助　教	計（C）	教　授	准教授	講　師	助　教	計（D）
8	9	2	3	22	8	10	3	2	23
[0]	[△1]	[△1]	[1]	[△1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

（注）・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（　）内に開設時の状況を記入してください。
・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の５月１日の教員数（実人数）を記入してください。
・**「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）
・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－③　年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員うち、定年を延長して採用する教員数
教授・准教授　65 講師・助教　60 歳	4 名	4 名

（注）・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の５月１日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
［　］内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：１名減の場合：△１）

（２）－④　設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{22}{23} = 95.65\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（２）－⑤　現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{4}{22} = 18.18\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３） 専任教員辞任等の理由

（３）－①　専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
					該 当 な し		

合計（D）				後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
0　人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0 科目
	選択	0	該 当 な し			科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0				科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0 科目

（注）・　認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
・　「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。
就任した後に辞任した教員は、以下「（３）－②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、
「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－②　専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	高山　綾	H31.3	必修	チーム医療総論	②	H31.3.31付、学内教員の配置変更のため辞任（元）
				必修	医用電気電子工学実験	①	
				必修	医療安全管理学	②	
2	准教授	柳元　真一	H31.3	必修	医学概論	①	H31.3.31付、健康上の理由のため辞任（元）
				必修	診療画像検査学	①	
				必修	核医学概論	①	
				必修	核医学検査技術学詳論	①	
				必修	放射線安全管理学実験	①	
				必修	医療安全管理学	①	
				必修	診療放射線技術学演習Ⅱ	①	
				必修	卒業研究Ⅰ	①	
				必修	卒業研究Ⅱ	①	
				必修	卒業研究Ⅲ	①	
				必修	核医学検査技術学Ⅱ	①	

合計（F）				後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2　人	必修	13	科目	必修	11	科目	必修	2	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	13	科目	計	11	科目	計	2	科目	計	0 科目

（注）・　一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」
に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、
「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（３）－③　上記（３）－①　・　（３）－②　の合計

合計（D）＋（F）				後任補充状況の集計（E）＋（G）							
辞任等した教員数	担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）			②の合計数（b）			③の合計数（c）	
2　人	必修	13	科目	必修	11	科目	必修	2	科目	必修	0 科目
	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0 科目
	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0 科目
	計	13	科目	計	11	科目	計	2	科目	計	0 科目

（３）－④　設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{\text{(3)－③合計(D)+(F)}}{\text{(2)－②設置時の計画(A)}} = \frac{2}{23} = \boxed{8.69}\ \%$$

（注）・　小数点以下第３位を切り捨て、小数点以下第２位まで表示されます。

（３）－⑤　定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番　号	職　位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
				該 当 な し		

合計			後任補充状況の集計							
辞任した教員数	担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0　人	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目	必修	0　科目
	選択	該 当 な し	選択	0　科目	選択	0　科目	選択	0　科目
	自由		自由	0　科目	自由	0　科目	自由	0　科目
	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目	計	0　科目

（注）・　**定年により退職した全ての専任教員**についてに記入してください。
・　昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（　）書きで報告年度を記入してください。
・　また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

平成31年3月31付で、専任教員柳元真一が健康上の理由によりやむをえず辞任したが、後任として専任教員（今泉大将）を配置するとともに、科目分担を見直し、他の専任教員で対応している。また、専任教員高山綾については本人および大学内の事情から所属学科を変更せざるを得ず、兼担教員となったが、継続して科目を担当するため学生の履修に不利益な影響を及ぼさないよう配慮を行っている。ただし、届出時の専任教員数について、学生指導の観点からも完成年度には予定通りとするため、准教授を公募するとともに、現在助教の専任教員を講師に昇任していく方針であり、学生の履修等への影響は特にないと考えている。学生に対しては時間割・シラバスなどの変更について広く周知するとともに、年度初めの履修ガイダンス及び保護者会等においても、専任教員の配置並びに授業担当者に関する周知を図っている。

（注）・　上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

６　附帯事項等に対する履行状況等

区　　分	附　帯　事　項　等		履　行　状　況		今後の の実施計画
設　置　時 （28年7月）	医療技術学部リハビリテーション学科理学療法専攻、作業療法専攻の入学定員超過の是正に努めること。	留意事項	１．平成29年度入試では、歩留を考慮しつつより厳密に合格者数の調整を行った結果、理学療法専攻、作業療法専攻ともに入学定員超過率は1.13倍となり、定員超過（1.3倍以上）を是正している。（29）	履行済	
設　置　時 （28年7月）	医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科及び川崎医療短期大学医療介護福祉科の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから、学生確保に努めるとともに、入学定員の見直しについて検討すること。	留意事項	【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．平成29年度入試より３施設（本学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試を開始し、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）において、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。 ２．他校との差別化を図るために、デザイン・情報の価値創造と問題解決ができる人材の養成に特化したカリキュラムに変更し、それを強調した広報活動をよりシステマティックに展開した。 ３．これらにより平成29年度入試における医療福祉デザイン学科及び医療情報学科の入学定員超過率は、それぞれ0.72倍及び0.81倍となり、両学科ともに定員未充足（0.7倍未満）を是正している。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より３施設（本学・川崎医療福祉大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試を開始し、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）において、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大した。 ２．他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成した。 ３．本学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業を実施した。また、アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学医療介護福祉科に期待すること等の調査・情報収集を行った。 ４．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信に努めた。（29）	履行中	【医療福祉マネジメント学部医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉デザイン学科が0.52倍、医療情報学科が0.65倍であり、両学科ともに依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の４つの計画を実行する。 １）３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員の見直しを行う。 ２）医療福祉デザイン学科では将来の職業に繋がる研究会を立ち上げており、これを大きく広報する役割も担った講演会を開催する。 ３）当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等で情報提供することに尽力する。 ４）Webや冊子の両面から広告掲載を充実させ、高校生が多方面から情報を得ることができるように広報活動を充実させる。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しを検討する。 ２．公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映する。 ３．就職先での本学卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できる、より有用な人材を育成する。 ４．学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信を行う。（29）
設　置　時 （28年7月）	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編制の将来構想について着実に実施すること。（子ども医療福祉学科）	改善意見	定年年齢延長の教員の後任については、職階・学位・専門職種等に配慮しながら、原則として本学定年規定内の教員をもって採用していくこと等により順次解消している。また、今後の採用は、原則として若手教員とし、教員組織全体の若返りを図り、課題を解決していく計画である。（29）	履行済	

設置計画履行状況調査時（30年２月）	医療技術学部リハビリテーション学科の入学定員超過の改善に努めること。	改善意見	１．平成30年度入試においても、平成29年度入試と同様に合格者数の調整を厳密に行った結果、理学療法専攻及び作業療法専攻の入学定員超過率はそれぞれ1.13倍及び1.10倍と、定員管理が適正に行われている。それにより、過去４年間の平均入学定員超過率についても、理学療法専攻が1.22倍、作業療法専攻が1.23倍となり、定員超過（1.3倍以上）を是正している。（30）	履行済	
設置計画履行状況 調査時 （30年２月）	同一設置者が設置する既設学部等（医療福祉学部医療福祉学科,医療福祉マネジメント学部医療秘書学科,医療福祉デザイン学科,医療情報学科,川崎医療短期大学医療介護福祉科）の定員充足率の平均が０．７倍未満となっていることから,学生確保に努めるとともに,入学定員の見直しについて検討すること。	改善意見	【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．平成29年度３施設合同入試の結果を踏まえ、平成30年度入試では入試区分別募集人員の見直しを行った。 ２．Webと冊子の両面において、学科情報の広告掲載を充実させた。 ３．医療福祉学科では、社会福祉関連科目の必修化等、専門職養成を強化した。 ４．医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの育成に対応したカリキュラムに変更したことを強調した広報活動を展開した。 ４．医療福祉デザイン学科では、ホスピタルデザイン研究会の講演会・研究報告会を開催するとともに、当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等により積極的に情報提供した。 ５．医療情報学科では、医療情報技師や診療情報管理士として活動している卒業生等の具体例を、高校生、保護者、進路指導教員に周知する機会を積極的に設けた。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より開始した３施設（川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試において、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）で、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大。 ２．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集定員、高校訪問等の見直しの検討。 ３．他校との差別化を図るためにリハビリ等の医療系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成。 ４．川崎医療短期大学医療介護福祉科をより理解してもらうために、高校生、高校の教員などを対象とした公開授業の実施。アンケートを通じて、高校生、高校の教員が本学科に期待すること等の調査・情報収集。 ５．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信。（30）	履行中	【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉学科が0.58倍、医療秘書学科が0.60倍、医療福祉デザイン学科が0.51倍、医療情報学科が0.65倍であり、何れの学科も依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の６つの計画を実行する。 １）入学試験の内容を再検討する。 ２）従来の広報活動を強化するとともに、体験授業等を実施し、各学科に対する認知度の向上を図る。 ３）医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策を強化する。 ４）医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの医療現場への普及と認知度の向上を図る。 ５）医療福祉デザイン学科では、出前講義や模擬授業の機会及び対象校を増やす。 ６）医療情報学科では、医学・医療とICTの知識と技術を有した人材の養成が求められていることを周知する。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．公開授業のアンケートを通じて、得られた情報を分析し本学科の今後の在り方に反映すること。 ２．就職先での本学科卒業生の評価の調査と調査結果をフィードバックすることにより教育内容等をチェックし、地域社会に貢献できるより有用な人材を育成する。 ３．学生の要望に沿ったキャリア教育及びそれにより得られた成果の外部への効果的な発信。 ４．医療に強い本学科の特長を周知させるための広報活動の強化（30）

			【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．Webと冊子の両面において、学科情報の広告掲載を充実させた。 ２．医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策等、専門職養成を強化した。 ３．医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの育成に対応したカリキュラムであることを強調した広報活動を展開した。 ４．医療福祉デザイン学科では、ホスピタルデザイン研究会の講演会・研究報告会を開催するとともに、当該学科で取得可能な専門資格について、高校訪問等により積極的に情報提供した。 ５．医療情報学科では、医療情報技師や診療情報管理士として活動している卒業生等の具体例を、高校生、保護者、進路指導教員に周知する機会を積極的に設けた。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．平成29年度入試より開始した３施設（川崎医療福祉大学・川崎医療短期大学・川崎リハビリテーション学院）合同入試において、専願以外の入試区分（推薦入試後期、一般入試前期・後期）で、３施設全ての学科・専攻で併願を可能とし、学科選択の機会を拡大。 ２．３施設合同入試の結果を踏まえた入試区分別募集人員、高校訪問等の見直しの検討。 ３．他校との差別化を図るために医療系・リハビリテーション系の科目を授業に取り入れ、福祉施設、病院どちらでも活躍できる人材を育成。 ４．川崎医療短期大学医療介護福祉科をより理解してもらうために、中高校生や介護職員などを対象とした公開セミナーを実施。アンケートを通じて、中高校生や介護職員が本学科に期待すること等の調査・情報収集。 ５．卒業生の就職先の幅を広げるために病院を始めとした医療機関にも就職先を確保する努力とその成果の発信。 （元）		【医療福祉学部医療福祉学科、医療福祉マネジメント学部医療秘書学科、医療福祉デザイン学科、医療情報学科】 １．過去４年間の平均入学定員超過率については、医療福祉学科が0.56倍、医療秘書学科が0.66倍、医療福祉デザイン学科が0.54倍、医療情報学科が0.61倍であり、何れの学科も依然として定員未充足（0.7倍未満）を是正できていない。適正な平均入学定員超過率とするために、以下の６つの計画を実行する。 １）入学試験の内容を再検討する。 ２）従来の広報活動を強化するとともに、体験授業等を実施し、各学科に対する認知度の向上を図る。 ３）医療福祉学科では、社会福祉士国家試験の合格率を上昇させるための対策を更に強化する。 ４）医療秘書学科では、クリニカルセクレタリーの医療現場への普及と認知度の向上を図る。 ５）医療福祉デザイン学科では、出前講義や模擬授業の機会及び対象校を増やす。 ６）医療情報学科では、医学・医療とICTの知識と技術を有した人材の養成が求められていることを周知する。 【川崎医療短期大学医療介護福祉科】 １．高校生が参加するイベントであるオープンキャンパスの内容の充実を図り、公開セミナーや体験イベントなどの回数を増やすことにより、介護の仕事を理解してもらい、魅力を感じてもらう機会を増やす。 ２．公開セミナー等のアンケートを通じて得られた情報を分析し、受験者ニーズを掴み、入試の実施やＰＲ活動を行う。また、社会的なニーズの高まりの中で本学科の３つのポリシーを明確にしつつ、本学科卒業生ならではの役割を示す。 ３．高校訪問や高校ガイダンスに専門職員を派遣し、医療に強い本学科の特長となぜ医療に強い介護福祉士が必要であるかについて周知させるための広報活動を展開する。 ４．学生や保護者に十分な理解が得られるよう将来像を明確に示すとともに、本学科の特長を前面に出したキャリア教育を行い、それにより得られた成果（国家試験合格、就職先での活躍等）について外部へ効果的な発信を行う。 （元）

（注）・　「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）　と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・　「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・　該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・　「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7　その他全般的事項

＜医療技術学部　診療放射線技術学科＞

（1） 設置計画変更事項等

設　置　時　の　計　画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

（注）・　1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

（2） 教員の資質の維持向上の方策（ＦＤ・ＳＤ活動含む）

① 実施体制

a　委員会の設置状況

平成16年5月　ＦＤ委員会を設置
平成18年4月　ＦＤ・ＳＤ委員会に名称変更

◆ＦＤ・ＳＤ委員会規程（抜粋）
（趣旨及び設置）
第１条　本学の教育及び管理運営に対する教職員の能力向上を組織的に進めるために必要な事項を審議し、その推進を図るため、ＦＤ（ファカルティ・ディベロップメント）・ＳＤ（スタッフ・ディベロップメント）委員会（以下「委員会」という。）を置く。

（目　的）
第２条　委員会は、次の各号に掲げる事項を審議し、その実施にあたる。
(1) ＦＤ・ＳＤに関する講演会及び研修会等を企画・実施すること。
(2) ＦＤ・ＳＤに関する調査・研究をすること。
(3) ＦＤ・ＳＤに関する情報を収集し、教員に提供すること。
(4) その他ＦＤ・ＳＤに関すること。

（委　員）
第３条　委員会は、学長が指名する者を委員長とし、次に掲げる委員をもって構成する。
(1) 各学部長
(2) 各研究科長
(3) 教務部長
(4) 学生部長
(5) 事務部長
(6) その他学長が指名する者　　若干名
２　委員会は、委員長が招集する。
３　委員会に、副委員長を置くことができる。
４　委員長に事故があるときは、副委員長がその職務を代行する。
５　委員の任期は２年とし、再任を妨げない。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員以外の者の出席）
第４条　委員長が必要と認めるときは、委員会に委員以外の者を出席させ、意見を聞くことができる。
（他の委員会との連携）
第５条　委員会は、他の委員会等と相互に連携し、本学におけるＦＤ・ＳＤの推進活動を補完し合う。
（庶　務）
第６条　委員会に関する庶務は、事務部教務課において担当する。
（その他）
第７条　この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会が別に定める。

b　委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年度　年間7回開催（委員は教員6名、事務職員3名で構成）
平成31年度　年間7回開催（委員は教員8名、事務職員3名で構成）

c　委員会の審議事項等

ＦＤ・ＳＤ研修会について
教員相互の授業参観について
卒業生へのアンケートについて　等

② 実施状況

a　実施内容

・ ＦＤ・ＳＤ研修会
・ 教員相互の授業参観
・ 卒業生へのアンケート
・ 授業研究カンファレンス

b　実施方法

・ＦＤ・ＳＤ研修会

全学の教職員を対象として、主としてＦＤ活動の先駆的に取組んでいる大学・学部や研究組織あるいは大学内での先行学科等の教職員やスタッフを招いて、総括的な話題や具体的な事例等について講演を聴き、自由形式の意見交換を行うことで、授業改善などに役立てている。

その他、ＦＤ・ＳＤ委員会共催による活動として知的財産、利益相反等の研究活動関連、ハラスメント等に関する研修会を行い、業務領域の知見の獲得を目指している。

・教員相互の授業参観

教員相互の授業参観の実態について学期末ごとに全学科の調査を行っている。

また、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業について公開授業を行っている。

・卒業生へのアンケート

学部卒業年次生を対象に、在学中の教育について18項目のアンケートを1月から卒業式までの間に実施している。

・授業研究カンファレンス

教員の教育活動に資する情報を提供し、教育研究を推進する。当初は講演プラス関連発表とし、発表演題が増加した段階で、発表中心とする。

c　開催状況（教員の参加状況含む）

・ＦＤ・ＳＤ研修会

平成16年度から毎年２、３回開催している。

平成29年9月「教員の力量を育成するポートフォリオ評価のあり方」（参加者 210名）

平成30年3月「教育ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ（教育を変える国際基準ﾏﾈｼﾞﾒﾝﾄ手法）」（参加者 237名）

平成30年9月「私立大学等経常費補助金の概要について」「アセスメントポリシーについて」（参加者 321名）

平成30年12月「シラバスの作り方について」（参加者 301名）

平成31年3月「ディープアクティブラーニングとその評価」（参加者 268名）

・教員相互の授業参観

平成18年度から学期ごとに毎年調査を実施しており、平成30年度は春学期に延べ196件、秋学期は延べ301件の授業が参観されている。

・卒業生へのアンケート

平成18年度から毎年実施しており、結果については学科長に周知するとともに、報告書をポータルサイトで公開している。

・授業研究カンファレンス

平成29年度（参加者　73名）

「講義実習レポートに対する提出評価と自動採点のシステム」

「短大でのe-ポートフォリオの利用状況とGoogleドライブのコミュニケーションツールとしての利用」

「医療秘書教育におけるeラーニングの利用 - 学部教育から社会人教育まで - 」

「クリッカーを用いた学生参加型講義への試み」

「必修科目『文章表現』における主体性を引き出す試み」

「生体機能代行装置学実習における透析実習の現状と今後の題」

平成30年度　第1回　（参加者　76名）

「手書きノートアプリMetaMoji Noteを活用した教材提示」

「少人数授業でのアクティブラーニングの試み」

「多様化する学生に対応する実習教育方法について再考する一系統的実習教育の実現に向けた取り組み一」

平成30年度　第2回　（参加者　70名）

「基礎ゼミ、実習概論の改革」

「教育管理システムMoodle活用の試み」

「初年次科目における新聞スクラップ帳を活用したNIEの試み」

d　実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

平成30年度のＦＤ・ＳＤ研修会では、「私立大学等経常費補助金の概要」についての講演を行い、文部科学省が求める大学の経営方針に沿った補助金制度について学んだ。「アセスメントポリシー」についての研修会では、アセスメントポリシーにより学生の学修評価を可視化し、３つのポリシー（アドミッションポリシー・ディプロマポリシー・カリキュラムポリシー）の妥当性の共通認識を図った。

また、「学生の主体的な学修」を目指したより良いシラバスの作成を目標とし、「シラバスの作り方について」の研修会も行った。

他にも、「ディープ・アクティブラーニングとその評価」の研修会を行い、パフォーマンスそのものやパフォーマンスを可能にしているコンピテンス（能力）に焦点を当て、可視化する重要性について学んだ。これからも定期的にＦＤ・ＳＤ研修会を開催し、学生の質の変化に対応した教育の指導・支援ができるよう、組織的な取り組みを継続する予定である。

教員相互の授業参観についても、授業評価アンケートの結果、学生の満足度が高い授業のねらいなどを紹介するとともに、該当授業を公開することで教授力の向上に役立てている。

卒業生アンケートや授業評価アンケートなどは、データを長期的に蓄積し、統一化した視野から分析することによって、総合的かつより実践的な教育改善計画を策定していく。

また、授業評価アンケートなどを通じて、学内で多様な教育実践、新しい授業や教育評価の方法が行われていることを認識し、さまざまな水準で進めておられる教育方法について学内で共有することで、本学の教育の質をより高めることに繋げている。

③　学生に対する授業評価アンケートの実施状況

ａ　実施の有無及び実施時期

学部について、春学期末（７月中旬）に「演習・実習科目」、秋学期末（１月中旬）に「講義科目」を対象として、マークシートによるアンケート調査を実施している。

なお、次年度は「講義科目」と「演習・実習科目」の開講期（春学期・秋学期）を入れ替えて実施する。

また、大学院については年度末（１月中旬）に各専攻へ、カリキュラム全体を通しての、アンケート調査を実施している。

ｂ　教員や学生への公開状況，方法等

科目毎の評価結果と学生からの自由記述について、教員個人にフィードバックしている。また、全体結果と分析については報告書として作成し学内図書館で閲覧可能とし、Web上でも公開している。

（注）・「①ａ　委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

（３） 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

ａ　委員会の設置状況（各区分を踏まえた委員構成を踏まえた委員の追加や交代状況含む）

ｂ　委員会の開催状況（回数や開催日など）

ｃ　委員会の審議事項等

ｄ　その他

②　審議状況

ａ　審議した内容

ｂ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

ｃ　教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

（4） 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

診療放射線技術学科は、最先端の画像検査、放射線治療及び放射線安全管理を支える医用放射線技術学分野の教育研究を実施し、高度な医療技術の進歩と医療安全に対応し、チーム医療の一翼を担うことができる診療放射線技師を育成すること、そして、医用放射線技術学分野の発展に貢献できる探求心と研究能力を兼ね備えた専門技術者を養成する目的で設置された。

設置3年目となる本年から、3年次生は約1年間の臨床実習に臨み、ここまでに修得した知識、技術の確認をする。さらに最終年次に控える卒業研究、国家試験に向けて確実な実力を身に付けるための教育を実践する。2年次生に対しては次年度からの臨床実習を見据えて、臨床に関係する専門科目を意欲的に取り組ませ、確実な知識・技術の修得に専念させる。また、1年次生は初年次教育と合わせて、理工学的な基礎、医学的な基礎、および診療放射線技術を学ぶために必要な基礎的な専門分野を重点的に教育する。いずれの年次も上位年次の履修が効果的に行えるように、段階的な教育に取り組んでいる。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成17年3月(平成15・16年度分)、平成18年3月(平成17・18年度分)、
平成21年3月(平成19・20年度分)、平成24年5月（平成21・22・23年度分）、
平成27年11月（平成24・25年度分）、平成28年7月（平成26・27年度分）公表
平成31年3月（平成28・29・30年度分）

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を刊行し、学外諸機関に送付するとともに、学内の各所属長に配布した。
・平成20年4月から、本学ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

・財団法人大学基準協会による大学評価ならびに認証評価を受け、平成26年10月大学基準に適合していると認定された(認定期間は平成34年3月31日まで)。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

（5） 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 （ 有 ・ 無 ）

b 公表有の場合の公表（予定）時期 （ 令和元年7月31日 ）

b 公表無の場合の特段の理由 （ ）

（注）・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。